

第4章 レセプト・健診・介護等データによる医療費分析

1. レセプトの集計方法について

本項では、レセプトデータを処理するにあたって、株式会社データホライズンが有する特許技術等を用い、集計を行っていく。この処理によって、レセプトに記載された病名ごとの医療費の把握や疾病別の実患者数、被保険者の診療履歴等を把握することができる。

医療費グルーピング技術

レセプトに記載されている「傷病名」「診療行為」「調剤」を正確に紐づけすることで、傷病名ごとの医療費を算出し、治療されていない傷病名を特定することができる。

レセプトイメージ			
傷病名	(1)	高コレステロール血症 (主)	
	(2)	糖尿病	
	(3)	腰痛症	
	(4)	急性咽頭炎	
摘要	12	再診 明細書発行体制等加算 再診(夜間・早朝等)加算 外来管理加算	70 ×1 50 ×1 52 ×1
	13	薬剤情報提供料 特定疾患療養管理料(診療所)	10 ×1 225 ×1
	21	クレステール錠2.5mg アマリール0.5mg ニフラン錠7.5mg トラネキサム酸カプセル250mg「トーフ」 フスタゾール糖衣錠10mg アルサ錠100mg 調剤料(内服薬・浸煎薬・屯服薬)	7 ×60 1 ×60 9 ×4 9 ×1
	25	処方料(その他) 長期投薬加算(処方料)	42 ×1 65 ×1
	合計		1039

傷病名ごとに正確に紐づけ

傷病名	合計点数
高コレステロール血症 (主)	821
糖尿病	129
腰痛症	39
急性咽頭炎	50

傷病ごとに医療費を正確に集計

- ◎ 治療中の傷病名のみ抽出
- ◎ 傷病名ごとの実患者数を把握

傷病名	患者数	糖尿病及び高血圧症を罹患している人
糖尿病	345人	312人(実患者数)
高血圧症	453人	

他分析手法との比較

レセプトイメージ			
傷病名	(1)	高コレステロール血症 (主)	
	(2)	糖尿病	
	(3)	腰痛症	
	(4)	急性咽頭炎	
摘要	12	再診 明細書発行体制等加算 再診(夜間・早朝等)加算 外来管理加算	70 ×1 50 ×1 52 ×1
	13	薬剤情報提供料 特定疾患療養管理料(診療所)	10 ×1 225 ×1
	21	クレステール錠2.5mg アマリール0.5mg ニフラン錠7.5mg トラネキサム酸カプセル250mg「トーフ」 フスタゾール糖衣錠10mg アルサ錠100mg 調剤料(内服薬・浸煎薬・屯服薬)	7 ×60 1 ×60 9 ×4 9 ×1
	25	処方料(その他) 長期投薬加算(処方料)	42 ×1 65 ×1
	合計		1039

医療費グルーピング	主傷病	最大医療資源傷病
821	1039	1039
129	0	0
39	0	0
50	0	0

傷病名ごとに正確に医療費を把握

主傷病以外は0点となる

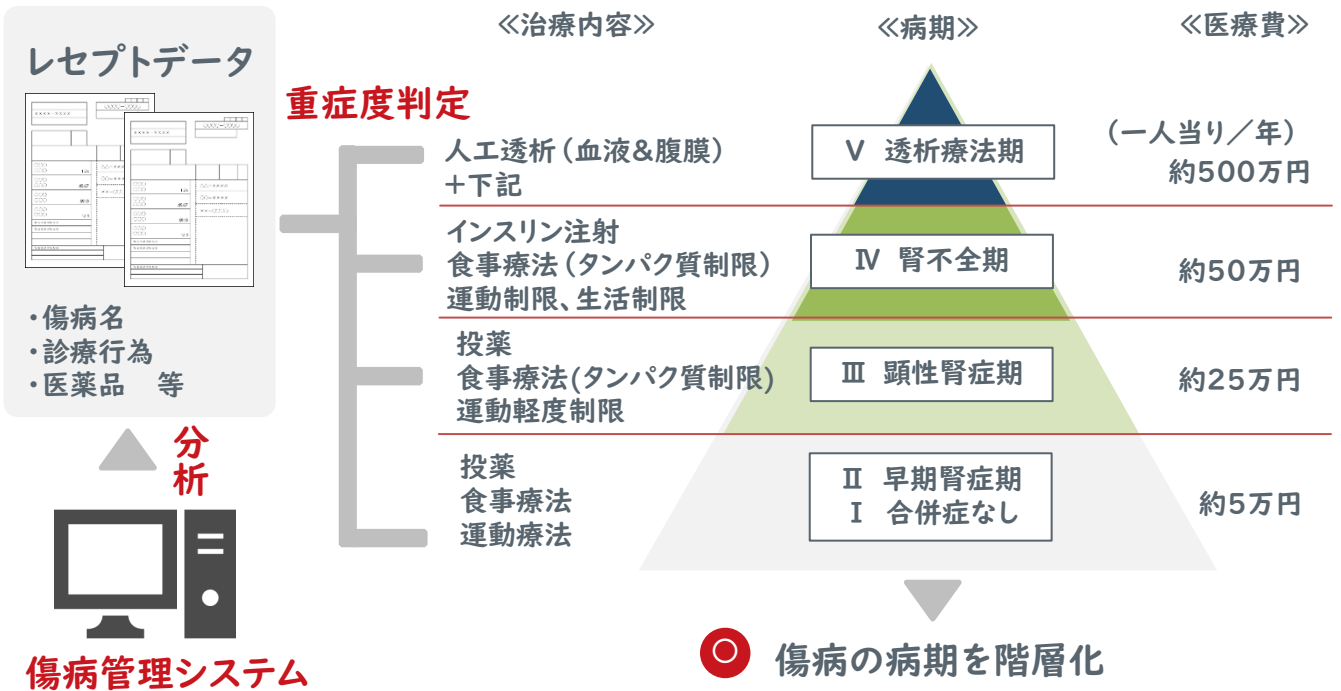
最大医療資源傷病以外は0点となる

的確に対象者を抽出

適切でない対象者が抽出される

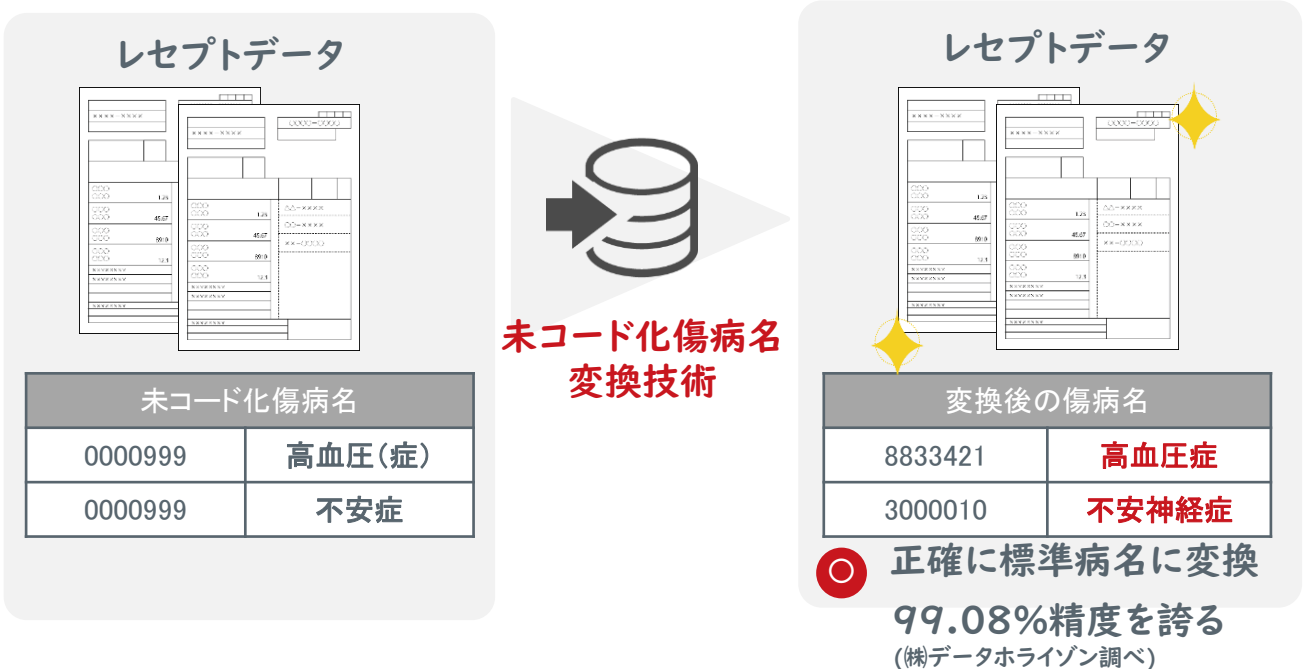
傷病管理システム

レセプトデータに含まれる傷病名、診療行為、医薬品等の情報を分析し、健診データがない患者でも、重症度を“推定”し、病期を階層化することができる。



未コード化傷病名変換技術

レセプトデータに含まれる傷病名は、厚生労働者が定めた傷病名コードで記録されていないものが病名全体の1割程度混在しており、それらは一般的に処理対象外とされる。未コード化傷病名変換技術を用いることで、標準病名ではない傷病名を標準病名に変換することができ、精度の高い分析が可能になる。



2.レセプト・健診・介護等データによる医療費分析

本項では、レセプト・健診・介護等データの情報を活用し、長崎県の状況について示していく。

(1) 基礎統計(年度別)

①国民健康保険

本項では、レセプトデータを活用し、長崎県の国民健康保険における年度別の基礎統計における状況について、示していく。

表51 基礎統計(国民健康保険・年度別)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	5年平均	5年合計	
A	一カ月平均の被保険者数(人)	363,442	351,670	338,158	329,761	323,176	341,241		
B	レセプト件数(件)	入院外	3,368,119	3,247,766	3,123,472	3,035,194	2,950,143	3,144,939	15,724,694
		入院	130,872	127,762	124,964	120,620	117,157	124,275	621,375
		調剤	2,271,063	2,198,666	2,128,429	2,075,431	2,038,669	2,142,452	10,712,258
		合計	5,770,054	5,574,194	5,376,865	5,231,245	5,105,969	5,411,665	27,058,327
C	医療費(円) ※	138,748,654,880	132,888,618,970	131,601,154,770	128,594,501,710	127,815,319,940	131,929,650,054	659,648,250,270	
D	一カ月平均の患者数(人) ※	199,427	192,927	185,790	180,284	175,069	186,699		
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	381,763	377,879	389,171	389,963	395,497	386,617		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	24,046	23,840	24,475	24,582	25,033	24,379		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	695,738	688,803	708,332	713,287	730,087	706,642		
D/A	有病率(%)	54.9%	54.9%	54.9%	54.7%	54.2%	54.7%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を0歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

被保険者数…分析期間中に1日でも資格があれば集計対象としている。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※一カ月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。そのため他統計と一致しない。

②後期高齢者医療

本項では、レセプトデータを活用し、長崎県の後期高齢者医療における年度別の基礎統計における状況について、示していく。

表52 基礎統計(後期高齢者医療・年度別)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	5年平均	5年合計	
A	一カ月平均の被保険者数(人)	209,471	213,761	216,499	217,563	219,482	215,355		
B	レセプト件数(件)	入院外	3,580,197	3,636,190	3,676,048	3,692,218	3,723,134	3,661,557	18,307,787
		入院	239,913	243,929	248,525	246,868	245,544	244,956	1,224,779
		調剤	2,579,565	2,633,023	2,683,142	2,703,481	2,747,563	2,669,355	13,346,774
		合計	6,399,675	6,513,142	6,607,715	6,642,567	6,716,241	6,575,868	32,879,340
C	医療費(円) ※	210,080,980,210	209,620,716,550	215,633,361,590	216,349,568,540	220,752,116,340	214,487,348,646	1,072,436,743,230	
D	一カ月平均の患者数(人) ※	184,082	186,974	189,272	189,847	191,258	188,287		
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	1,002,910	980,632	996,000	994,423	1,005,787	995,970		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	32,827	32,184	32,634	32,570	32,868	32,617		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	1,141,234	1,121,122	1,139,280	1,139,602	1,154,212	1,139,154		
D/A	有病率(%)	87.9%	87.5%	87.4%	87.3%	87.1%	87.4%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を65歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

被保険者数…分析期間中に1日でも資格があれば集計対象としている。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※一カ月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。そのため他統計と一致しない。

(2)高額レセプト件数及び割合(年度別)

①国民健康保険

本項では、レセプトデータを活用し、長崎県の国民健康保険における年度別の高額レセプト件数及び割合について、示していく。

表53 高額レセプト件数及び割合(国民健康保険・年度別)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	5年平均	5年合計
A	レセプト件数(件)	5,770,054	5,574,194	5,376,865	5,231,245	5,105,969	5,411,665	27,058,327
B	高額レセプト件数(件)	45,438	44,559	45,380	45,641	46,778	45,559	227,796
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.8%	0.8%	0.8%	0.9%	0.9%	0.8%	
C	医療費全体(円) ※	138,748,654,880	132,888,618,970	131,601,154,770	128,594,501,710	127,815,319,940	131,929,650,054	659,648,250,270
D	高額レセプトの医療費(円) ※	43,277,715,990	42,068,552,460	43,289,889,320	43,791,354,240	44,722,185,230	43,429,939,448	217,149,697,240
E	その他レセプトの医療費(円) ※	95,470,938,890	90,820,066,510	88,311,265,450	84,803,147,470	83,093,134,710	88,499,710,606	442,498,553,030
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	31.2%	31.7%	32.9%	34.1%	35.0%	32.9%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を0歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額未満(5万点未満)レセプトの医療費。

②後期高齢者医療

本項では、レセプトデータを活用し、長崎県の後期高齢者医療における年度別の高額レセプト件数及び割合について、示していく。

表54 高額レセプト件数及び割合(後期高齢者医療・年度別)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	5年平均	5年合計
A	レセプト件数(件)	6,399,675	6,513,142	6,607,715	6,642,567	6,716,241	6,575,868	32,879,340
B	高額レセプト件数(件)	93,182	92,822	96,849	100,761	104,036	97,530	487,650
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	1.5%	1.4%	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	
C	医療費全体(円) ※	210,080,980,210	209,620,716,550	215,633,361,590	216,349,568,540	220,752,116,340	214,487,348,646	1,072,436,743,230
D	高額レセプトの医療費(円) ※	78,619,440,810	78,639,883,680	82,307,232,400	85,759,845,350	89,018,376,000	82,868,955,648	414,344,778,240
E	その他レセプトの医療費(円) ※	131,461,539,400	130,980,832,870	133,326,129,190	130,589,723,190	131,733,740,340	131,618,392,998	658,091,964,990
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	37.4%	37.5%	38.2%	39.6%	40.3%	38.6%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を65歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額未満(5万点未満)レセプトの医療費。

④年度別の高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)(国民健康保険)

本項では、レセプトデータを活用し、長崎県の国民健康保険における年度別の高額レセプト(患者数順)について、示していく。

表55 高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者数順(年度別)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
平成27年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵頭部癌, 卵巣癌	1,503	3,762,975,800	1,470,283,010	5,233,258,810	3,481,875
	2	1901 骨折	橈骨遠位端骨折, 大腿骨頸部骨折, 腰椎圧迫骨折	1,304	2,451,546,130	365,864,970	2,817,411,100	2,160,591
	3	0902 虚血性心疾患	労作性狭心症, 狭心症, 不安定狭心症	817	1,743,510,430	392,127,870	2,135,638,300	2,614,000
	4	1402 腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 腎性貧血	768	1,744,058,610	2,880,414,920	4,624,473,530	6,021,450
	5	1302 関節症	変形性膝関節症, 変形性股関節症, 両側性原発性膝関節症	689	1,636,439,340	258,962,090	1,895,401,430	2,750,945
平成28年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵頭部癌, 卵巣癌	1,566	3,825,702,380	1,616,146,150	5,441,848,530	3,474,999
	2	1901 骨折	橈骨遠位端骨折, 大腿骨頸部骨折, 腰椎圧迫骨折	1,255	2,339,271,260	367,041,280	2,706,312,540	2,156,424
	3	1402 腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 腎性貧血	783	1,725,573,970	2,909,389,130	4,634,963,100	5,919,493
	4	0902 虚血性心疾患	労作性狭心症, 不安定狭心症, 狭心症	747	1,545,963,120	335,753,130	1,881,716,250	2,519,031
	5	1113 その他の消化器系の疾患	鼠径ヘルニア, 急性虫垂炎, 絞扼性イレウス	691	986,043,570	286,260,540	1,272,304,110	1,841,251
平成29年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵頭部癌, 多発性骨髄腫	1,558	3,741,119,450	1,895,556,960	5,636,676,410	3,617,892
	2	1901 骨折	橈骨遠位端骨折, 大腿骨頸部骨折, 腰椎圧迫骨折	1,331	2,528,099,990	403,840,890	2,931,940,880	2,202,811
	3	0902 虚血性心疾患	労作性狭心症, 狭心症, 不安定狭心症	768	1,607,734,860	335,475,460	1,943,210,320	2,530,222
	4	1402 腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 腎性貧血	749	1,727,221,880	2,748,331,980	4,475,553,860	5,975,372
	5	0903 その他の心疾患	うっ血性心不全, 発作性心房細動, 非弁膜症性心房細動	694	2,092,807,280	500,484,590	2,593,291,870	3,736,732
平成30年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵頭部癌, 多発性骨髄腫	1,625	3,738,245,540	2,175,640,380	5,913,885,920	3,639,314
	2	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 橈骨遠位端骨折, 腰椎圧迫骨折	1,305	2,514,389,210	354,705,170	2,869,094,380	2,198,540
	3	0903 その他の心疾患	うっ血性心不全, 発作性心房細動, 持続性心房細動	734	2,235,939,580	512,877,950	2,748,817,530	3,744,983
	4	1113 その他の消化器系の疾患	鼠径ヘルニア, 急性虫垂炎, 腹壁瘻痕ヘルニア	732	1,044,724,650	343,439,430	1,388,164,080	1,896,399
	5	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 下葉肺癌, 上葉肺腺癌	719	2,080,233,480	1,185,094,760	3,265,328,240	4,541,486
平成31年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵頭部癌, 多発性骨髄腫	1,696	4,059,103,840	2,490,475,460	6,549,579,300	3,861,780
	2	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 橈骨遠位端骨折, 腰椎圧迫骨折	1,265	2,550,193,580	377,125,430	2,927,319,010	2,314,086
	3	0903 その他の心疾患	うっ血性心不全, 発作性心房細動, 非弁膜症性心房細動	741	2,094,611,780	609,474,690	2,704,086,470	3,649,240
	4	1302 関節症	変形性膝関節症, 変形性股関節症, 原発性膝関節症	736	1,825,708,880	263,653,950	2,089,362,830	2,838,808
	5	1113 その他の消化器系の疾患	鼠径ヘルニア, 急性虫垂炎, 癒着性イレウス	735	1,056,553,030	379,786,340	1,436,339,370	1,954,203

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を0歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった傷病名。

※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

⑤年度別の高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)(後期高齢者医療)

本項では、レセプトデータを活用し、長崎県の後期高齢者医療における年度別の高額レセプト(患者数順)について、示していく。

表56 高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者数順(年度別)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
平成27年度	1	1901 骨折	大腿骨転子部骨折, 大腿骨頸部骨折, 腰椎圧迫骨折	4,920	12,482,831,810	1,822,470,640	14,305,302,450	2,907,582
	2	0906 脳梗塞	脳梗塞, 脳梗塞後遺症, 心原性脳塞栓症	2,575	9,438,593,700	672,130,820	10,110,724,520	3,926,495
	3	0903 その他の心疾患	うっ血性心不全, 慢性心不全, 慢性うっ血性心不全	2,321	5,852,305,100	1,170,753,030	7,023,058,130	3,025,876
	4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵頭部癌, 多発性骨髄腫	1,800	4,232,273,520	1,607,079,070	5,839,352,590	3,244,085
	5	1004 肺炎	肺炎, 急性肺炎, 細菌性肺炎	1,709	3,216,708,900	583,669,950	3,800,378,850	2,223,744
平成28年度	1	1901 骨折	大腿骨転子部骨折, 大腿骨頸部骨折, 腰椎圧迫骨折	4,983	12,624,563,210	1,742,566,810	14,367,130,020	2,883,229
	2	0903 その他の心疾患	うっ血性心不全, 慢性心不全, 慢性うっ血性心不全	2,553	6,558,603,270	1,212,312,160	7,770,915,430	3,043,837
	3	0906 脳梗塞	脳梗塞, 心原性脳塞栓症, 脳梗塞後遺症	2,475	8,943,011,310	615,792,370	9,558,803,680	3,862,143
	4	1004 肺炎	肺炎, 細菌性肺炎, 急性肺炎	1,865	3,477,535,020	625,211,490	4,102,746,510	2,199,864
	5	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵頭部癌, 多発性骨髄腫	1,784	4,139,560,760	1,561,200,220	5,700,760,980	3,195,494
平成29年度	1	1901 骨折	大腿骨転子部骨折, 大腿骨頸部骨折, 腰椎圧迫骨折	5,324	13,727,257,310	1,887,313,690	15,614,571,000	2,932,865
	2	0903 その他の心疾患	うっ血性心不全, 慢性心不全, 慢性うっ血性心不全	2,718	6,908,878,870	1,396,364,990	8,305,243,860	3,055,645
	3	0906 脳梗塞	脳梗塞, 心原性脳塞栓症, 脳梗塞後遺症	2,482	9,120,278,150	645,178,870	9,765,457,020	3,934,511
	4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵頭部癌, 去勢抵抗性前立腺癌	1,937	4,408,888,010	1,907,708,020	6,316,596,030	3,261,020
	5	1004 肺炎	肺炎, 急性肺炎, 細菌性肺炎	1,835	3,541,541,340	622,055,580	4,163,596,920	2,268,990
平成30年度	1	1901 骨折	大腿骨転子部骨折, 大腿骨頸部骨折, 腰椎圧迫骨折	5,445	14,108,534,110	1,965,210,450	16,073,744,560	2,952,019
	2	0903 その他の心疾患	うっ血性心不全, 慢性心不全, 慢性うっ血性心不全	2,931	7,461,758,480	1,464,420,340	8,926,178,820	3,045,438
	3	0906 脳梗塞	脳梗塞, 心原性脳塞栓症, 脳梗塞後遺症	2,432	8,945,780,480	600,614,870	9,546,395,350	3,925,327
	4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵頭部癌, 去勢抵抗性前立腺癌	1,982	4,533,305,610	2,167,980,200	6,701,285,810	3,381,073
	5	1011 その他の呼吸器系の疾患	誤嚥性肺炎, 慢性呼吸不全, 肺胸	1,866	4,439,031,470	762,498,730	5,201,530,200	2,787,530
平成31年度	1	1901 骨折	大腿骨転子部骨折, 大腿骨頸部骨折, 腰椎圧迫骨折	5,544	14,562,198,230	1,981,083,450	16,543,281,680	2,983,997
	2	0903 その他の心疾患	うっ血性心不全, 慢性心不全, 慢性うっ血性心不全	2,935	7,563,664,460	1,492,188,340	9,055,852,800	3,085,469
	3	0906 脳梗塞	脳梗塞, 心原性脳塞栓症, 脳梗塞後遺症	2,483	8,970,443,080	645,950,820	9,616,393,900	3,872,893
	4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 去勢抵抗性前立腺癌, 膵頭部癌	2,099	4,759,080,340	2,672,565,680	7,431,646,020	3,540,565
	5	1011 その他の呼吸器系の疾患	誤嚥性肺炎, 間質性肺炎, 慢性呼吸不全	1,852	4,537,063,450	802,463,130	5,339,526,580	2,883,114

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月~令和2年3月診療分(60カ月分)。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を65歳~99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった傷病名。

※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

(3)中分類による疾病別医療費統計 上位10分類(医療費・患者数・患者一人当たり医療費)

①国民健康保険

本項では、レセプトデータを活用し、長崎県の国民健康保険における中分類による疾病別医療費統計での「医療費」「患者数」「患者一人当たり医療費」の上位10分類について、示していく。

表57 平成31年度 中分類による疾病別医療費統計 中分類医療費順

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)
平成31年度	1	1402 腎不全	7,498,626,201	5.9%
	2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	6,994,164,783	5.5%
	3	0606 その他の神経系の疾患	6,702,895,308	5.3%
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	5,688,425,710	4.5%
	5	0402 糖尿病	5,196,965,116	4.1%
	6	1113 その他の消化器系の疾患	5,135,547,660	4.0%
	7	0901 高血圧性疾患	5,002,230,614	3.9%
	8	0903 その他の心疾患	4,287,805,014	3.4%
	9	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	3,085,060,107	2.4%
	10	1901 骨折	2,824,767,511	2.2%

医療費上位で見ると生活習慣病関連では、1位に腎不全、5位に糖尿病、7位に高血圧性疾患、8位にその他の心疾患が入っている。また、新生物では、2位にその他の悪性新生物、9位に肺の悪性新生物が入っている。そして、10位には骨折が入っている。

表58 平成31年度 中分類による疾病別医療費統計 中分類患者数順

年度	順位	疾病分類(中分類)	患者数(人) ※	有病率(%) (被保険者数全体に対して占める割合)
平成31年度	1	0901 高血圧性疾患	111,623	30.7%
	2	1113 その他の消化器系の疾患	102,924	28.3%
	3	1105 胃炎及び十二指腸炎	93,313	25.6%
	4	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	89,209	24.5%
	5	0402 糖尿病	82,336	22.6%
	6	1202 皮膚炎及び湿疹	81,952	22.5%
	7	0703 屈折及び調節の障害	80,737	22.2%
	8	0403 脂質異常症	75,880	20.9%
	9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	74,074	20.4%
	10	0606 その他の神経系の疾患	73,581	20.2%

患者数上位で見ると生活習慣病関連では、1位に高血圧性疾患。5位に糖尿病、8位に脂質異常症が入っている。

表59 平成31年度 中分類による疾病別医療費統計 中分類患者一人当たり医療費順

年度	順位	疾病分類(中分類)	患者一人当たりの医療費(円)
平成31年度	1	1402 腎不全	755,986
	2	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	693,957
	3	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	561,138
	4	0209 白血病	532,899
	5	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	431,064
	6	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	420,306
	7	0208 悪性リンパ腫	323,985
	8	0904 くも膜下出血	309,313
	9	0601 パーキンソン病	268,017
	10	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	265,245

患者一人当たり医療費上位で見ると、新生物の悪性リンパ腫や白血病、肺の悪性新生物が上位に。生活習慣病関連では、1位に腎不全、8位にくも膜下出血が入っている。

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を0歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計(実患者数)するため、合計人数は縦の合計と一致しない。

表60 平成27～31年度 中分類による疾病別医療費統計 中分類医療費増加順

順位	疾病分類	平成27年度			平成31年度			増減				
		医療費(円)	患者数(人)	一人当たり医療費(円)	医療費(円)	患者数(人)	一人当たり医療費(円)	医療費(円)	増加率	患者数(人)	増加率	一人当たり医療費(円)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	5,829,090,143	35,290	165,177	6,994,164,783	34,416	203,224	1,165,074,640	20.0%	-874	-2.5%	38,047
2	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	2,213,068,571	12,859	172,103	3,085,060,107	11,631	265,245	871,991,536	39.4%	-1,228	-9.5%	93,142
3	0903 その他の心疾患	3,794,519,592	56,613	67,026	4,287,805,014	55,431	77,354	493,285,422	13.0%	-1,182	-2.1%	10,328
4	0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	763,948,092	13,329	57,315	1,243,626,569	14,756	84,279	479,678,477	62.8%	1,427	10.7%	26,965
5	0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	1,428,593,282	45,933	31,102	1,699,046,043	43,914	38,690	270,452,761	18.9%	-2,019	-4.4%	7,589
6	0603 てんかん	1,674,397,063	9,545	175,421	1,838,583,024	9,306	197,570	164,185,961	9.8%	-239	-2.5%	22,148
7	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	1,326,282,201	6,134	216,218	1,461,341,941	5,884	248,359	135,059,740	10.2%	-250	-4.1%	32,140
8	0507 その他の精神及び行動の障害	947,995,358	7,735	122,559	1,045,566,370	7,656	136,568	97,571,012	10.3%	-79	-1.0%	14,009
9	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	1,293,194,845	61,874	20,900	1,377,594,039	59,975	22,969	84,399,194	6.5%	-1,899	-3.1%	2,069
10	2106 その他の理由による保健サービスの利用者	463,318,560	23,105	20,053	534,564,479	24,069	22,210	71,245,919	15.4%	964	4.2%	2,157

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を0歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計(実患者数)するため、合計人数は縦の合計と一致しない。

医療費増加上位で見ると、新生物が目立つ。1位にその他の悪性新生物、2位に肺の悪性新生物、7位に乳房の悪性新生物となっている。また、生活習慣病関連では、3位にその他心疾患が入っている。

表61 平成27～31年度 中分類による疾病別医療費統計 中分類患者数増加順

順位	疾病分類	平成27年度			平成31年度			増減				
		医療費(円)	患者数(人)	一人当たり医療費(円)	医療費(円)	患者数(人)	一人当たり医療費(円)	医療費(円)	増加率	患者数(人)	増加率	一人当たり医療費(円)
1	0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	763,948,092	13,329	57,315	1,243,626,569	14,756	84,279	479,678,477	62.8%	1,427	10.7%	26,965
2	1402 腎不全	7,926,230,785	8,686	912,529	7,498,626,201	9,919	755,986	-427,604,584	-5.4%	1,233	14.2%	-156,543
3	2106 その他の理由による保健サービスの利用者	463,318,560	23,105	20,053	534,564,479	24,069	22,210	71,245,919	15.4%	964	4.2%	2,157
4	0912 その他の循環器系の疾患	1,095,009,137	16,316	67,113	1,159,566,347	17,188	67,464	64,557,210	5.9%	872	5.3%	351
5	0103 主として性的伝播様式をとる感染症	28,662,048	4,917	5,829	26,089,406	5,482	4,759	-2,572,642	-9.0%	565	11.5%	-1,070
6	0501 血管性及び詳細不明の認知症	309,016,181	1,192	259,242	260,099,569	1,741	149,397	-48,916,612	-15.8%	549	46.1%	-109,845
7	0208 悪性リンパ腫	756,163,679	2,030	372,494	807,695,348	2,493	323,985	51,531,669	6.8%	463	22.8%	-48,509
8	1109 肝硬変(アルコール性のものを除く)	206,007,060	4,715	43,692	178,816,221	5,001	35,756	-27,190,839	-13.2%	286	6.1%	-7,936
9	0506 知的障害<精神遅滞>	564,179,082	2,012	280,407	470,946,218	2,244	209,869	-93,232,864	-16.5%	232	11.5%	-70,538
10	1702 その他の先天奇形、変形及び染色体異常	280,182,817	5,300	52,865	298,936,285	5,487	54,481	18,753,468	6.7%	187	3.5%	1,616

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を0歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計(実患者数)するため、合計人数は縦の合計と一致しない。

患者数増加上位で見ると、2位に腎不全、6位に血管性及び詳細不明の認知症が入っている。また、悪性リンパ腫も7位に入っている。

表62 参考 0903 その他の心疾患 内訳(医療費上位10疾患)

順位	医療費(円) ※		構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円)	
8	0903 その他の心疾患		4,287,805,014	3.4%	55,431	77,354
傷病名 コード	傷病名 ※	レセプト件数 (件)	医療費(円)	構成比(%) (中分類疾病項目の 医療費に対して 占める割合)	患者数(人)	患者一人当たりの 医療費(円)
4289018	慢性心不全	138,239	531,568,061	12.4%	14,397	36,922
8846906	非弁膜症性心房細動	46,645	506,826,626	11.8%	3,608	140,473
8830796	うっ血性心不全	52,153	390,796,389	9.1%	7,937	49,237
8846942	発作性心房細動	21,292	239,214,964	5.6%	2,250	106,318
4273006	心房細動	37,966	218,512,269	5.1%	3,534	61,831
4289015	心不全	67,004	197,203,363	4.6%	11,519	17,120
4280005	慢性うっ血性心不全	12,701	176,657,090	4.1%	2,134	82,782
8836699	僧帽弁閉鎖不全症	20,627	146,676,495	3.4%	5,923	24,764
8847814	非弁膜症性発作性心房細動	4,566	129,149,169	3.0%	546	236,537
8844804	肺動脈性肺高血圧症	1,406	115,463,328	2.7%	135	855,284

上位10疾患で、当該分類医療費の構成比… 61.9%

表63 参考 1901 骨折 内訳(医療費上位10疾患)

順位	医療費(円) ※		構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円)	
10	1901 骨折		2,824,767,511	2.2%	19,855	142,270
傷病名 コード	傷病名 ※	レセプト件数 (件)	医療費(円)	構成比(%) (中分類疾病項目の 医療費に対して 占める割合)	患者数(人)	患者一人当たりの 医療費(円)
8208009	大腿骨頸部骨折	4,014	340,112,554	12.0%	728	467,188
8838017	橈骨遠位端骨折	7,640	232,000,648	8.2%	1,365	169,964
8054003	腰椎圧迫骨折	18,172	224,480,119	7.9%	3,152	71,218
8832545	胸椎圧迫骨折	8,834	113,417,594	4.0%	1,493	75,966
8250003	踵骨骨折	1,656	103,250,209	3.7%	327	315,750
8837314	大腿骨転子部骨折	1,211	102,354,521	3.6%	216	473,864
8220003	膝蓋骨骨折	2,519	87,173,953	3.1%	495	176,109
8835505	上腕骨近位端骨折	1,429	79,728,373	2.8%	227	351,226
8842193	足関節外果骨折	1,687	62,576,498	2.2%	363	172,387
8842635	腰椎破裂骨折	533	48,730,590	1.7%	92	529,680

上位10疾患で、当該分類医療費の構成比… 49.3% 参考:11位「肋骨骨折」1.6% 2,906名

②後期高齢者医療

本項では、レセプトデータを活用し、長崎県の後期高齢者医療における中分類による疾病別医療費統計での「医療費」「患者数」「患者一人当たり医療費」の上位10分類について、示していく。

表64 平成31年度 中分類による疾病別医療費統計 中分類医療費順

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)
平成31年度	1	0903 その他の心疾患	14,179,423,884	6.4%
	2	1901 骨折	13,078,068,841	5.9%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	9,685,262,659	4.4%
	4	1402 腎不全	9,315,287,780	4.2%
	5	0906 脳梗塞	8,996,276,482	4.1%
	6	0901 高血圧性疾患	8,836,115,179	4.0%
	7	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	8,592,923,083	3.9%
	8	0606 その他の神経系の疾患	7,582,046,808	3.4%
	9	1309 骨の密度及び構造の障害	7,031,215,196	3.2%
	10	0602 アルツハイマー病	6,819,942,141	3.1%

医療費上位で見ると生活習慣病関連では、1位にその他の心疾患、4位に腎不全、5位に脳梗塞、6位に高血圧性疾患が入っており、糖尿病は13位だった。また、新生物では、7位にその他の悪性新生物が入っている。ロコモティブシンドローム関連疾患では、2位に骨折、9位に骨の密度及び構造の障害が入っている。

表65 平成31年度 中分類による疾病別医療費統計 中分類患者数順

年度	順位	疾病分類(中分類)	患者数(人) ※	有病率(%) (被保険者数全体に対して占める割合)
平成31年度	1	0901 高血圧性疾患	166,608	71.4%
	2	1113 その他の消化器系の疾患	156,679	67.1%
	3	0903 その他の心疾患	120,603	51.7%
	4	1105 胃炎及び十二指腸炎	113,093	48.5%
	5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	109,438	46.9%
	6	0606 その他の神経系の疾患	104,449	44.8%
	7	0402 糖尿病	102,716	44.0%
	8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	101,823	43.6%
	9	0703 屈折及び調節の障害	99,160	42.5%
	10	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	92,176	39.5%

患者数上位で見ると生活習慣病関連では、1位に高血圧性疾患、3位にその他の心疾患、7位に糖尿病が入っている。ロコモティブシンドローム関連疾患では、10位に脊椎障害が入っている。なお、関節症は11位、骨の密度及び構造の障害は14位だった。

表66 平成31年度 中分類による疾病別医療費統計 中分類患者一人当たり医療費順

年度	順位	疾病分類(中分類)	患者一人当たりの医療費(円)
平成31年度	1	0506 知的障害<精神遅滞>	536,663
	2	1402 腎不全	380,884
	3	0601 パーキンソン病	371,466
	4	0208 悪性リンパ腫	365,508
	5	0904 くも膜下出血	340,468
	6	0209 白血病	305,987
	7	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	287,065
	8	0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	272,584
	9	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	270,969
	10	1901 骨折	269,019

患者一人当たり医療費上位で見ると、生活習慣病関連では、2位に腎不全、5位にくも膜下出血が入っている。また、骨折が10位に入っている。新生物では、悪性リンパ腫や白血病、直腸の悪性新生物も上位10分類に入っている。

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。
年齢範囲…各年度末時点の年齢を65歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計(実患者数)するため、合計人数は縦の合計と一致しない。

表67 平成27～31年度 中分類による疾病別医療費統計 中分類医療費増加順

順位	疾病分類	平成27年度			平成31年度			増減				
		医療費(円)	患者数(人)	一人当たり医療費(円)	医療費(円)	患者数(人)	一人当たり医療費(円)	医療費(円)	増加率	患者数(人)	増加率	一人当たり医療費(円)
1	0903 その他の心疾患	11,336,840,674	110,009	103,054	14,179,423,884	120,603	117,571	2,842,583,210	25.1%	10,594	9.6%	14,517
2	1901 骨折	11,475,028,519	43,479	263,921	13,078,068,841	48,614	269,019	1,603,040,322	14.0%	5,135	11.8%	5,097
3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	7,006,815,358	42,067	166,563	8,592,923,083	46,304	185,576	1,586,107,725	22.6%	4,237	10.1%	19,013
4	0606 その他の神経系の疾患	6,101,664,163	99,200	61,509	7,582,046,808	104,449	72,591	1,480,382,645	24.3%	5,249	5.3%	11,082
5	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	3,661,549,174	59,100	61,955	4,930,016,867	68,090	72,404	1,268,467,693	34.6%	8,990	15.2%	10,449
6	1113 その他の消化器系の疾患	8,518,529,448	148,535	57,350	9,685,262,659	156,679	61,816	1,166,733,211	13.7%	8,144	5.5%	4,466
7	1402 腎不全	8,238,821,733	19,061	432,234	9,315,287,780	24,457	380,884	1,076,466,047	13.1%	5,396	28.3%	-51,350
8	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	2,082,307,874	18,197	114,431	2,881,777,082	19,336	149,037	799,469,208	38.4%	1,139	6.3%	34,605
9	0402 糖尿病	5,237,781,302	90,574	57,829	5,886,191,382	102,716	57,305	648,410,080	12.4%	12,142	13.4%	-523
10	0602 アルツハイマー病	6,343,907,492	25,953	244,438	6,819,942,141	31,068	219,517	476,034,649	7.5%	5,115	19.7%	-24,922

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を65歳～99歳歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計(実患者数)するため、合計人数は縦の合計と一致しない。

医療費増加上位で見ると、骨折が2位に入っている。また、生活習慣病関連では、1位にその他の心疾患、7位に腎不全、9位に糖尿病が入っている。アルツハイマー病も10位に入っている。

表68 平成27～31年度 中分類による疾病別医療費統計 中分類患者数増加順

順位	疾病分類	平成27年度			平成31年度			増減				
		医療費(円)	患者数(人)	一人当たり医療費(円)	医療費(円)	患者数(人)	一人当たり医療費(円)	医療費(円)	増加率	患者数(人)	増加率	一人当たり医療費(円)
1	0402 糖尿病	5,237,781,302	90,574	57,829	5,886,191,382	102,716	57,305	648,410,080	12.4%	12,142	13.4%	-523
2	0903 その他の心疾患	11,336,840,674	110,009	103,054	14,179,423,884	120,603	117,571	2,842,583,210	25.1%	10,594	9.6%	14,517
3	0403 脂質異常症	3,516,354,328	78,178	44,979	3,280,552,525	87,977	37,289	-235,801,803	-6.7%	9,799	12.5%	-7,690
4	1302 関節症	5,899,051,953	81,440	72,434	6,182,537,772	90,812	68,081	283,485,819	4.8%	9,372	11.5%	-4,354
5	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	1,639,973,200	58,498	28,035	1,978,943,795	67,825	29,177	338,970,595	20.7%	9,327	15.9%	1,143
6	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	3,661,549,174	59,100	61,955	4,930,016,867	68,090	72,404	1,268,467,693	34.6%	8,990	15.2%	10,449
7	0901 高血圧性疾患	10,383,891,057	158,447	65,535	8,836,115,179	166,608	53,035	-1,547,775,878	-14.9%	8,161	5.2%	-12,500
8	1113 その他の消化器系の疾患	8,518,529,448	148,535	57,350	9,685,262,659	156,679	61,816	1,166,733,211	13.7%	8,144	5.5%	4,466
9	2106 その他の理由による保健サービスの利用者	890,829,590	59,138	15,064	773,728,020	66,424	11,648	-117,101,570	-13.1%	7,286	12.3%	-3,415
10	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に	4,255,959,584	102,643	41,464	4,206,841,558	109,438	38,440	-49,118,026	-1.2%	6,795	6.8%	-3,023

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を65歳～99歳歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計(実患者数)するため、合計人数は縦の合計と一致しない。

患者数増加上位で見ると、生活習慣病関連疾患では、1位に糖尿病、2位にその他の心疾患、3位に脂質異常症、7位に高血圧性疾患が入っている。また、ロコモティブシンドローム関連疾患の関節症が4位に入っている。

表69 参考 平成27～31年度 中分類による疾病別医療費統計 中分類患者数増加順(11位～20位)

11	1006 アレルギー性鼻炎	681,580,443	41,191	16,547	630,078,549	47,510	13,262	-51,501,894	-7.6%	6,319	15.3%	-3,285
12	0501 血管性及び詳細不明の認知症	2,489,544,959	9,994	249,104	2,171,177,138	16,229	133,784	-318,367,821	-12.8%	6,235	62.4%	-115,320
13	0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	1,634,473,414	53,472	30,567	2,099,421,526	59,529	35,267	464,948,112	28.4%	6,057	11.3%	4,700
14	1309 骨の密度及び構造の障害	6,926,551,151	75,605	91,615	7,031,215,196	81,572	86,196	104,664,045	1.5%	5,967	7.9%	-5,419
15	0401 甲状腺障害	557,663,820	29,307	19,028	652,471,408	35,051	18,615	94,807,588	17.0%	5,744	19.6%	-413
16	1402 腎不全	8,238,821,733	19,061	432,234	9,315,287,780	24,457	380,884	1,076,466,047	13.1%	5,396	28.3%	-51,350
17	0606 その他の神経系の疾患	6,101,664,163	99,200	61,509	7,582,046,808	104,449	72,591	1,480,382,645	24.3%	5,249	5.3%	11,082
18	1901 骨折	11,475,028,519	43,479	263,921	13,078,068,841	48,614	269,019	1,603,040,322	14.0%	5,135	11.8%	5,097
19	0602 アルツハイマー病	6,343,907,492	25,953	244,438	6,819,942,141	31,068	219,517	476,034,649	7.5%	5,115	19.7%	-24,922
20	0912 その他の循環器系の疾患	1,904,098,792	26,720	71,261	2,175,211,736	31,522	69,006	271,112,944	14.2%	4,802	18.0%	-2,255

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を65歳～99歳歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計(実患者数)するため、合計人数は縦の合計と一致しない。

表70 参考 0903 その他の心疾患 内訳(医療費上位10疾患)

順位	医療費(円) ※		構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円)	
1	0903 その他の心疾患		14,179,423,884	6.4%	120,603	117,571
傷病名コード	傷病名 ※	レセプト件数(件)	医療費(円)	構成比(%) (中分類疾病項目の医療費に対して占める割合)	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
4289018	慢性心不全	529,551	3,113,149,680	22.0%	46,744	66,600
8830796	うっ血性心不全	198,441	2,015,508,165	14.2%	22,752	88,586
8846906	非弁膜症性心房細動	160,172	1,411,892,387	10.0%	11,203	126,028
4289015	心不全	269,182	1,050,464,825	7.4%	33,162	31,677
4280005	慢性うっ血性心不全	35,195	802,478,048	5.7%	5,559	144,357
4273006	心房細動	126,403	713,560,936	5.0%	11,258	63,383
8837399	大動脈弁狭窄症	16,243	672,099,081	4.7%	3,832	175,391
8846942	発作性心房細動	54,882	462,548,152	3.3%	5,604	82,539
4260002	完全房室ブロック	6,434	334,153,076	2.4%	1,807	184,921
4273014	慢性心房細動	44,499	310,885,125	2.2%	4,148	74,948

上位10疾患で、当該分類医療費の構成比… 76.8%

表71 参考 1901 骨折 内訳(医療費上位10疾患)

順位	医療費(円) ※		構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円)	
2	1901 骨折		13,078,068,841	5.9%	48,614	269,019
傷病名コード	傷病名 ※	レセプト件数(件)	医療費(円)	構成比(%) (中分類疾病項目の医療費に対して占める割合)	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
8837314	大腿骨転子部骨折	24,523	2,666,346,398	20.4%	3,778	705,756
8208009	大腿骨頸部骨折	28,790	2,500,578,421	19.1%	5,066	493,600
8054003	腰椎圧迫骨折	119,345	1,987,908,921	15.2%	15,725	126,417
8832545	胸椎圧迫骨折	51,287	880,373,578	6.7%	7,058	124,734
8290048	圧迫骨折	29,863	408,438,394	3.1%	3,805	107,343
8838017	橈骨遠位端骨折	18,055	387,938,267	3.0%	2,464	157,442
8832654	胸腰椎圧迫骨折	17,440	264,344,706	2.0%	2,844	92,948
8835505	上腕骨近位端骨折	4,400	196,481,756	1.5%	704	279,093
8070006	肋骨骨折	31,589	189,458,559	1.4%	6,841	27,695
8220003	膝蓋骨骨折	6,813	172,443,210	1.3%	1,068	161,464

上位10疾患で、当該分類医療費の構成比… 73.8%

表72 参考 平成27～31年度 中分類による疾病別医療費統計 中分類医療費増加順(65歳以上(国保・後期))

順位	疾病分類	平成27年度			平成31年度			増減				
		医療費(円)	患者数(人)	一人当たり医療費(円)	医療費(円)	患者数(人)	一人当たり医療費(円)	医療費(円)	増加率	患者数(人)	増加率	一人当たり医療費(円)
1	0903 その他の心疾患	14,029,568,805	149,811	93,648	17,407,431,589	161,841	107,559	3,377,862,784	24.1%	12,030	8.0%	13,910
2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	11,204,251,940	67,603	165,736	14,110,664,523	72,718	194,046	2,906,412,583	25.9%	5,115	7.6%	28,310
3	1901 骨折	13,265,329,346	55,380	239,533	15,110,655,793	61,117	247,241	1,845,326,447	13.9%	5,737	10.4%	7,709
4	0606 その他の神経系の疾患	9,467,869,150	147,488	64,194	11,218,967,293	150,219	74,684	1,751,098,143	18.5%	2,731	1.9%	10,490
5	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	3,738,687,411	27,490	136,002	5,470,631,979	28,371	192,825	1,731,944,568	46.3%	881	3.2%	56,823
6	1113 その他の消化器系の疾患	11,666,460,017	218,464	53,402	12,977,711,582	224,705	57,754	1,311,251,565	11.2%	6,241	2.9%	4,352
7	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	4,739,734,056	90,376	52,445	6,001,840,683	99,346	60,414	1,262,106,627	26.6%	8,970	9.9%	7,969
8	1402 腎不全	12,558,230,841	24,947	503,396	13,790,880,829	31,759	434,235	1,232,649,988	9.8%	6,812	27.3%	-69,161
9	0402 糖尿病	8,804,866,360	146,163	60,240	9,588,227,422	160,892	59,594	783,361,062	8.9%	14,729	10.1%	-646
10	1011 その他の呼吸器系の疾患	6,493,082,155	71,039	91,402	7,093,580,862	74,316	95,452	600,498,707	9.2%	3,277	4.6%	4,050
11	0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	2,288,888,720	77,197	29,650	2,874,887,569	85,098	33,783	585,998,849	25.6%	7,901	10.2%	4,133
12	1301 炎症性多発性関節障害	3,754,177,009	51,469	72,941	4,178,271,265	54,295	76,955	424,094,256	11.3%	2,826	5.5%	4,014
13	0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	2,184,380,063	56,062	38,964	2,597,135,625	60,142	43,183	412,755,562	18.9%	4,080	7.3%	4,220
14	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	2,246,974,627	86,728	25,908	2,652,431,421	97,250	27,274	405,456,794	18.0%	10,522	12.1%	1,366
15	0603 てんかん	1,046,245,406	9,946	105,193	1,443,478,356	11,093	130,125	397,232,950	38.0%	1,147	11.5%	24,933
16	0602 アルツハイマー病	6,924,796,652	28,361	244,166	7,320,132,754	33,406	219,126	395,336,102	5.7%	5,045	17.8%	-25,040
17	0208 悪性リンパ腫	1,211,439,390	3,239	374,016	1,570,353,596	4,349	361,084	358,914,206	29.6%	1,110	34.3%	-12,933
18	0912 その他の循環器系の疾患	2,704,315,535	37,693	71,746	3,060,534,610	43,769	69,925	356,219,075	13.2%	6,076	16.1%	-1,821
19	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	1,263,212,986	6,764	186,755	1,599,983,930	7,926	201,865	336,770,944	26.7%	1,162	17.2%	15,110
20	1302 関節症	7,989,865,569	114,564	69,742	8,324,243,814	124,516	66,853	334,378,245	4.2%	9,952	8.7%	-2,889

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。
年齢範囲…各年度末時点の年齢を65歳～999歳の範囲で分析対象としている。
年齢基準日…各年度末時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計(実患者数)するため、合計人数は縦の合計と一致しない。

一体的実施を見据え、国保・後期合算で65歳以上の医療費増加上位を集計した。医療費増加上位では、生活習慣病関連で、1位にその他の心疾患、8位に腎不全、9位に糖尿病が入っている。新生物では、2位にその他の悪性新生物、5位に肺の悪性新生物が入っている。また、骨折が3位に入っている。

表73 参考 平成27～31年度 中分類による疾病別医療費統計 中分類患者数増加順(65歳以上(国保・後期))

順位	疾病分類	平成27年度			平成31年度			増減				
		医療費(円)	患者数(人)	一人当たり医療費(円)	医療費(円)	患者数(人)	一人当たり医療費(円)	医療費(円)	増加率	患者数(人)	増加率	一人当たり医療費(円)
1	0402 糖尿病	8,804,866,360	146,163	60,240	9,588,227,422	160,892	59,594	783,361,062	8.9%	14,729	10.1%	-646
2	0903 その他の心疾患	14,029,568,805	149,811	93,648	17,407,431,589	161,841	107,559	3,377,862,784	24.1%	12,030	8.0%	13,910
3	0403 脂質異常症	5,985,515,804	133,856	44,716	5,306,405,287	144,953	36,608	-679,110,517	-11.3%	11,097	8.3%	-8,108
4	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	2,246,974,627	86,728	25,908	2,652,431,421	97,250	27,274	405,456,794	18.0%	10,522	12.1%	1,366
5	1302 関節症	7,989,865,569	114,564	69,742	8,324,243,814	124,516	66,853	334,378,245	4.2%	9,952	8.7%	-2,889
6	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	4,739,734,056	90,376	52,445	6,001,840,683	99,346	60,414	1,262,106,627	26.6%	8,970	9.9%	7,969
7	2106 その他の理由による保健サービスの利用者	1,108,028,167	78,052	14,196	1,057,406,640	86,869	12,172	-50,621,527	-4.6%	8,817	11.3%	-2,024
8	0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	2,288,888,720	77,197	29,650	2,874,887,569	85,098	33,783	585,998,849	25.6%	7,901	10.2%	4,133
9	0901 高血圧性疾患	15,607,274,673	244,241	63,901	12,748,419,210	251,986	50,592	-2,858,855,463	-18.3%	7,745	3.2%	-13,309
10	1006 アレルギー性鼻炎	1,080,233,898	70,767	15,265	957,886,952	77,725	12,324	-122,346,946	-11.3%	6,958	9.8%	-2,941
11	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されない	5,469,618,374	152,088	35,964	5,320,516,145	159,039	33,454	-149,102,229	-2.7%	6,951	4.6%	-2,509
12	1402 腎不全	12,558,230,841	24,947	503,396	13,790,880,829	31,759	434,235	1,232,649,988	9.8%	6,812	27.3%	-69,161
13	0501 血管性及び詳細不明の認知症	2,738,635,454	11,002	248,922	2,389,484,453	17,720	134,847	-349,151,001	-12.7%	6,718	61.1%	-114,075
14	1113 その他の消化器系の疾患	11,666,460,017	218,464	53,402	12,977,711,582	224,705	57,754	1,311,251,565	11.2%	6,241	2.9%	4,352
15	0912 その他の循環器系の疾患	2,704,315,535	37,693	71,746	3,060,534,610	43,769	69,925	356,219,075	13.2%	6,076	16.1%	-1,821
16	0401 甲状腺障害	859,138,216	44,714	19,214	956,490,040	50,723	18,857	97,351,824	11.3%	6,009	13.4%	-357
17	1309 骨の密度及び構造の障害	8,475,776,442	100,860	84,080	8,487,486,662	106,754	79,505	11,710,220	0.1%	5,948	5.9%	-4,575
18	1901 骨折	13,265,329,346	55,380	239,533	15,110,655,793	61,117	247,241	1,845,326,447	13.9%	5,737	10.4%	7,709
19	0302 その他の血液及び造血器系の疾患並びに免疫機構の障害	1,171,558,328	23,188	50,524	1,255,559,565	28,405	44,202	84,001,237	7.2%	5,217	22.5%	-6,322
20	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	11,204,251,940	67,603	165,736	14,110,664,523	72,718	194,046	2,906,412,583	25.9%	5,115	7.6%	28,310

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。
年齢範囲…各年度末時点の年齢を65歳～999歳の範囲で分析対象としている。
年齢基準日…各年度末時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計(実患者数)するため、合計人数は縦の合計と一致しない。

患者数増加上位で見ると、生活習慣病関連疾患では、1位に糖尿病、2位にその他の心疾患、3位に脂質異常症、9位に高血圧性疾患が入っている。また、ロコモティブシンドローム関連疾患の関節症が5位に入っている。

③県内他市町との比較

本項では、今後長崎県として注力していく疾病分類(高血圧性疾患、糖尿病、腎不全、骨折)についてレセプトデータを活用し、長崎県の国民健康保険及び後期高齢者医療における「有病率」「患者一人当たり医療費」「医療費構成比」を、県内他市町との比較と併せて示していく。また、それぞれの項目で、長崎県全体を1とした場合の「地域差指数」も併せて示す。

【高血圧性疾患】

表74 平成31年度 高血圧性疾患の状況(国民健康保険)(年齢調整後)

市町名	有病率			患者一人当たり医療費			医療費構成比		
	(%)	地域差指数	順位	(円)	地域差指数	順位	(%)	地域差指数	順位
1 長崎市	30.40%	0.991	15	45,875	1.024	10	3.80%	0.967	15
2 佐世保市	29.60%	0.965	19	44,692	0.997	12	4.00%	1.021	12
3 島原市	29.88%	0.974	18	47,163	1.052	5	3.63%	0.926	18
4 諫早市	29.35%	0.957	21	45,344	1.012	11	3.64%	0.928	17
5 大村市	31.03%	1.012	11	44,454	0.992	13	3.91%	0.995	14
6 平戸市	32.84%	1.071	5	36,637	0.818	18	3.59%	0.914	19
7 松浦市	31.06%	1.013	10	42,621	0.951	15	3.93%	1.001	13
8 対馬市	30.55%	0.996	13	35,931	0.802	20	3.40%	0.867	21
9 壱岐市	33.21%	1.083	4	36,184	0.807	19	3.52%	0.897	20
10 五島市	30.55%	0.996	12	39,620	0.884	16	4.21%	1.073	9
11 西海市	34.75%	1.133	2	47,099	1.051	6	5.00%	1.275	1
12 雲仙市	33.25%	1.084	3	54,473	1.216	1	4.45%	1.133	6
13 南島原市	29.93%	0.976	17	46,971	1.048	8	3.70%	0.944	16
14 長与町	31.85%	1.038	9	43,751	0.976	14	4.65%	1.185	2
15 時津町	32.55%	1.061	7	48,882	1.091	3	4.63%	1.179	3
16 東彼杵町	30.00%	0.978	16	46,810	1.045	9	4.01%	1.023	11
17 川棚町	32.61%	1.063	6	49,370	1.102	2	4.36%	1.110	7
18 波佐見町	30.44%	0.992	14	48,128	1.074	4	4.48%	1.143	5
19 小値賀町	34.82%	1.135	1	29,047	0.648	21	4.51%	1.148	4
20 佐々町	29.37%	0.958	20	47,018	1.049	7	4.30%	1.095	8
21 新上五島町	32.35%	1.055	8	37,606	0.839	17	4.09%	1.043	10
県全体	30.67%	1.000		44,814	1.000		3.92%	1.000	

表75 平成31年度 高血圧性疾患の状況(後期高齢者医療)(年齢調整後)

市町名	有病率			患者一人当たり医療費			医療費構成比		
	(%)	地域差指数	順位	(円)	地域差指数	順位	(%)	地域差指数	順位
1 長崎市	71.73%	1.005	13	57,311	1.081	4	3.69%	0.918	20
2 佐世保市	69.36%	0.972	19	50,560	0.953	14	4.06%	1.013	14
3 島原市	69.59%	0.975	18	50,540	0.953	15	4.10%	1.021	13
4 諫早市	69.17%	0.969	20	51,408	0.969	13	3.82%	0.951	18
5 大村市	71.38%	1.000	14	48,710	0.918	17	4.00%	0.997	16
6 平戸市	75.10%	1.052	5	39,404	0.743	20	3.53%	0.881	21
7 松浦市	70.90%	0.993	16	55,339	1.043	7	4.77%	1.189	5
8 対馬市	74.26%	1.040	7	42,200	0.796	19	4.21%	1.049	9
9 壱岐市	76.17%	1.067	2	45,076	0.850	18	4.10%	1.023	11
10 五島市	72.46%	1.015	12	56,252	1.061	5	5.55%	1.384	2
11 西海市	74.65%	1.046	6	61,569	1.161	1	4.94%	1.232	4
12 雲仙市	73.06%	1.023	9	50,353	0.949	16	4.18%	1.042	10
13 南島原市	67.45%	0.945	21	55,886	1.054	6	4.40%	1.096	8
14 長与町	72.77%	1.019	11	52,503	0.990	11	3.84%	0.956	17
15 時津町	75.56%	1.059	3	58,951	1.112	2	3.80%	0.946	19
16 東彼杵町	70.69%	0.990	17	52,439	0.989	12	4.10%	1.022	12
17 川棚町	72.81%	1.020	10	57,607	1.086	3	4.41%	1.099	7
18 波佐見町	71.26%	0.998	15	52,712	0.994	9	4.01%	0.999	15
19 小値賀町	78.42%	1.099	1	33,907	0.639	21	4.41%	1.100	6
20 佐々町	73.55%	1.030	8	52,584	0.991	10	4.95%	1.234	3
21 新上五島町	75.14%	1.053	4	54,506	1.028	8	5.59%	1.394	1
県全体	71.38%	1.000		53,035	1.000		4.01%	1.000	

平成31年度での高血圧性疾患の有病率における地域差指数(年齢調整後)の状況は以下のとおり。

図51 平成31年度 高血圧性疾患の有病率における地域差指数(国民健康保険・年齢調整後)

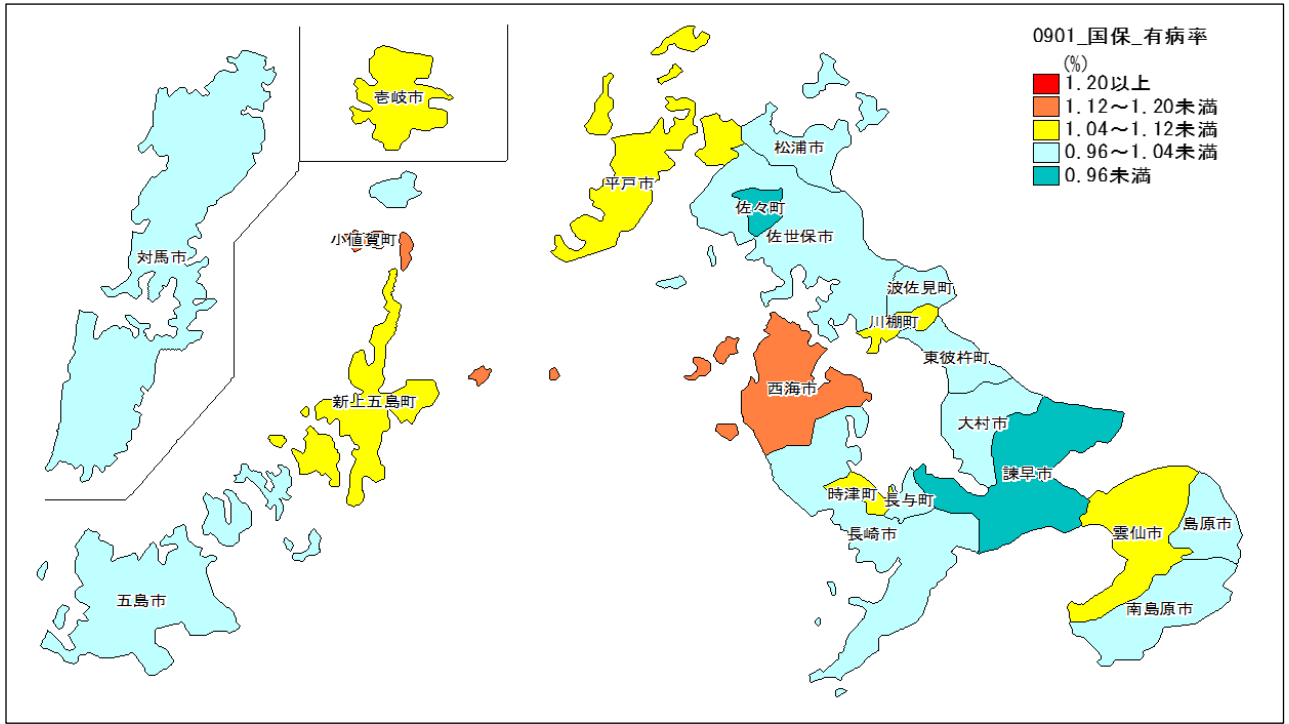
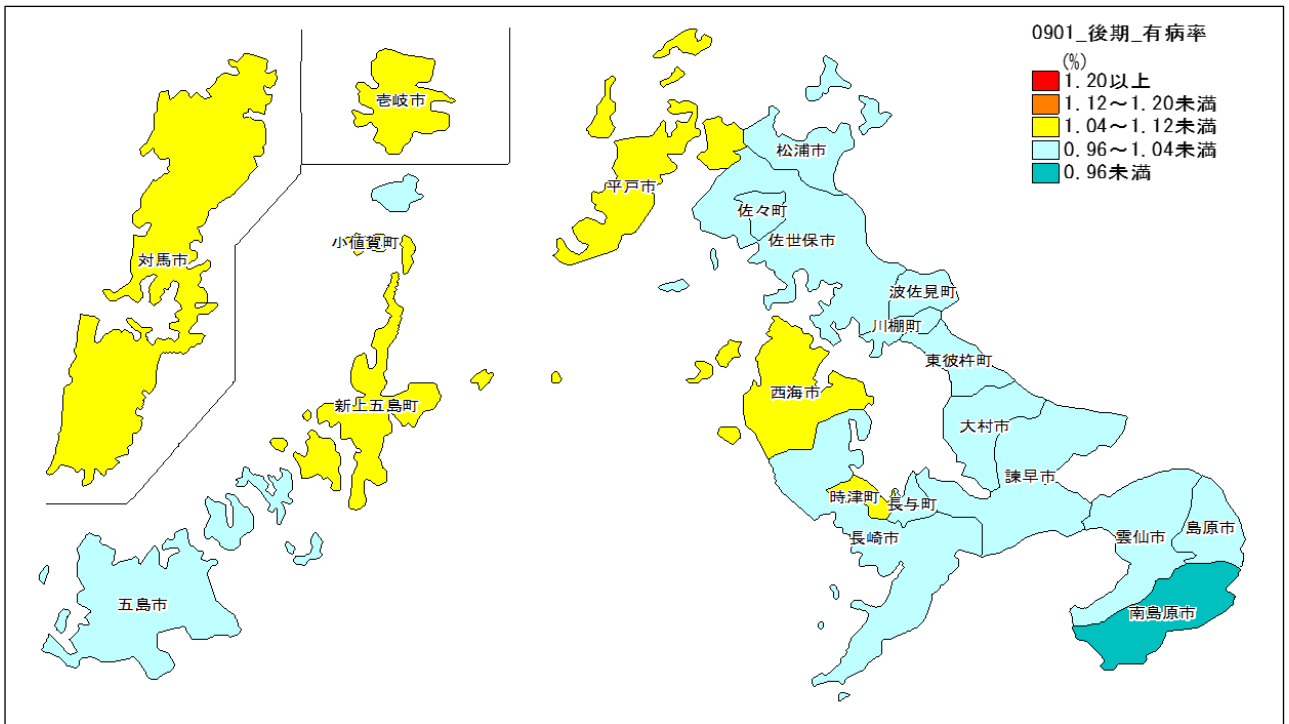


図52 平成31年度 高血圧性疾患の有病率における地域差指数(後期高齢者医療・年齢調整後)



【糖尿病】

表76 平成31年度 糖尿病の状況(国民健康保険)(年齢調整後)

市町名	有病率			患者一人当たり医療費			医療費構成比		
	(%)	地域差 指数	順位	(円)	地域差 指数	順位	(%)	地域差 指数	順位
1 長崎市	22.57%	0.998	12	63,773	1.010	8	3.91%	0.959	16
2 佐世保市	21.88%	0.967	15	61,944	0.981	11	4.09%	1.004	10
3 島原市	25.27%	1.117	2	63,254	1.002	9	4.18%	1.026	9
4 諫早市	20.71%	0.916	19	65,253	1.034	7	3.69%	0.906	18
5 大村市	23.13%	1.022	9	58,680	0.930	16	3.85%	0.945	17
6 平戸市	25.33%	1.119	1	58,361	0.925	17	4.39%	1.076	7
7 松浦市	20.98%	0.928	17	75,521	1.196	1	4.70%	1.152	5
8 対馬市	23.49%	1.038	8	66,559	1.055	4	4.85%	1.191	2
9 壱岐市	20.75%	0.917	18	66,038	1.046	6	4.03%	0.989	11
10 五島市	23.04%	1.018	10	60,483	0.958	14	4.81%	1.179	3
11 西海市	24.25%	1.072	5	61,124	0.968	12	4.51%	1.107	6
12 雲仙市	22.68%	1.002	11	70,205	1.112	3	4.01%	0.983	13
13 南島原市	24.65%	1.090	4	60,525	0.959	13	3.98%	0.975	14
14 長与町	22.28%	0.985	13	57,298	0.908	18	4.23%	1.039	8
15 時津町	23.70%	1.048	7	73,407	1.163	2	5.08%	1.246	1
16 東彼杵町	21.72%	0.960	16	59,216	0.938	15	3.68%	0.902	19
17 川棚町	22.20%	0.981	14	66,312	1.051	5	3.95%	0.968	15
18 波佐見町	18.97%	0.838	20	62,625	0.992	10	3.63%	0.890	20
19 小値賀町	16.23%	0.718	21	49,042	0.777	21	3.52%	0.863	21
20 佐々町	23.95%	1.058	6	53,728	0.851	20	4.01%	0.984	12
21 新上五島町	24.90%	1.101	3	57,269	0.907	19	4.77%	1.170	4
県全体	22.62%	1.000		63,119	1.000		4.08%	1.000	

表77 平成31年度 糖尿病の状況(後期高齢者医療)(年齢調整後)

市町名	有病率			患者一人当たり医療費			医療費構成比		
	(%)	地域差 指数	順位	(円)	地域差 指数	順位	(%)	地域差 指数	順位
1 長崎市	46.82%	1.064	4	60,445	1.055	7	2.54%	0.949	16
2 佐世保市	44.52%	1.012	11	54,446	0.950	14	2.81%	1.051	8
3 島原市	46.81%	1.064	5	52,708	0.920	15	2.87%	1.075	7
4 諫早市	39.04%	0.887	16	60,924	1.063	6	2.55%	0.955	15
5 大村市	45.19%	1.027	7	52,598	0.918	16	2.74%	1.024	10
6 平戸市	45.22%	1.027	6	47,345	0.826	19	2.56%	0.956	14
7 松浦市	36.42%	0.828	17	58,209	1.016	9	2.58%	0.964	13
8 対馬市	47.52%	1.080	3	41,783	0.729	21	2.67%	0.997	11
9 壱岐市	35.10%	0.798	18	70,963	1.238	2	2.98%	1.114	5
10 五島市	39.50%	0.898	14	57,577	1.005	10	3.10%	1.159	2
11 西海市	44.67%	1.015	10	48,733	0.850	17	2.34%	0.876	19
12 雲仙市	40.45%	0.919	13	55,124	0.962	13	2.54%	0.948	17
13 南島原市	44.87%	1.020	9	58,816	1.026	8	3.08%	1.152	3
14 長与町	45.16%	1.026	8	64,283	1.122	3	2.92%	1.091	6
15 時津町	51.86%	1.178	1	55,146	0.962	12	2.44%	0.912	18
16 東彼杵町	35.06%	0.797	19	55,624	0.971	11	2.16%	0.807	20
17 川棚町	41.84%	0.951	12	62,886	1.097	5	2.77%	1.035	9
18 波佐見町	32.79%	0.745	20	73,719	1.286	1	2.58%	0.965	12
19 小値賀町	27.15%	0.617	21	46,585	0.813	20	2.10%	0.785	21
20 佐々町	48.95%	1.112	2	48,694	0.850	18	3.05%	1.141	4
21 新上五島町	39.40%	0.895	15	63,647	1.111	4	3.42%	1.281	1
県全体	44.01%	1.000		57,305	1.000		2.67%	1.000	

図53 平成31年度 糖尿病の有病率における地域差指数(国民健康保険・年齢調整後)

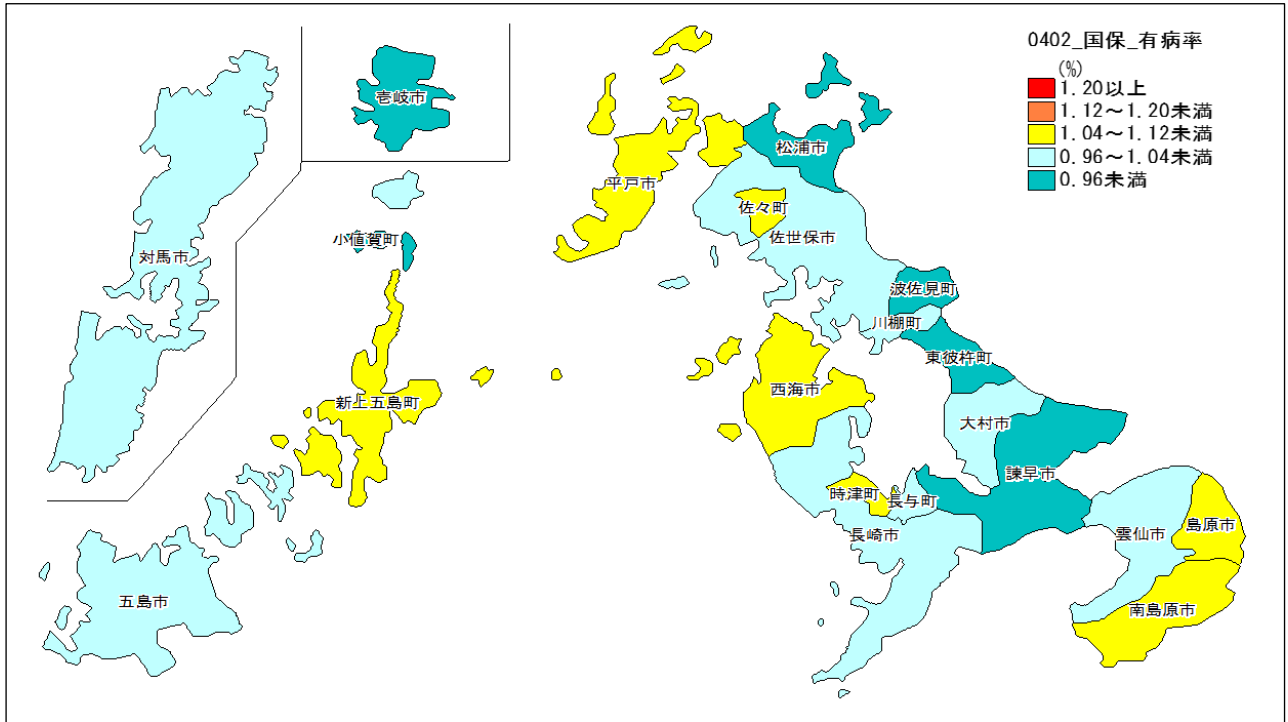
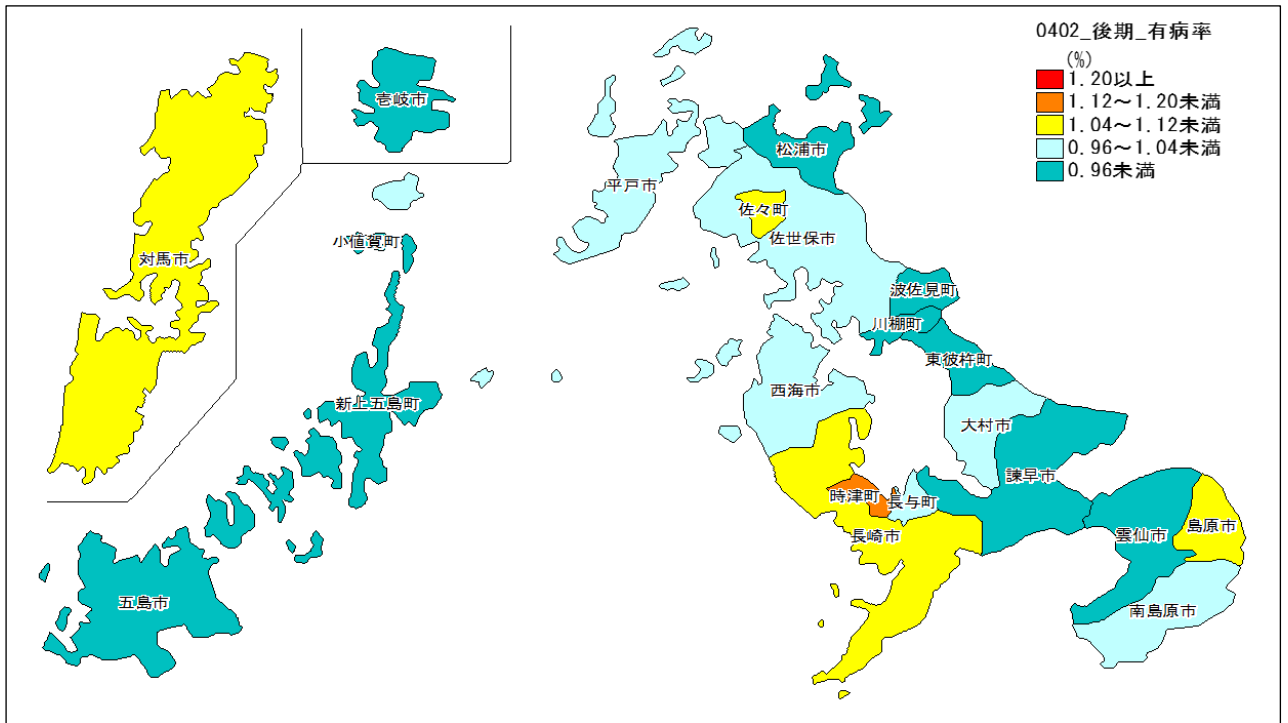


図54 平成31年度 糖尿病の有病率における地域差指数(後期高齢者医療・年齢調整後)



【腎不全】

表78 平成31年度 腎不全の状況(国民健康保険)(年齢調整後)

市町名	有病率			患者一人当たり医療費			医療費構成比		
	(%)	地域差 指数	順位	(円)	地域差 指数	順位	(%)	地域差 指数	順位
1 長崎市	2.73%	1.003	11	857,134	1.134	6	6.37%	1.084	7
2 佐世保市	2.68%	0.983	13	662,998	0.877	12	5.38%	0.916	15
3 島原市	2.93%	1.074	7	891,660	1.179	4	6.80%	1.157	4
4 諫早市	2.08%	0.763	20	858,345	1.135	5	4.87%	0.828	18
5 大村市	2.87%	1.051	8	713,420	0.944	10	5.79%	0.985	12
6 平戸市	3.36%	1.234	6	764,128	1.011	9	7.61%	1.294	1
7 松浦市	1.66%	0.609	21	1,015,599	1.343	2	5.00%	0.850	17
8 対馬市	2.55%	0.935	14	710,313	0.940	11	5.62%	0.956	14
9 壱岐市	3.76%	1.379	3	540,087	0.714	16	5.91%	1.005	10
10 五島市	2.23%	0.818	18	660,416	0.874	13	5.12%	0.871	16
11 西海市	2.28%	0.837	16	623,158	0.824	14	4.32%	0.734	19
12 雲仙市	2.70%	0.991	12	946,561	1.252	3	6.39%	1.086	6
13 南島原市	2.74%	1.006	10	798,540	1.056	8	5.81%	0.987	11
14 長与町	3.52%	1.291	5	492,381	0.651	19	5.79%	0.984	13
15 時津町	3.55%	1.302	4	584,433	0.773	15	6.08%	1.034	9
16 東彼杵町	2.75%	1.009	9	800,432	1.059	7	6.15%	1.046	8
17 川棚町	2.21%	0.811	19	1,110,040	1.468	1	6.56%	1.115	5
18 波佐見町	2.36%	0.865	15	478,945	0.634	20	3.43%	0.584	20
19 小値賀町	2.25%	0.825	17	298,220	0.394	21	3.01%	0.511	21
20 佐々町	4.11%	1.507	1	535,089	0.708	17	6.87%	1.168	2
21 新上五島町	4.04%	1.480	2	527,140	0.697	18	6.83%	1.161	3
県全体	2.73%	1.000		755,986	1.000		5.88%	1.000	

表79 平成31年度 腎不全の状況(後期高齢者医療)(年齢調整後)

市町名	有病率			患者一人当たり医療費			医療費構成比		
	(%)	地域差 指数	順位	(円)	地域差 指数	順位	(%)	地域差 指数	順位
1 長崎市	11.03%	1.053	8	361,361	0.949	10	3.57%	0.845	15
2 佐世保市	10.42%	0.994	10	450,625	1.183	4	5.44%	1.286	2
3 島原市	9.49%	0.905	12	412,233	1.082	7	4.55%	1.077	9
4 諫早市	7.44%	0.710	19	476,419	1.251	3	3.81%	0.900	13
5 大村市	10.55%	1.007	9	424,958	1.116	6	5.16%	1.220	3
6 平戸市	14.83%	1.416	2	257,927	0.677	16	4.57%	1.080	8
7 松浦市	7.13%	0.681	20	694,800	1.824	1	6.03%	1.424	1
8 対馬市	14.07%	1.343	5	257,358	0.676	17	4.86%	1.149	5
9 壱岐市	14.37%	1.371	3	257,954	0.677	15	4.43%	1.047	10
10 五島市	7.72%	0.737	18	385,334	1.012	9	4.05%	0.958	12
11 西海市	8.98%	0.857	15	446,280	1.172	5	4.31%	1.020	11
12 雲仙市	7.97%	0.761	17	400,885	1.053	8	3.63%	0.859	14
13 南島原市	9.30%	0.887	14	286,174	0.751	13	3.10%	0.734	17
14 長与町	13.38%	1.277	6	226,092	0.594	19	3.04%	0.719	18
15 時津町	14.30%	1.365	4	267,118	0.701	14	3.26%	0.770	16
16 東彼杵町	6.86%	0.655	21	356,094	0.935	11	2.70%	0.639	20
17 川棚町	9.67%	0.923	11	248,482	0.652	18	2.53%	0.597	21
18 波佐見町	8.61%	0.821	16	522,739	1.372	2	4.80%	1.135	6
19 小値賀町	9.30%	0.888	13	189,808	0.498	21	2.93%	0.693	19
20 佐々町	18.32%	1.748	1	201,868	0.530	20	4.73%	1.119	7
21 新上五島町	12.23%	1.167	7	302,280	0.794	12	5.05%	1.193	4
県全体	10.48%	1.000		380,884	1.000		4.23%	1.000	

図55 平成31年度 腎不全の有病率における地域差指数(国民健康保険・年齢調整後)

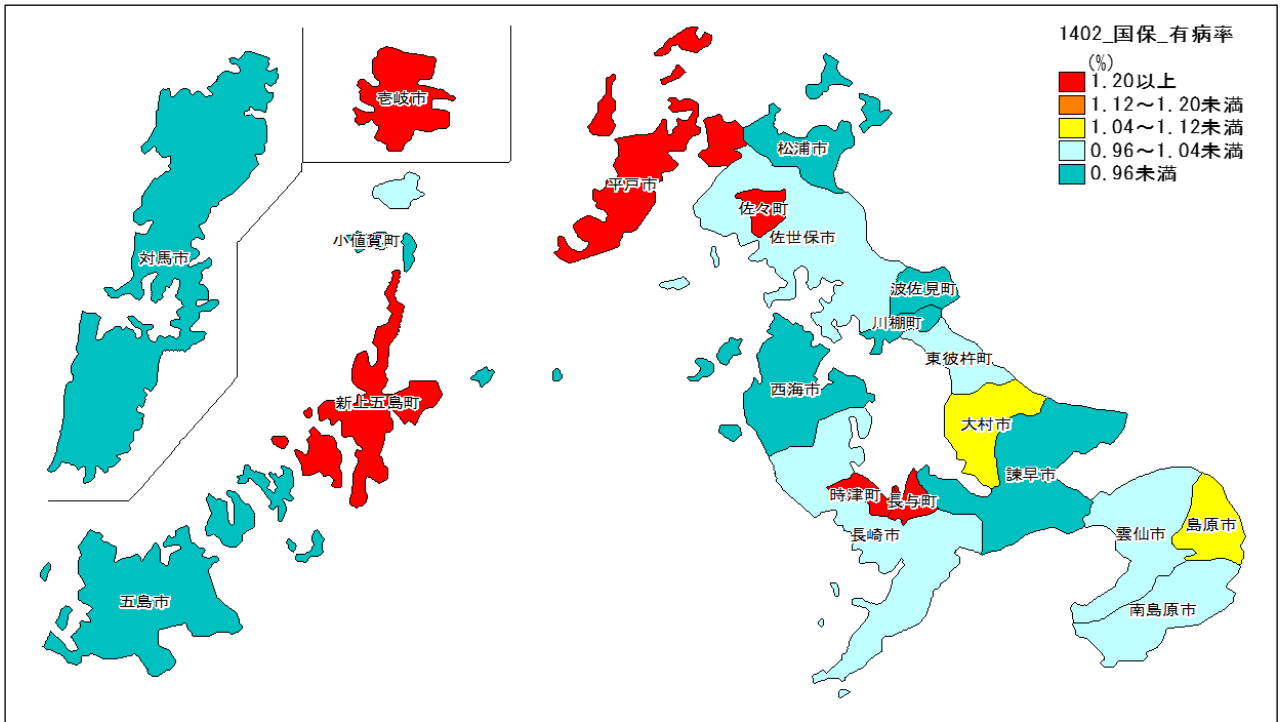
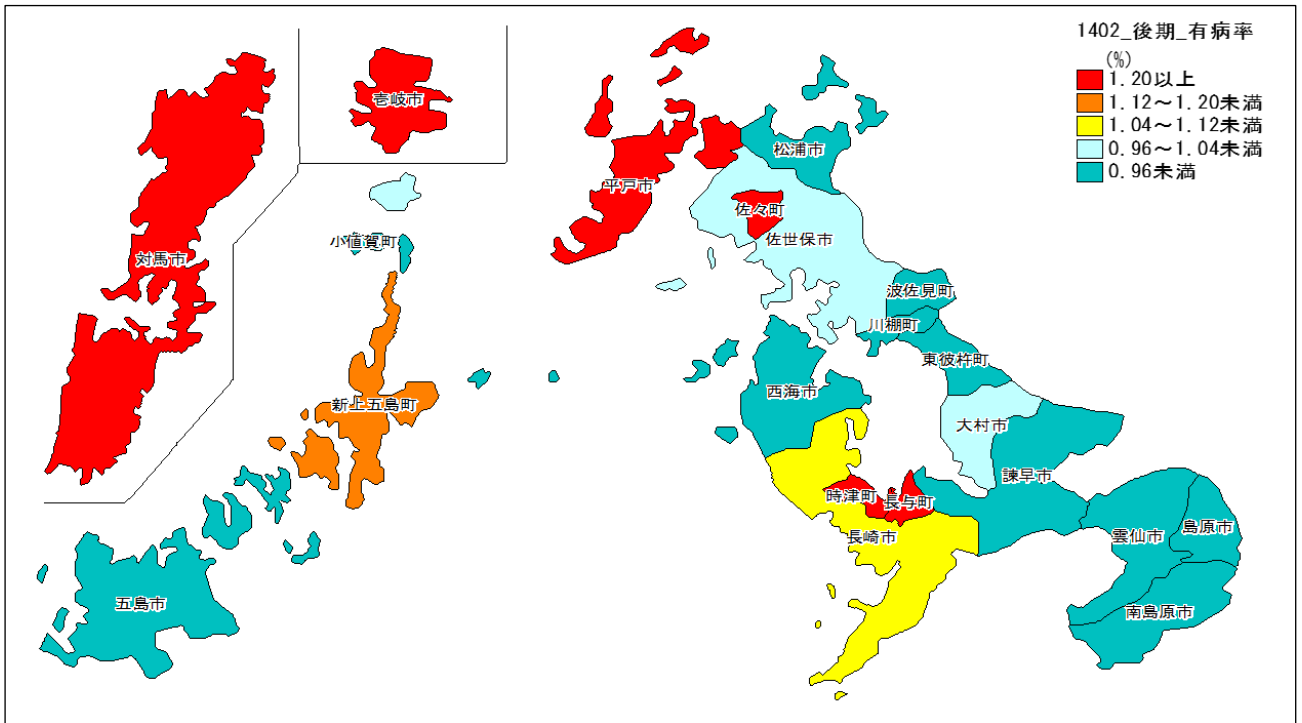


図56 平成31年度 腎不全の有病率における地域差指数(後期高齢者医療・年齢調整後)



【骨折】

表80 平成31年度 骨折の状況(国民健康保険)(年齢調整後)

市町名	有病率			患者一人当たり医療費			医療費構成比		
	(%)	地域差指数	順位	(円)	地域差指数	順位	(%)	地域差指数	順位
1 長崎市	5.56%	1.020	9	154,466	1.086	7	2.31%	1.041	12
2 佐世保市	4.85%	0.889	18	144,265	1.014	9	2.12%	0.958	13
3 島原市	5.60%	1.026	8	129,594	0.911	15	1.94%	0.875	18
4 諫早市	5.15%	0.943	14	142,192	0.999	11	2.00%	0.901	17
5 大村市	5.62%	1.031	7	162,542	1.142	5	2.60%	1.176	3
6 平戸市	7.33%	1.343	2	114,558	0.805	17	2.48%	1.121	6
7 松浦市	5.48%	1.005	11	154,768	1.088	6	2.46%	1.112	8
8 対馬市	6.11%	1.121	4	108,743	0.764	18	2.05%	0.927	16
9 壱岐市	7.63%	1.398	1	114,932	0.808	16	2.60%	1.172	4
10 五島市	5.01%	0.918	16	90,516	0.636	20	1.51%	0.683	20
11 西海市	5.52%	1.012	10	140,093	0.985	12	2.32%	1.045	11
12 雲仙市	5.89%	1.080	6	164,713	1.158	4	2.57%	1.161	5
13 南島原市	5.31%	0.974	13	143,604	1.009	10	2.11%	0.952	14
14 長与町	4.82%	0.884	19	151,772	1.067	8	2.39%	1.080	9
15 時津町	5.33%	0.976	12	102,250	0.719	19	1.63%	0.734	19
16 東彼杵町	6.22%	1.140	3	135,334	0.951	14	2.38%	1.076	10
17 川棚町	4.91%	0.900	17	199,599	1.403	1	2.62%	1.182	2
18 波佐見町	5.03%	0.922	15	136,125	0.957	13	2.08%	0.940	15
19 小値賀町	3.66%	0.670	21	185,872	1.306	2	2.81%	1.269	1
20 佐々町	4.20%	0.770	20	184,436	1.296	3	2.47%	1.116	7
21 新上五島町	6.10%	1.119	5	65,711	0.462	21	1.27%	0.575	21
県全体	5.46%	1.000		142,270	1.000		2.22%	1.000	

表81 平成31年度 骨折の状況(後期高齢者医療)(年齢調整後)

市町名	有病率			患者一人当たり医療費			医療費構成比		
	(%)	地域差指数	順位	(円)	地域差指数	順位	(%)	地域差指数	順位
1 長崎市	22.50%	1.080	5	305,121	1.134	5	6.16%	1.036	9
2 佐世保市	18.53%	0.890	16	272,570	1.013	12	5.85%	0.986	11
3 島原市	20.89%	1.003	7	206,031	0.766	16	5.01%	0.844	18
4 諫早市	19.43%	0.933	13	294,691	1.095	6	6.14%	1.035	10
5 大村市	20.32%	0.975	9	282,491	1.050	9	6.61%	1.112	3
6 平戸市	26.11%	1.253	2	198,019	0.736	17	6.17%	1.039	8
7 松浦市	20.47%	0.983	8	250,143	0.930	14	6.23%	1.049	7
8 対馬市	21.78%	1.046	6	154,887	0.576	20	4.53%	0.763	20
9 壱岐市	26.67%	1.280	1	178,102	0.662	18	5.68%	0.956	14
10 五島市	20.26%	0.973	10	163,422	0.607	19	4.51%	0.760	21
11 西海市	19.57%	0.940	12	275,359	1.024	11	5.80%	0.977	13
12 雲仙市	19.15%	0.919	15	290,858	1.081	7	6.33%	1.066	5
13 南島原市	20.04%	0.962	11	241,196	0.897	15	5.64%	0.949	15
14 長与町	19.31%	0.927	14	329,838	1.226	3	6.40%	1.077	4
15 時津町	23.70%	1.138	3	275,599	1.024	10	5.57%	0.938	16
16 東彼杵町	17.82%	0.856	18	406,033	1.509	1	8.01%	1.348	1
17 川棚町	17.87%	0.858	17	287,025	1.067	8	5.39%	0.908	17
18 波佐見町	17.45%	0.838	19	336,706	1.252	2	6.27%	1.056	6
19 小値賀町	13.36%	0.642	21	263,691	0.980	13	5.85%	0.985	12
20 佐々町	16.16%	0.776	20	324,491	1.206	4	6.71%	1.130	2
21 新上五島町	23.07%	1.108	4	146,745	0.545	21	4.62%	0.778	19
県全体	20.83%	1.000		269,019	1.000		5.94%	1.000	

図57 平成31年度 骨折の有病率における地域差指数(国民健康保険・年齢調整後)

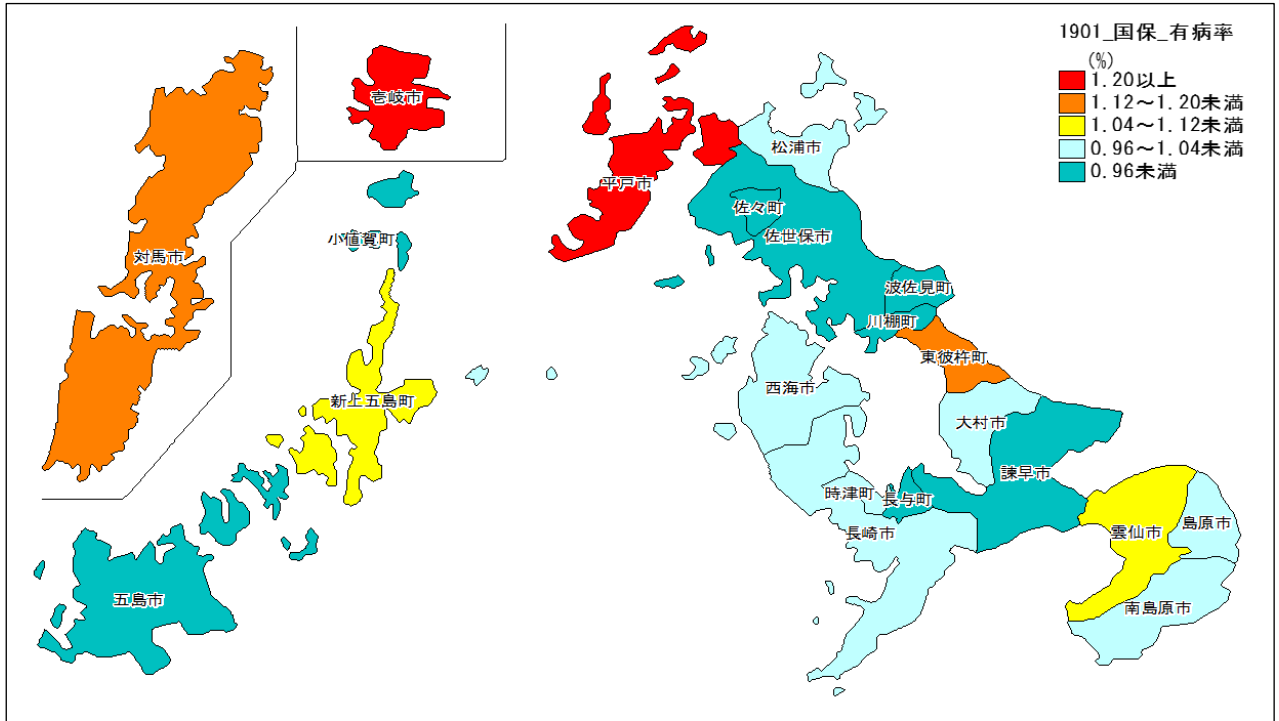
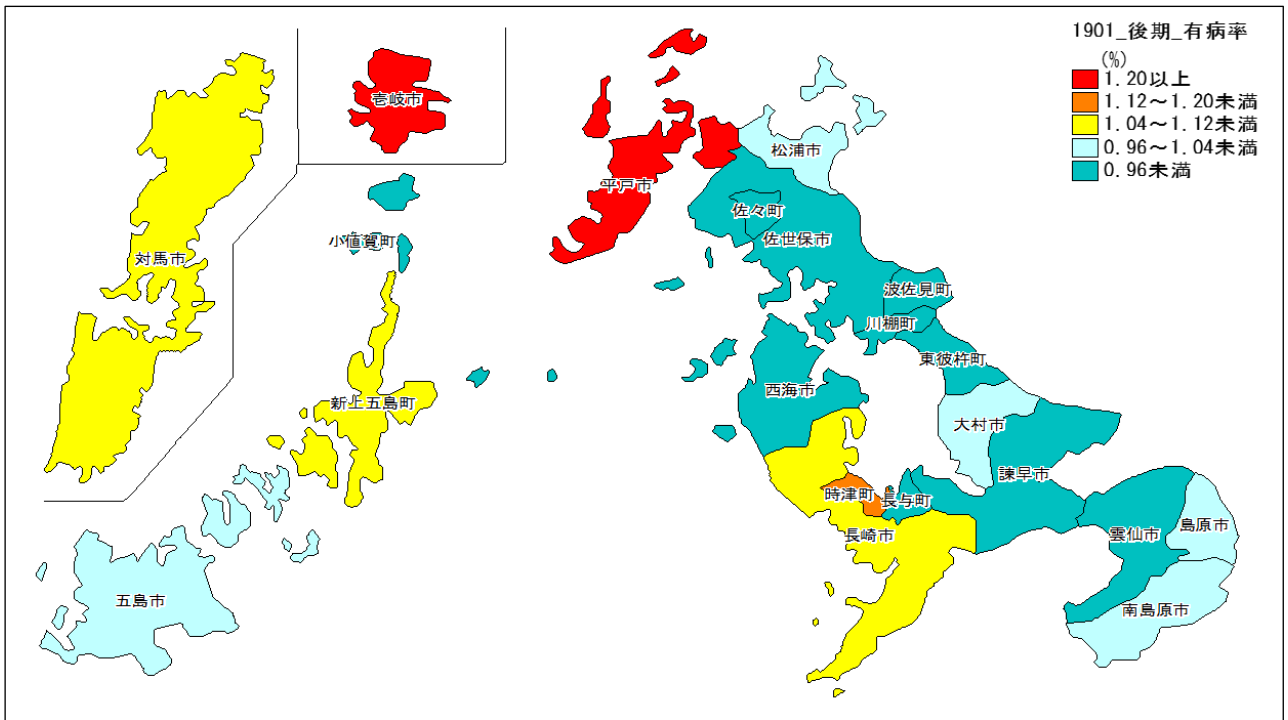


図58 平成31年度 骨折の有病率における地域差指数(後期高齢者医療・年齢調整後)



(4) 高血圧症及び関連疾病分析

① レセプト及び健診データによる高血圧症に係る分析

本項では、レセプト及び健診データを活用し、長崎県の国民健康保険及び後期高齢者医療における高血圧症、及び高血圧により発症や重症化のリスクが高まる脳心血管病、腎疾患等の重篤な疾病(以下、「関連疾病」と言う)に係る医療費等の状況について、示していく。

表82 平成27～31年度 高血圧症及び関連疾病の医療費等の状況(国民健康保険)

疾病項目	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成27～31年度増減率
	医療費(円)※	構成比(%)	医療費(円)※	構成比(%)	医療費(円)※	構成比(%)	医療費(円)※	構成比(%)	医療費(円)※	構成比(%)	
高血圧症及び関連疾病	27,856,709,445	20.2%	26,490,354,419	20.0%	26,453,019,796	20.2%	25,217,026,288	19.7%	24,527,069,010	19.2%	-12.0%
高血圧症 ※	6,713,435,463	4.9%	6,039,939,155	4.6%	5,608,536,408	4.3%	4,975,956,447	3.9%	4,776,186,236	3.7%	-28.9%
関連疾病 ※	21,143,273,982	15.3%	20,450,415,264	15.4%	20,844,483,388	15.9%	20,241,069,841	15.8%	19,750,882,774	15.5%	-6.6%
脳血管障害	4,504,369,939	3.3%	4,274,063,553	3.2%	4,544,599,695	3.5%	4,256,458,735	3.3%	4,086,607,217	3.2%	-9.3%
心疾患	7,083,122,705	5.1%	6,800,799,175	5.1%	7,229,821,787	5.5%	7,029,412,442	5.5%	6,640,859,089	5.2%	-6.2%
腎疾患	8,372,803,031	6.1%	8,140,137,264	6.1%	7,840,036,015	6.0%	7,805,131,505	6.1%	7,917,387,639	6.2%	-5.4%
血管疾患	1,182,978,307	0.9%	1,235,415,272	0.9%	1,230,025,891	0.9%	1,150,067,159	0.9%	1,106,028,829	0.9%	-6.5%
その他の疾病	110,293,294,045	79.8%	105,950,640,291	80.0%	104,715,925,404	79.8%	103,011,408,562	80.3%	102,968,441,640	80.8%	-6.6%
合計	138,150,003,490		132,440,994,710		131,168,945,200		128,228,434,850		127,495,510,650		-7.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を0歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計(実患者数)するため、関連疾病合計人数、合計人数は縦の合計と一致しない。

※高血圧症…ICD10により、次の疾病を対象に集計。I10「本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)」、I15「二次性<続発性>高血圧(症)」

※関連疾病…中分類または、ICD10により、以下の疾病を対象に集計。脳血管障害…0904「くも膜下出血」、0905「脳内出血」、0906「脳梗塞」、0907「脳動脈硬化(症)」、0908「その他の脳血管疾患」、心疾患…0902「虚血性心疾患」、0903「その他の心疾患」、I11「高血圧性心疾患」、I13「高血圧性心腎疾患」。腎疾患…I40「糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患」、I402「腎不全」、I12「高血圧性腎疾患」。血管疾患…0909「動脈硬化(症)」、0912「その他の循環器系の疾患(一部)」。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

表83 平成27～31年度 高血圧症及び関連疾病患者数等の状況(国民健康保険)

疾病項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成27～31年度増減率
	患者数(人)※	患者数(人)※	患者数(人)※	患者数(人)※	患者数(人)※	
高血圧症及び関連疾病	157,624	154,548	150,476	148,000	145,080	-6.1%
高血圧症 ※	116,908	114,896	112,120	110,626	109,756	-5.4%
関連疾病 ※	109,135	106,566	104,040	102,146	99,240	-6.4%
脳血管障害	36,421	34,788	33,833	32,754	31,044	-10.1%
心疾患	80,930	78,970	77,079	75,378	73,326	-6.9%
腎疾患	17,726	18,156	18,882	19,287	19,100	8.8%
血管疾患	22,493	21,939	21,470	22,150	21,287	-1.5%
その他の疾病	338,560	326,647	313,223	302,130	292,348	-10.8%
合計	341,348	329,374	315,758	304,637	294,671	-10.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を0歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計(実患者数)するため、関連疾病合計人数、合計人数は縦の合計と一致しない。

※高血圧症…ICD10により、次の疾病を対象に集計。I10「本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)」、I15「二次性<続発性>高血圧(症)」

※関連疾病…中分類または、ICD10により、以下の疾病を対象に集計。脳血管障害…0904「くも膜下出血」、0905「脳内出血」、0906「脳梗塞」、0907「脳動脈硬化(症)」、0908「その他の脳血管疾患」、心疾患…0902「虚血性心疾患」、0903「その他の心疾患」、I11「高血圧性心疾患」、I13「高血圧性心腎疾患」。腎疾患…I40「糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患」、I402「腎不全」、I12「高血圧性腎疾患」。血管疾患…0909「動脈硬化(症)」、0912「その他の循環器系の疾患(一部)」。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

表84 平成27～31年度 高血圧症及び関連疾病の医療費等の状況(後期高齢者医療)

疾病項目	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成27～31年度増減率
	医療費(円)※	構成比(%)	医療費(円)※	構成比(%)	医療費(円)※	構成比(%)	医療費(円)※	構成比(%)	医療費(円)※	構成比(%)	
高血圧症及び関連疾病	51,827,780,520	24.8%	51,646,061,226	24.7%	53,023,994,606	24.7%	52,147,085,416	24.2%	52,650,837,954	23.9%	1.6%
高血圧症 ※	9,703,642,448	4.6%	9,157,558,442	4.4%	8,972,190,762	4.2%	8,305,087,460	3.8%	8,350,384,573	3.8%	-13.9%
関連疾病 ※	42,124,138,072	20.1%	42,488,502,784	20.3%	44,051,803,844	20.5%	43,841,997,956	20.3%	44,300,453,381	20.1%	5.2%
脳血管障害	13,437,634,449	6.4%	12,830,893,575	6.1%	13,210,925,725	6.1%	12,995,253,413	6.0%	12,987,511,907	5.9%	-3.3%
心疾患	17,158,327,945	8.2%	17,791,976,573	8.5%	18,542,979,891	8.6%	18,662,995,452	8.6%	18,828,448,315	8.6%	9.7%
腎疾患	9,034,415,799	4.3%	9,213,539,484	4.4%	9,703,739,327	4.5%	9,707,842,813	4.5%	10,195,586,886	4.6%	12.9%
血管疾患	2,493,759,879	1.2%	2,652,093,152	1.3%	2,594,158,901	1.2%	2,475,906,278	1.1%	2,288,906,273	1.0%	-8.2%
その他の疾病	157,539,559,170	75.2%	157,395,357,644	75.3%	161,998,896,604	75.3%	163,628,490,954	75.8%	167,561,950,206	76.1%	6.4%
合計	209,367,339,690		209,041,418,870		215,022,891,210		215,775,576,370		220,212,788,160		5.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を65歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計(実患者数)するため、関連疾病合計人数、合計人数は縦の合計と一致しない。

※高血圧症…ICD10により、次の疾病を対象に集計。I10「本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)」、I15「二次性<続発性>高血圧(症)」

※関連疾病…中分類または、ICD10により、以下の疾病を対象に集計。脳血管障害…0904「くも膜下出血」、0905「脳内出血」、0906「脳梗塞」、0907「脳動脈硬化(症)」、0908「その他の脳血管疾患」、心疾患…0902「虚血性心疾患」、0903「その他の心疾患」、I11「高血圧性心疾患」、I13「高血圧性心腎疾患」、腎疾患…I40「糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患」、I402「腎不全」、I12「高血圧性腎疾患」。血管疾患…0909「動脈硬化(症)」、0912「その他の循環器系の疾患(一部)」。株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

表85 平成27～31年度 高血圧症及び関連疾病患者数等の状況(後期高齢者医療)

疾病項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成27～31年度増減率
	患者数(人)※	患者数(人)※	患者数(人)※	患者数(人)※	患者数(人)※	
高血圧症及び関連疾病	190,017	193,604	195,809	197,236	198,823	3.8%
高血圧症 ※	154,054	157,420	159,470	161,145	163,329	4.6%
関連疾病 ※	160,463	163,003	164,991	166,227	167,255	3.6%
脳血管障害	71,716	71,457	71,475	70,598	69,516	-1.6%
心疾患	136,197	138,853	141,004	141,769	142,917	4.1%
腎疾患	29,754	32,145	34,019	35,299	36,335	18.6%
血管疾患	37,969	37,538	37,746	39,650	39,229	4.4%
その他の疾病	215,928	219,969	222,157	223,564	225,002	3.5%
合計	216,882	220,917	223,100	224,538	225,961	3.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を65歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計(実患者数)するため、関連疾病合計人数、合計人数は縦の合計と一致しない。

※高血圧症…ICD10により、次の疾病を対象に集計。I10「本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)」、I15「二次性<続発性>高血圧(症)」

※関連疾病…中分類または、ICD10により、以下の疾病を対象に集計。脳血管障害…0904「くも膜下出血」、0905「脳内出血」、0906「脳梗塞」、0907「脳動脈硬化(症)」、0908「その他の脳血管疾患」、心疾患…0902「虚血性心疾患」、0903「その他の心疾患」、I11「高血圧性心疾患」、I13「高血圧性心腎疾患」、腎疾患…I40「糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患」、I402「腎不全」、I12「高血圧性腎疾患」。血管疾患…0909「動脈硬化(症)」、0912「その他の循環器系の疾患(一部)」。株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

表86 平成31年度 健診及びレセプトによる高血圧該当状況(国民健康保険)

血圧値の分類	検査値範囲		該当者数 (人)	高血圧症 ※ 投薬レセプト有	高血圧症 ※ 投薬レセプト無	高血圧症及び 関連疾病 ※ レセプト無
	収縮期血圧 (mmHg)	拡張期血圧 (mmHg)				
高血圧			23,180	13,410	2,639	7,131
Ⅲ度高血圧	180～	かつ／または 110～	691	429	55	207
Ⅱ度高血圧	160～179	かつ／または 100～109	3,881	2,288	432	1,161
Ⅰ度高血圧	140～159	かつ／または 90～99	18,608	10,693	2,152	5,763
正常域血圧			67,502	26,716	9,880	30,906
正常高値血圧	130～139	かつ／または 85～89	23,167	11,790	3,030	8,347
正常値血圧	120～129	かつ／または 80～84	21,822	9,368	3,164	9,290
至適血圧	～119	かつ ～79	22,513	5,558	3,686	13,269

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

年齢範囲…年齢基準日時点の年齢を40歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…令和2年3月31日時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計(実患者数)するため、関連疾病合計人数、合計人数は縦の合計と一致しない。

※高血圧症…ICD10により、次の疾病を対象に集計。I10「本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)」、I15「二次性<続発性>高血圧(症)」

※関連疾病…中分類または、ICD10により、以下の疾病を対象に集計。

脳血管障害…0904「くも膜下出血」、0905「脳内出血」、0906「脳梗塞」、0907「脳動脈硬化(症)」、0908「その他の脳血管疾患」

心疾患…0902「虚血性心疾患」、0903「その他の心疾患」、I11「高血圧性心疾患」、I13「高血圧性心腎疾患」

腎疾患…I401「糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患」、I402「腎不全」、I12「高血圧性腎疾患」

血管疾患…0909「動脈硬化(症)」、0912「その他の循環器系の疾患」(一部)。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

参考資料:日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン2014」

図59 平成31年度 健診及びレセプトによる高血圧該当状況(国民健康保険)

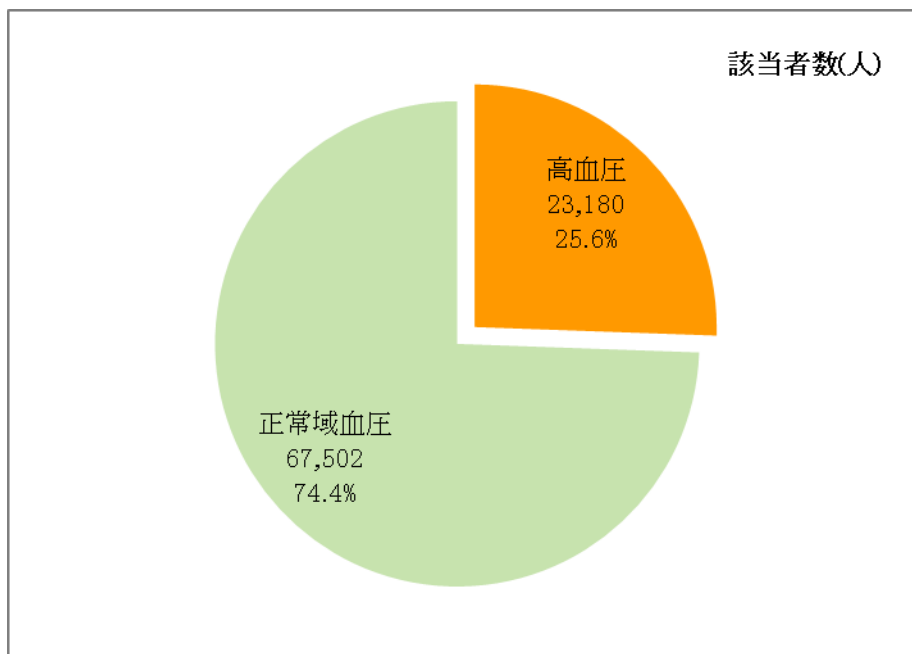
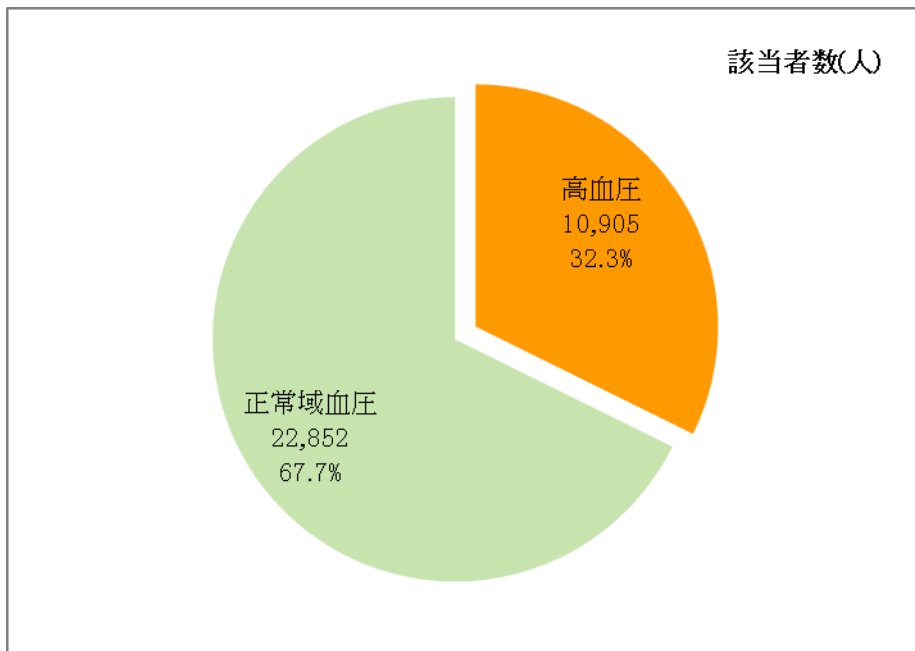


表87 平成31年度 健診及びレセプトによる高血圧該当状況(後期高齢者医療)

血圧値の分類	検査値範囲		該当者数 (人)	高血圧症 ※ 投薬レセプト有	高血圧症 ※ 投薬レセプト無	高血圧症及び 関連疾病 ※ レセプト無
	収縮期血圧 (mmHg)	拡張期血圧 (mmHg)				
高血圧			10,905	7,850	1,445	1,610
Ⅲ度高血圧	180～	かつ／または 110～	285	210	34	41
Ⅱ度高血圧	160～179	かつ／または 100～109	1,911	1,395	237	279
Ⅰ度高血圧	140～159	かつ／または 90～99	8,709	6,245	1,174	1,290
正常域血圧			22,852	14,491	4,333	4,028
正常高値血圧	130～139	かつ／または 85～89	9,117	6,257	1,411	1,449
正常値血圧	120～129	かつ／または 80～84	7,923	5,091	1,504	1,328
至適血圧	～119	かつ ～79	5,812	3,143	1,418	1,251

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
 年齢範囲…年齢基準日時点の年齢を65歳～99歳の範囲で分析対象としている。
 年齢基準日…令和2年3月31日時点。
 ※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
 そのため他統計と一致しない。
 ※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計(実患者数)するため、関連疾病合計人数、合計人数は縦の合計と一致しない。
 ※高血圧症…ICD10により、次の疾病を対象に集計。I10「本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)」、I15「二次性<続発性>高血圧(症)」
 ※関連疾病…中分類または、ICD10により、以下の疾病を対象に集計。
 脳血管障害…0904「くも膜下出血」、0905「脳内出血」、0906「脳梗塞」、0907「脳動脈硬化(症)」、0908「その他の脳血管疾患」
 心疾患…0902「虚血性心疾患」、0903「その他の心疾患」、I11「高血圧性心疾患」、I13「高血圧性心腎疾患」
 腎疾患…I401「糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患」、I402「腎不全」、I12「高血圧性腎疾患」
 血管疾患…0909「動脈硬化(症)」、0912「その他の循環器系の疾患」(一部)。
 株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
 参考資料:日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン2014」

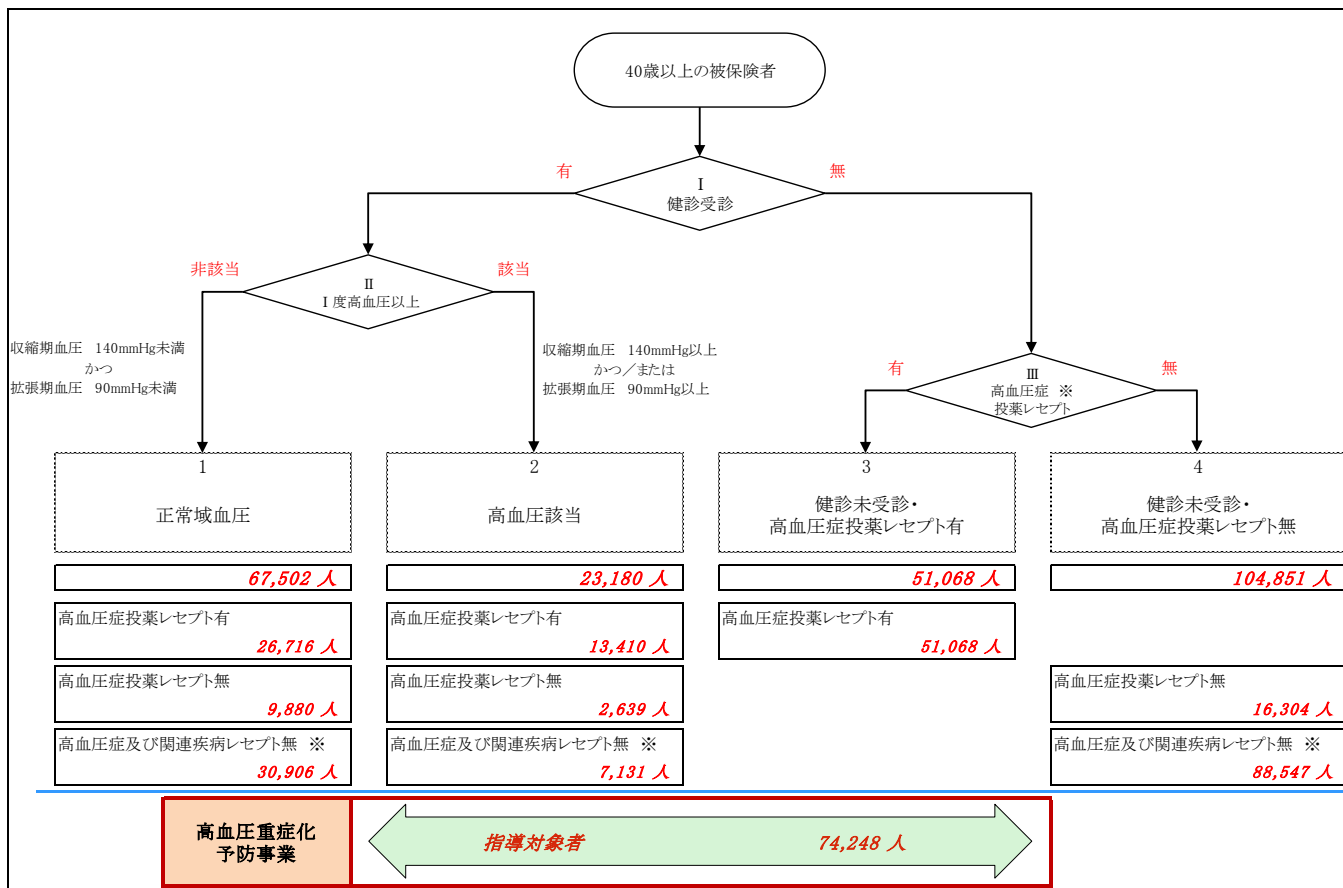
図60 平成31年度 健診及びレセプトによる高血圧該当状況(後期高齢者医療)



②高血圧症及び関連疾病分析(指導対象者集団の特定)

本項では、レセプト及び健診データを活用し、長崎県の国民健康保険及び後期高齢者医療における高血圧症、及び関連疾病での40歳以上の被保険者について、健診データの有無や血圧検査値、高血圧症に係る投薬レセプトの有無等を判定し、4つのグループに分類し、示していく。

図61 平成31年度 健診及びレセプトによる高血圧重症化予防指導対象者群分析(国民健康保険)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

年齢範囲…年齢基準日時点の年齢を40歳～75歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…令和2年3月31日時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計(実患者数)するため、関連疾病合計人数、合計人数は縦の合計と一致しない。

※高血圧症…ICD10により、次の疾病を対象に集計。I10「本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)」、I15「二次性<続発性>高血圧(症)」

※関連疾病…中分類または、ICD10により、以下の疾病を対象に集計。

脳血管障害…0904「くも膜下出血」、0905「脳内出血」、0906「脳梗塞」、0907「脳動脈硬化(症)」、0908「その他の脳血管疾患」

心疾患…0902「虚血性心疾患」、0903「その他の心疾患」、I11「高血圧性心疾患」、I13「高血圧性心腎疾患」

腎疾患…I40「糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患」、I402「腎不全」、I12「高血圧性腎疾患」

血管疾患…0909「動脈硬化(症)」、0912「その他の循環器系の疾患」(一部)。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

参考資料:日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン2014」

【フロー説明】

I 健診受診…健診受診の有無を判定。

II I度高血圧以上…収縮期血圧、拡張期血圧のいずれかが、日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン2014」に定められた血圧値の分類のI度高血圧以上か判定。

III 高血圧症投薬レセプト有…高血圧症で投薬治療を受けている医科レセプトの有無を判定。

参考：市町別順位

ここでは、長崎県の国民健康保険におけるグループ別の市町別対象者数及び順位を、以下のとおり示す。

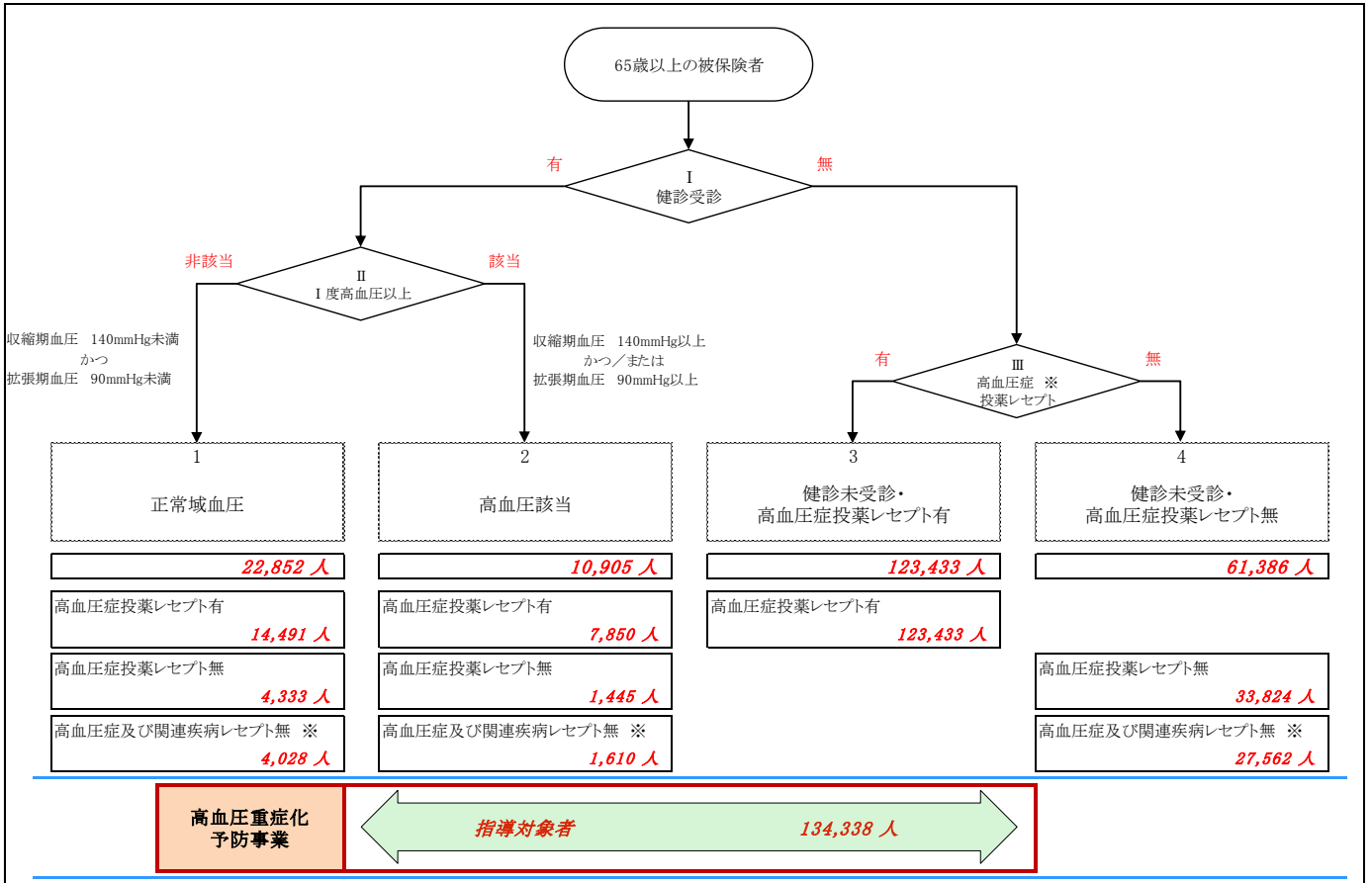
表88 平成31年度 市町別健診及びレセプトによる高血圧重症化予防指導対象者数(グループ2・3)(国民健康保険)

市町	2.高血圧該当			(高血圧該当のうち) 高血圧症及び 関連疾病レセプト有			(高血圧該当のうち) 高血圧症及び 関連疾病レセプト無			3.健診未受診・ 高血圧症投薬レセプト有			指導候補者数		
	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位
長崎市	5,975	7.3%	19	4,108	5.0%	19	1,867	2.3%	18	16,850	20.6%	1	22,825	27.9%	6
佐世保市	3,182	7.1%	20	2,186	4.8%	20	996	2.2%	19	9,089	20.2%	2	12,271	27.2%	9
島原市	817	7.8%	16	575	5.5%	15	242	2.3%	17	1,594	15.2%	17	2,411	23.0%	20
諫早市	2,502	9.8%	11	1,774	6.9%	11	728	2.8%	10	4,332	16.9%	12	6,834	26.7%	14
大村市	1,216	7.7%	18	829	5.3%	18	387	2.5%	15	3,047	19.4%	4	4,263	27.2%	10
平戸市	847	11.3%	5	559	7.4%	6	288	3.8%	4	1,192	15.8%	15	2,039	27.1%	11
松浦市	402	8.3%	14	271	5.6%	14	131	2.7%	12	934	19.3%	5	1,336	27.6%	8
対馬市	1,035	13.0%	3	753	9.5%	2	282	3.5%	6	1,303	16.4%	13	2,338	29.4%	2
壱岐市	887	14.1%	2	628	10.0%	1	259	4.1%	2	972	15.4%	16	1,859	29.5%	1
五島市	991	9.5%	12	675	6.5%	12	316	3.0%	8	1,959	18.7%	7	2,950	28.2%	5
西海市	638	10.0%	9	460	7.2%	8	178	2.8%	11	1,210	19.0%	6	1,848	29.1%	3
雲仙市	825	7.8%	17	580	5.5%	16	245	2.3%	16	2,113	19.9%	3	2,938	27.7%	7
南島原市	1,019	7.9%	15	689	5.3%	17	330	2.5%	14	2,100	16.2%	14	3,119	24.1%	17
長与町	732	10.4%	7	510	7.3%	7	222	3.2%	7	1,042	14.8%	18	1,774	25.3%	16
時津町	510	9.9%	10	371	7.2%	9	139	2.7%	13	883	17.1%	11	1,393	26.9%	13
東彼杵町	260	14.2%	1	157	8.6%	3	103	5.6%	1	209	11.4%	21	469	25.5%	15
川棚町	282	10.4%	8	224	8.3%	4	58	2.1%	20	504	18.6%	8	786	29.0%	4
波佐見町	299	11.4%	4	198	7.5%	5	101	3.8%	3	305	11.6%	20	604	23.0%	21
小値賀町	49	6.0%	21	35	4.3%	21	14	1.7%	21	141	17.3%	10	190	23.3%	19
佐々町	262	10.7%	6	173	7.0%	10	89	3.6%	5	324	13.2%	19	586	23.9%	18
新上五島町	450	8.6%	13	294	5.6%	13	156	3.0%	9	965	18.5%	9	1,415	27.1%	12
県全体	23,180	8.5%		16,049	5.9%		7,131	2.6%		51,068	18.7%		74,248	27.1%	

表89 平成31年度 市町別健診及びレセプトによる高血圧重症化予防指導対象者数(グループ1・4)(国民健康保険)

市町	1.正常域血圧			(正常域血圧のうち) 高血圧症投薬レセプト有			(正常域血圧のうち) 高血圧症投薬レセプト無			4.健診未受診・ 高血圧症投薬レセプト無		
	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位
長崎市	16,419	20.1%	21	6,420	7.8%	21	2,714	3.3%	17	34,247	41.8%	1
佐世保市	9,529	21.1%	20	3,712	8.2%	20	1,591	3.5%	12	18,053	40.0%	2
島原市	3,347	31.9%	7	1,321	12.6%	8	527	5.0%	2	3,901	37.2%	7
諫早市	6,243	24.4%	18	2,510	9.8%	17	821	3.2%	19	10,190	39.9%	3
大村市	3,823	24.4%	19	1,601	10.2%	15	576	3.7%	10	6,023	38.4%	4
平戸市	2,532	33.6%	5	1,059	14.1%	4	358	4.8%	3	2,340	31.1%	15
松浦市	1,216	25.1%	16	437	9.0%	18	155	3.2%	20	1,834	37.9%	5
対馬市	1,975	24.9%	17	693	8.7%	19	271	3.4%	14	2,971	37.4%	6
壱岐市	1,882	29.8%	11	743	11.8%	11	261	4.1%	7	1,995	31.6%	14
五島市	2,708	25.9%	15	1,051	10.0%	16	341	3.3%	18	3,880	37.1%	8
西海市	1,936	30.4%	10	859	13.5%	5	284	4.5%	5	1,870	29.4%	18
雲仙市	2,843	26.8%	14	1,126	10.6%	14	352	3.3%	16	3,916	36.9%	9
南島原市	4,166	32.2%	6	1,504	11.6%	12	457	3.5%	11	4,737	36.6%	10
長与町	2,238	31.9%	8	914	13.0%	7	375	5.3%	1	2,269	32.3%	13
時津町	1,453	28.1%	12	635	12.3%	10	215	4.2%	6	1,776	34.3%	12
東彼杵町	715	38.9%	2	273	14.9%	3	73	4.0%	8	485	26.4%	20
川棚町	827	30.5%	9	308	11.4%	13	94	3.5%	13	839	30.9%	16
波佐見町	995	37.8%	3	410	15.6%	2	118	4.5%	4	704	26.8%	19
小値賀町	353	43.4%	1	172	21.1%	1	25	3.1%	21	195	24.0%	21
佐々町	868	35.3%	4	324	13.2%	6	97	3.9%	9	753	30.7%	17
新上五島町	1,434	27.4%	13	644	12.3%	9	175	3.3%	15	1,873	35.8%	11
県全体	67,502	24.7%		26,716	9.8%		9,880	3.6%		104,851	38.3%	

図62 平成31年度 健診及びレセプトによる高血圧重症化予防指導対象者群分析(後期高齢者医療)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

年齢範囲…年齢基準日時時点の年齢を65歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…令和2年3月31日時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。中分類における疾病分類毎に集計(実患者数)するため、関連疾病合計人数、合計人数は縦の合計と一致しない。

※高血圧症…ICD10により、次の疾病を対象に集計。I10「本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)」、I15「二次性<続発性>高血圧(症)」

※関連疾病…中分類または、ICD10により、以下の疾病を対象に集計。

脳血管障害…0904「くも膜下出血」、0905「脳内出血」、0906「脳梗塞」、0907「脳動脈硬化(症)」、0908「その他の脳血管疾患」

心疾患…0902「虚血性心疾患」、0903「その他の心疾患」、I11「高血圧性心疾患」、I13「高血圧性心腎疾患」

腎疾患…I40「糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患」、I402「腎不全」、I12「高血圧性腎疾患」

血管疾患…0909「動脈硬化(症)」、0912「その他の循環器系の疾患」(一部)。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

参考資料:日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン2014」

【フロー説明】

I 健診受診…健診受診の有無を判定。

II I度高血圧以上…収縮期血圧、拡張期血圧のいずれかが、日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン2014」に定められた血圧値の分類のI度高血圧以上か判定。

III 高血圧症投薬レセプト有…高血圧症で投薬治療を受けている医科レセプトの有無を判定。

参考：市町別順位

ここでは、長崎県の後期高齢者医療におけるグループ別の市町別対象者数及び順位を、以下のとおり示す。

表90 平成31年度 市町別健診及びレセプトによる高血圧重症化予防指導対象者数(グループ2・3)(後期高齢者医療)

市町	2.高血圧該当			(高血圧該当のうち) 高血圧症及び 関連疾病レセプト有			(高血圧該当のうち) 高血圧症及び 関連疾病レセプト無			3.健診未受診・ 高血圧症投薬レセプト有			指導候補者数		
	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位
長崎市	1,989	2.8%	19	1,757	2.5%	19	232	0.3%	20	39,248	56.0%	6	41,237	58.8%	8
佐世保市	1,038	2.5%	20	828	2.0%	20	210	0.5%	18	23,536	56.2%	5	24,574	58.7%	9
島原市	783	8.9%	5	682	7.8%	5	101	1.2%	6	3,548	40.5%	20	4,331	49.4%	21
諫早市	1,210	5.7%	12	1,022	4.8%	13	188	0.9%	9	10,485	49.0%	14	11,695	54.6%	16
大村市	480	3.9%	18	397	3.3%	18	83	0.7%	16	6,874	56.5%	4	7,354	60.5%	4
平戸市	298	4.2%	16	263	3.7%	16	35	0.5%	19	3,926	55.2%	7	4,224	59.4%	6
松浦市	288	6.4%	9	236	5.2%	11	52	1.1%	7	2,078	45.9%	17	2,366	52.2%	18
対馬市	328	5.5%	13	286	4.8%	12	42	0.7%	15	3,359	56.6%	3	3,687	62.1%	3
壱岐市	353	6.2%	10	298	5.3%	10	55	1.0%	8	3,311	58.6%	2	3,664	64.8%	2
五島市	869	10.7%	3	742	9.1%	3	127	1.6%	2	3,897	47.8%	15	4,766	58.5%	11
西海市	309	5.1%	14	258	4.3%	14	51	0.8%	11	3,320	54.8%	8	3,629	59.9%	5
雲仙市	555	6.5%	8	483	5.7%	8	72	0.8%	10	4,236	49.9%	11	4,791	56.4%	13
南島原市	837	8.2%	6	676	6.6%	6	161	1.6%	1	4,298	42.0%	19	5,135	50.1%	19
長与町	336	6.1%	11	291	5.3%	9	45	0.8%	12	2,537	46.2%	16	2,873	52.3%	17
時津町	268	7.1%	7	239	6.3%	7	29	0.8%	14	1,866	49.4%	13	2,134	56.4%	14
東彼杵町	193	12.0%	2	170	10.6%	2	23	1.4%	4	599	37.4%	21	792	49.4%	20
川棚町	228	9.2%	4	199	8.0%	4	29	1.2%	5	1,232	49.5%	12	1,460	58.6%	10
波佐見町	106	4.2%	17	86	3.4%	17	20	0.8%	13	1,392	54.7%	9	1,498	58.9%	7
小値賀町	0	0.0%	21	0	0.0%	21	0	0.0%	21	507	72.4%	1	507	72.4%	1
佐々町	233	12.4%	1	204	10.8%	1	29	1.5%	3	808	42.9%	18	1,041	55.3%	15
新上五島町	204	4.6%	15	178	4.0%	15	26	0.6%	17	2,376	53.1%	10	2,580	57.7%	12
県全体	10,905	4.7%		9,295	4.0%		1,610	0.7%		123,433	52.9%		134,338	57.6%	

表91 平成31年度 市町別健診及びレセプトによる高血圧重症化予防指導対象者数(グループ1・4)(後期高齢者医療)

市町	1.正常域血圧			(正常域血圧のうち) 高血圧症投薬レセプト有			(正常域血圧のうち) 高血圧症投薬レセプト無			4.健診未受診・ 高血圧症投薬レセプト無		
	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位
長崎市	4,204	6.0%	19	2,640	3.8%	19	955	1.4%	16	20,290	29.0%	3
佐世保市	2,284	5.5%	20	1,248	3.0%	20	502	1.2%	20	12,279	29.3%	2
島原市	2,070	23.6%	2	1,367	15.6%	2	386	4.4%	2	1,842	21.0%	17
諫早市	2,628	12.3%	11	1,607	7.5%	12	555	2.6%	7	5,741	26.8%	4
大村市	977	8.0%	16	597	4.9%	16	196	1.6%	13	3,100	25.5%	5
平戸市	631	8.9%	15	415	5.8%	15	93	1.3%	18	1,763	24.8%	6
松浦市	509	11.2%	12	304	6.7%	13	96	2.1%	10	1,343	29.7%	1
対馬市	395	6.7%	18	249	4.2%	18	77	1.3%	19	1,414	23.8%	9
壱岐市	386	6.8%	17	241	4.3%	17	77	1.4%	17	1,211	21.4%	15
五島市	1,122	13.8%	10	740	9.1%	9	149	1.8%	12	1,754	21.5%	14
西海市	660	10.9%	14	469	7.7%	11	89	1.5%	14	1,339	22.1%	12
雲仙市	1,303	15.4%	7	905	10.7%	7	201	2.4%	9	1,891	22.3%	11
南島原市	1,994	19.5%	3	1,277	12.5%	3	312	3.0%	5	2,443	23.8%	8
長与町	1,017	18.5%	4	646	11.8%	5	242	4.4%	1	1,284	23.4%	10
時津町	651	17.2%	6	437	11.6%	6	120	3.2%	4	779	20.6%	18
東彼杵町	411	25.6%	1	284	17.7%	1	60	3.7%	3	302	18.8%	20
川棚町	363	14.6%	8	212	8.5%	10	62	2.5%	8	533	21.4%	16
波佐見町	281	11.0%	13	166	6.5%	14	47	1.8%	11	617	24.3%	7
小値賀町	0	0.0%	21	0	0.0%	21	0	0.0%	21	129	18.4%	21
佐々町	348	18.5%	5	222	11.8%	4	53	2.8%	6	365	19.4%	19
新上五島町	618	13.8%	9	465	10.4%	8	61	1.4%	15	976	21.8%	13
県全体	22,852	9.8%		14,491	6.2%		4,333	1.9%		61,386	26.3%	

(5)脳梗塞の発症予防・再発予防事業

①脳卒中・心筋梗塞の疾病別医療費及び患者数

本項では、レセプト及び健診データを活用し、長崎県の国民健康保険及び後期高齢者医療における脳卒中・心筋梗塞の疾病別医療費及び患者数の状況について、示していく。

厚生労働省「平成30年人口動態統計」において死亡率の高い疾病第2位の心疾患、第4位の脳血管疾患に関して分析を行う。脳卒中においては後遺症が残る恐れがあり、厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」において要介護者となった主な原因の第2位となっている。本項では、脳卒中・心筋梗塞における疾病毎の医療費、患者数を集計する。生活習慣病から重篤化した疾患のなかでは、脳梗塞の患者数が多く、特に対策が必要な疾病であると考えられる。また、脳卒中・心筋梗塞は再発率が高く、治療完了後の生活習慣の改善が必要となる。

表92 平成27～31年度 脳卒中・心筋梗塞の疾病別患者一人当たり医療費(国民健康保険)

疾病分類	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成27～31年度増減率
脳梗塞	2,311,373,502	2,202,738,634	2,171,294,447	2,011,794,898	2,020,810,845	-12.6%
脳内出血	1,063,226,557	993,109,667	1,160,094,827	1,056,678,132	971,592,191	-8.6%
くも膜下出血	389,070,737	321,275,070	375,421,268	421,930,201	360,968,675	-7.2%
心筋梗塞	770,229,492	709,345,798	739,737,370	682,189,814	607,877,719	-21.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…期間内に「脳卒中」もしくは「心筋梗塞」に関する診療行為がある患者を対象に集計。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を0歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※「0908その他の脳血管疾患」の分類内訳を「脳梗塞」、「脳内出血」、「くも膜下出血」に振り分けたため、中分類疾病別医療費統計の結果と一致しない。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。一人の患者に複数の傷病名が確認できるため、合計は一致しない。

表93 平成27～31年度 脳卒中・心筋梗塞の疾病別患者数(国民健康保険)

疾病分類	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成27～31年度増減率
脳梗塞	23,982	22,358	21,523	20,211	19,086	-20.4%
脳内出血	4,977	4,858	4,823	4,758	4,465	-10.3%
くも膜下出血	1,421	1,334	1,257	1,186	1,167	-17.9%
心筋梗塞	7,170	7,399	7,673	7,535	7,578	5.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…期間内に「脳卒中」もしくは「心筋梗塞」に関する診療行為がある患者を対象に集計。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を0歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※「0908その他の脳血管疾患」の分類内訳を「脳梗塞」、「脳内出血」、「くも膜下出血」に振り分けたため、中分類疾病別医療費統計の結果と一致しない。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。一人の患者に複数の傷病名が確認できるため、合計は一致しない。

表94 平成27～31年度 脳卒中・心筋梗塞の疾病別患者一人当たり医療費(国民健康保険)

疾病分類	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成27～31年度増減率
脳梗塞	96,380	98,521	100,883	99,540	105,879	9.9%
脳内出血	213,628	204,428	240,534	222,085	217,602	1.9%
くも膜下出血	273,801	240,836	298,664	355,759	309,313	13.0%
心筋梗塞	107,424	95,870	96,408	90,536	80,216	-25.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…期間内に「脳卒中」もしくは「心筋梗塞」に関する診療行為がある患者を対象に集計。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を0歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※「0908その他の脳血管疾患」の分類内訳を「脳梗塞」、「脳内出血」、「くも膜下出血」に振り分けたため、中分類疾病別医療費統計の結果と一致しない。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。一人の患者に複数の傷病名が確認できるため、合計は一致しない。

表95 平成27～31年度 脳卒中・心筋梗塞の疾病別患者一人当たり医療費(後期高齢者医療)

疾病分類	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成27～31 年度増減率
脳梗塞	9,578,454,324	9,092,032,908	9,232,182,159	8,959,331,550	8,996,276,482	-6.1%
脳内出血	1,975,704,372	1,889,875,977	1,958,219,090	2,052,147,056	1,984,541,841	0.4%
くも膜下出血	517,643,675	478,662,729	539,484,624	510,215,932	483,464,459	-6.6%
心筋梗塞	1,109,856,943	1,065,657,477	1,013,710,664	1,083,438,932	948,385,590	-14.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…期間内に「脳卒中」もしくは「心筋梗塞」に関する診療行為がある患者を対象に集計。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を65歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※「0908その他の脳血管疾患」の分類内訳を「脳梗塞」、「脳内出血」、「くも膜下出血」に振り分けため、中分類疾病別医療費統計の結果と一致しない。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグループビングし算出。

※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。一人の患者に複数の傷病名が確認できるため、合計は一致しない。

表96 平成27～31年度 脳卒中・心筋梗塞の疾病別患者数(後期高齢者医療)

疾病分類	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成27～31 年度増減率
脳梗塞	57,466	56,429	55,718	54,290	52,999	-7.8%
脳内出血	7,836	8,236	8,451	8,368	8,416	7.4%
くも膜下出血	1,311	1,299	1,383	1,450	1,420	8.3%
心筋梗塞	13,463	14,022	14,532	14,422	14,464	7.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…期間内に「脳卒中」もしくは「心筋梗塞」に関する診療行為がある患者を対象に集計。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を65歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※「0908その他の脳血管疾患」の分類内訳を「脳梗塞」、「脳内出血」、「くも膜下出血」に振り分けため、中分類疾病別医療費統計の結果と一致しない。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグループビングし算出。

※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。一人の患者に複数の傷病名が確認できるため、合計は一致しない。

表97 平成27～31年度 脳卒中・心筋梗塞の疾病別患者一人当たり医療費(後期高齢者医療)

疾病分類	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成27～31 年度増減率
脳梗塞	166,680	161,123	165,695	165,027	169,744	1.8%
脳内出血	252,132	229,465	231,714	245,237	235,806	-6.5%
くも膜下出血	394,846	368,486	390,083	351,873	340,468	-13.8%
心筋梗塞	82,438	75,999	69,757	75,124	65,569	-20.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…期間内に「脳卒中」もしくは「心筋梗塞」に関する診療行為がある患者を対象に集計。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を65歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※「0908その他の脳血管疾患」の分類内訳を「脳梗塞」、「脳内出血」、「くも膜下出血」に振り分けため、中分類疾病別医療費統計の結果と一致しない。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグループビングし算出。

※患者数…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。一人の患者に複数の傷病名が確認できるため、合計は一致しない。

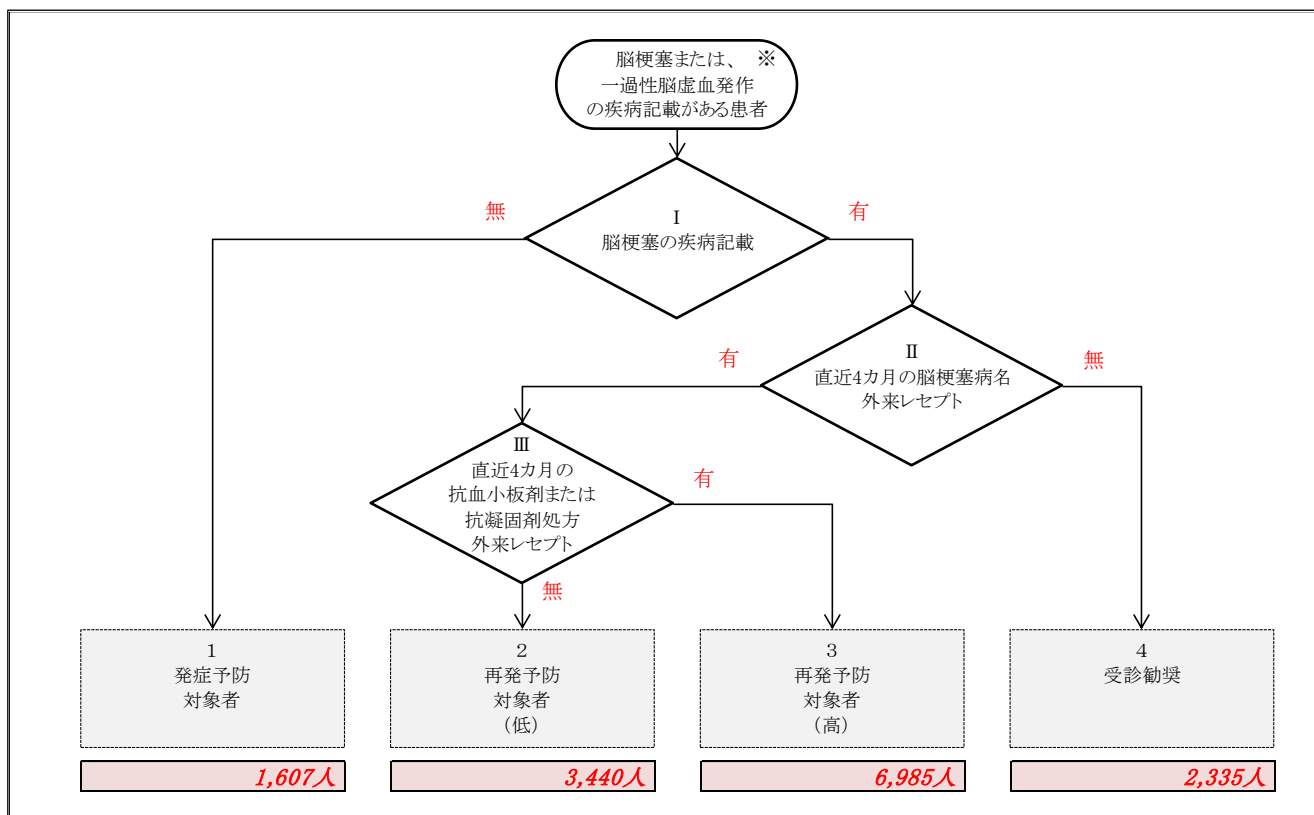
②脳梗塞の発症予防・再発予防対象者集団の特定

本項では、前項の分析結果より、長崎県の国民健康保険及び後期高齢者医療における脳梗塞の発症予防・再発予防対象者集団の特定を行う。

また、これらの疾患は、治療完了後も生活習慣に改善がみられない場合、再発する恐れが高い。再発を防ぐために適切な指導を行う必要がある。ここでは、レセプトデータより、過去に脳梗塞を発症した患者または一過性脳虚血発作を発症した患者に対し、疾病・処方医薬品・通院傾向を把握し、発症と再発を予防するための指導対象者群の抽出を次のように行った。

1. 一過性脳虚血発作を発症した患者は、脳梗塞の発症リスクが高いと考えられるため、発症予防の対象者として分類する。(1.発症予防対象者)
2. 脳梗塞の疾病が確認される患者については、直近4カ月における脳梗塞の外来レセプトの有無を確認する。外来レセプトが有る場合、医療機関への受診は行われているため、再発予防の対象者とする。(2.3.再発予防対象者)その際「抗血小板剤または抗凝固剤」処方の有無により、優先度を設定する。
3. 外来レセプトが無い場合、定期的な受診を促す。(4.受診勧奨)

図63 平成31年度 脳梗塞の発症予防・再発予防対象者集団の特定(国民健康保険)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

年齢範囲…年齢基準日時点の年齢を0歳～999歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…令和2年3月31日時点。

※脳梗塞または、一過性脳虚血発作の疾病記載がある患者…入院中の恐れがあるため、直近4カ月の脳梗塞の入院レセプトがある患者は除く。

一過性脳虚血発作…脳梗塞と同様の症状が一時的に起こって短時間で消失する現象。本格的な脳梗塞を起こす前兆発作といわれている。

抗血小板剤または抗凝固剤…凝固因子の活性化や血小板の働きを抑えることにより血液を固まりにくくする薬。心筋梗塞や脳梗塞の予防を目的として処方されることから、

ここでは高リスク者の判定材料とした。

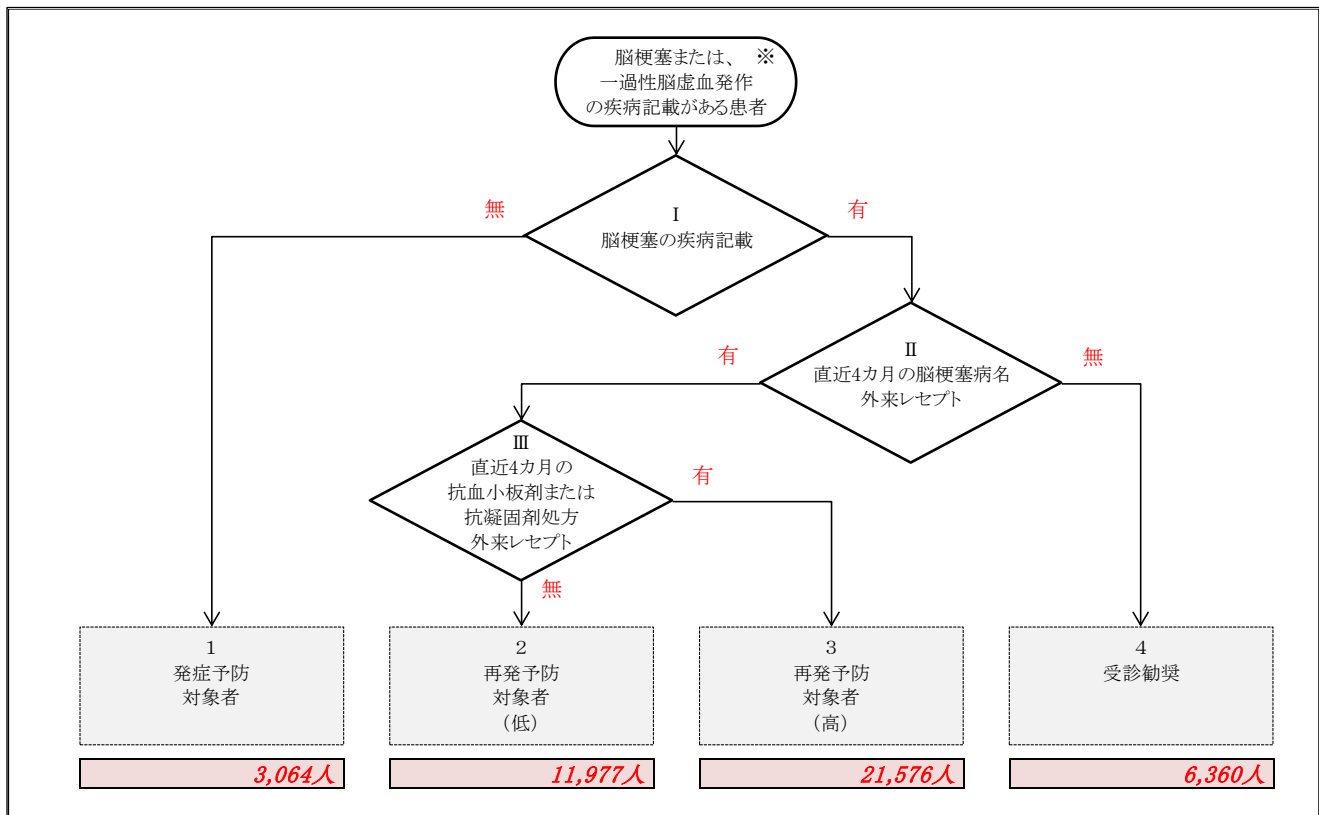
参考：市町別順位

ここでは、長崎県の国民健康保険におけるグループ別の市町別対象者数及び順位を、以下のとおり示す。

表98 平成31年度 市町別脳梗塞の発症予防・再発予防対象者(国民健康保険)

市町	1.発症予防対象者			2.再発予防対象者(低)			3.再発予防対象者(高)			4.受診勧奨			指導候補者数		
	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位
長崎市	657	0.6%	5	1,119	1.0%	8	1,937	1.8%	14	817	0.8%	8	3,056	2.8%	12
佐世保市	175	0.3%	9	549	0.9%	12	1,280	2.1%	9	352	0.6%	10	1,829	3.0%	9
島原市	26	0.2%	18	131	0.9%	11	273	1.9%	12	43	0.3%	20	404	2.8%	14
諫早市	69	0.2%	16	279	0.8%	15	605	1.8%	15	154	0.4%	14	884	2.6%	16
大村市	30	0.1%	20	226	1.1%	7	419	2.0%	11	265	1.2%	2	645	3.0%	7
平戸市	38	0.4%	7	122	1.2%	3	218	2.2%	7	44	0.4%	15	340	3.4%	5
松浦市	20	0.3%	8	54	0.9%	14	130	2.1%	10	29	0.5%	13	184	2.9%	11
対馬市	23	0.2%	13	95	0.9%	10	193	1.9%	13	40	0.4%	18	288	2.8%	13
壱岐市	18	0.2%	14	100	1.2%	4	208	2.5%	2	48	0.6%	11	308	3.7%	2
五島市	116	0.9%	4	117	0.9%	13	280	2.2%	8	33	0.3%	21	397	3.1%	6
西海市	85	1.0%	3	83	1.0%	9	200	2.4%	3	73	0.9%	5	283	3.4%	4
雲仙市	40	0.3%	11	107	0.7%	18	228	1.5%	19	61	0.4%	16	335	2.2%	19
南島原市	34	0.2%	17	126	0.7%	17	306	1.7%	16	69	0.4%	17	432	2.4%	18
長与町	107	1.2%	2	100	1.1%	5	143	1.6%	18	92	1.0%	3	243	2.6%	15
時津町	117	1.6%	1	92	1.2%	2	162	2.2%	6	93	1.3%	1	254	3.4%	3
東彼杵町	4	0.2%	19	18	0.8%	16	34	1.4%	21	21	0.9%	6	52	2.2%	20
川棚町	9	0.3%	12	23	0.6%	19	85	2.4%	5	30	0.8%	7	108	3.0%	8
波佐見町	16	0.5%	6	37	1.1%	6	51	1.5%	20	21	0.6%	9	88	2.6%	17
小値賀町	2	0.2%	15	12	1.3%	1	26	2.7%	1	9	0.9%	4	38	4.0%	1
佐々町	4	0.1%	21	12	0.3%	21	58	1.7%	17	17	0.5%	12	70	2.0%	21
新上五島町	17	0.3%	10	38	0.6%	20	149	2.4%	4	24	0.4%	19	187	3.0%	10
県全体	1,607	0.4%		3,440	0.9%		6,985	1.9%		2,335	0.6%		10,425	2.9%	

図64 平成31年度 脳梗塞の発症予防・再発予防対象者集団の特定(後期高齢者医療)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

年齢範囲…年齢基準日時点の年齢を65歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…令和2年3月31日時点。

※脳梗塞または、一過性脳虚血発作の疾病記載がある患者…入院中の恐れがあるため、直近4カ月の脳梗塞の入院レセプトがある患者は除く。

一過性脳虚血発作…脳梗塞と同様の症状が一時的に起こって短時間で消失する現象。本格的な脳梗塞を起こす前兆発作といわれている。

抗血小板剤または抗凝固剤…凝固因子の活性化や血小板の動きを抑えることにより血液を固まりにくくする薬。心筋梗塞や脳梗塞の予防を目的として処方されることから、ここでは高リスク者の判定材料とした。

参考：市町別順位

長崎県の後期高齢者医療におけるグループ別の市町別対象者数及び順位は、以下のとおり。

表99 平成31年度 市町別脳梗塞の発症予防・再発予防対象者(後期高齢者医療)

市町	1.発症予防対象者			2.再発予防対象者(低)			3.再発予防対象者(高)			4.受診勧奨			指導候補者数		
	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位
長崎市	1,247	1.8%	4	3,780	5.4%	7	6,181	8.8%	13	2,473	3.5%	3	9,961	14.2%	10
佐世保市	398	1.0%	10	2,422	5.8%	3	4,219	10.1%	4	1,089	2.6%	9	6,641	15.9%	4
島原市	81	0.9%	11	507	5.8%	4	906	10.3%	3	139	1.6%	15	1,413	16.1%	2
諫早市	163	0.8%	13	775	3.6%	20	1,809	8.4%	17	468	2.2%	11	2,584	12.1%	19
大村市	86	0.7%	18	644	5.3%	9	1,212	10.0%	6	548	4.5%	2	1,856	15.3%	7
平戸市	72	1.0%	8	466	6.6%	1	615	8.6%	15	102	1.4%	18	1,081	15.2%	8
松浦市	33	0.7%	14	224	4.9%	10	390	8.6%	16	74	1.6%	14	614	13.6%	14
対馬市	49	0.8%	12	324	5.5%	6	519	8.7%	14	60	1.0%	20	843	14.2%	11
壱岐市	41	0.7%	15	257	4.5%	15	619	10.9%	2	82	1.5%	17	876	15.5%	5
五島市	131	1.6%	6	394	4.8%	12	785	9.6%	9	124	1.5%	16	1,179	14.5%	9
西海市	102	1.7%	5	345	5.7%	5	591	9.8%	8	163	2.7%	8	936	15.4%	6
雲仙市	97	1.1%	7	400	4.7%	13	760	9.0%	12	182	2.1%	12	1,160	13.7%	13
南島原市	98	1.0%	9	371	3.6%	19	851	8.3%	18	198	1.9%	13	1,222	11.9%	20
長与町	215	3.9%	1	246	4.5%	16	429	7.8%	20	191	3.5%	4	675	12.3%	18
時津町	147	3.9%	2	240	6.3%	2	374	9.9%	7	188	5.0%	1	614	16.2%	1
東彼杵町	6	0.4%	20	63	3.9%	18	148	9.2%	10	46	2.9%	6	211	13.2%	17
川棚町	18	0.7%	16	115	4.6%	14	283	11.4%	1	60	2.4%	10	398	16.0%	3
波佐見町	46	1.8%	3	124	4.9%	11	232	9.1%	11	76	3.0%	5	356	14.0%	12
小値賀町	5	0.7%	17	28	4.0%	17	53	7.6%	21	10	1.4%	19	81	11.6%	21
佐々町	3	0.2%	21	101	5.4%	8	150	8.0%	19	54	2.9%	7	251	13.3%	16
新上五島町	26	0.6%	19	151	3.4%	21	450	10.1%	5	33	0.7%	21	601	13.4%	15
県全体	3,064	1.3%		11,977	5.1%		21,576	9.2%		6,360	2.7%		33,553	14.4%	

(6)糖尿病性腎症重症化予防に関する分析

①人工透析患者の実態

本項では、レセプトデータを活用し、長崎県の国民健康保険及び後期高齢者医療における人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した結果について、示していく。

表100 平成27～31年度 対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数(国民健康保険)

透析療法の種類	透析患者数(人)				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
血液透析のみ	1,715	1,711	1,613	1,640	1,612
腹膜透析のみ	38	42	40	36	41
血液透析及び腹膜透析	31	26	18	24	23
透析患者合計	1,784	1,779	1,671	1,700	1,676

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

表101 平成27～31年度 対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数(後期高齢者医療)

透析療法の種類	透析患者数(人)				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
血液透析のみ	1,590	1,685	1,733	1,752	1,766
腹膜透析のみ	39	37	32	36	38
血液透析及び腹膜透析	15	14	17	8	20
透析患者合計	1,644	1,736	1,782	1,796	1,824

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

続いて、レセプトデータを活用し、長崎県の国民健康保険及び後期高齢者医療における人工透析に至った起因を、レセプトに記載されている傷病名から判定した。但し、レセプトに「腎不全」や「慢性腎不全」のみの記載しかない場合は、起因が特定できない患者となる。

表102 平成27～31年度 透析患者の起因(国民健康保険)

透析に至った起因		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
		透析患者数 (人)	割合(%)	透析患者数 (人)	割合(%)	透析患者数 (人)	割合(%)	透析患者数 (人)	割合(%)	透析患者数 (人)	割合(%)
①	糖尿病性腎症 1型糖尿病	20	1.1%	15	0.8%	15	0.9%	11	0.6%	14	0.8%
②	糖尿病性腎症 2型糖尿病	976	54.7%	968	54.4%	944	56.5%	988	58.1%	985	58.8%
③	糸球体腎炎 IgA腎症	7	0.4%	9	0.5%	10	0.6%	7	0.4%	4	0.2%
④	糸球体腎炎 その他	90	5.0%	91	5.1%	74	4.4%	68	4.0%	79	4.7%
⑤	腎硬化症 本態性高血圧	55	3.1%	73	4.1%	64	3.8%	68	4.0%	67	4.0%
⑥	腎硬化症 その他	2	0.1%	2	0.1%	2	0.1%	1	0.1%	0	0.0%
⑦	痛風腎	1	0.1%	1	0.1%	1	0.1%	1	0.1%	0	0.0%
⑧	不明 ※	633	35.5%	620	34.9%	561	33.6%	556	32.7%	527	31.4%
透析患者合計		1,784		1,779		1,671		1,700		1,676	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

※⑧起因が特定できない患者…①～⑦の傷病名組み合わせに該当しない患者。

⑧起因が特定できない患者527人のうち高血圧症が確認できる患者は484人、高血圧性心疾患が確認できる患者は33人、痛風が確認できる患者は36人。

高血圧症、高血圧性心疾患、痛風のいずれも確認できない患者は38人。複数の疾病を持つ患者がいるため、合計人数は一致しない。

表103 平成27～31年度 透析患者の起因(後期高齢者医療)

透析に至った起因		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
		透析患者数 (人)	割合(%)	透析患者数 (人)	割合(%)	透析患者数 (人)	割合(%)	透析患者数 (人)	割合(%)	透析患者数 (人)	割合(%)
①	糖尿病性腎症 1型糖尿病	2	0.1%	5	0.3%	8	0.4%	2	0.1%	8	0.4%
②	糖尿病性腎症 2型糖尿病	898	54.6%	969	55.8%	1,019	57.2%	1,062	59.1%	1,075	58.9%
③	糸球体腎炎 IgA腎症	8	0.5%	5	0.3%	7	0.4%	6	0.3%	3	0.2%
④	糸球体腎炎 その他	76	4.6%	81	4.7%	66	3.7%	81	4.5%	83	4.6%
⑤	腎硬化症 本態性高血圧	95	5.8%	94	5.4%	101	5.7%	87	4.8%	82	4.5%
⑥	腎硬化症 その他	5	0.3%	6	0.3%	4	0.2%	1	0.1%	0	0.0%
⑦	痛風腎	1	0.1%	1	0.1%	1	0.1%	1	0.1%	0	0.0%
⑧	不明 ※	559	34.0%	575	33.1%	576	32.3%	556	31.0%	573	31.4%
透析患者合計		1,644		1,736		1,782		1,796		1,824	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

※⑧起因が特定できない患者…①～⑦の傷病名組み合わせに該当しない患者。

⑧起因が特定できない患者573人のうち高血圧症が確認できる患者は522人、高血圧性心疾患が確認できる患者は37人、痛風が確認できる患者は28人。

高血圧症、高血圧性心疾患、痛風のいずれも確認できない患者は47人。複数の疾病を持つ患者がいるため、合計人数は一致しない。

次に、レセプトデータを活用し、長崎県の国民健康保険及び後期高齢者医療における人工透析患者を対象に、以下のとおり、新規透析患者数と医療費を分析した。

表104 平成27～31年度 起因別新規透析患者数(国民健康保険)

透析に至った起因		新規透析患者(人)				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①	糖尿病性腎症 1型糖尿病	-	2	2	1	2
②	糖尿病性腎症 2型糖尿病	-	163	157	184	162
③	糸球体腎炎 IgA腎症	-	5	4	2	1
④	糸球体腎炎 その他	-	17	16	15	26
⑤	腎硬化症 本態性高血圧	-	15	12	7	9
⑥	腎硬化症 その他	-	1	0	0	0
⑦	痛風腎	-	0	0	0	0
⑧	不明 ※	-	41	38	60	46
透析患者合計		-	244	229	269	246

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※1 新規透析患者の定義…前年度の期間に透析患者ではなく、当年度の期間に透析患者となった患者。

※2 前年度の期間と当年度の期間で起因となる傷病名が違う場合、該当の欄に集計される。そのため、他の集計での前年度から当年度との差は一致しない場合がある。

※⑧起因が特定できない患者…①～⑦の傷病名組み合わせに該当しない患者。

表105 平成27～31年度 起因別新規透析患者数(後期高齢者医療)

透析に至った起因		新規透析患者(人)				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①	糖尿病性腎症 1型糖尿病	-	2	2	1	1
	(再掲)65歳～74歳	-	1	0	0	0
②	糖尿病性腎症 2型糖尿病	-	251	233	230	230
	(再掲)65歳～74歳	-	56	36	31	20
③	糸球体腎炎 IgA腎症	-	3	2	2	2
	(再掲)65歳～74歳	-	0	0	0	1
④	糸球体腎炎 その他	-	38	25	33	27
	(再掲)65歳～74歳	-	3	4	3	0
⑤	腎硬化症 本態性高血圧	-	19	21	17	23
	(再掲)65歳～74歳	-	0	0	0	0
⑥	腎硬化症 その他	-	0	0	0	0
	(再掲)65歳～74歳	-	0	0	0	0
⑦	痛風腎	-	0	0	0	0
	(再掲)65歳～74歳	-	0	0	0	0
⑧	不明	-	102	72	63	65
	(再掲)65歳～74歳	-	41	18	9	7
透析患者合計		-	415	355	346	348
(再掲)65歳～74歳		-	101	58	43	28

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※1 新規透析患者の定義…前年度の期間に透析患者ではなく、当年度の期間に透析患者となった患者。

※2 前年度の期間と当年度の期間で起因となる傷病名が違う場合、該当の欄に集計される。そのため、他の集計での前年度から当年度との差は一致しない場合がある。

※⑧起因が特定できない患者…①～⑦の傷病名組み合わせに該当しない患者。

表106 平成31年度 透析患者の起因(国民健康保険)

透析患者の起因	透析患者数 (人)	割合 (%)	医療費(円)			医療費(円) 【一人当たり】			医療費(円) 【一人当たりひと月当たり】		
			透析関連	透析関連 以外	合計	透析関連	透析関連 以外	合計	透析関連	透析関連 以外	合計
① 糖尿病性腎症 1型糖尿病	14	0.6%	75,851,690	1,903,630	77,755,320	35,252,856	736,417	35,989,273	2,937,738	61,368	2,999,106
② 糖尿病性腎症 2型糖尿病	985	60.2%	5,626,909,430	324,165,400	5,951,074,830	116,342,312	6,991,384	123,333,696	9,695,193	582,615	10,277,808
③ 糸球体腎炎 IgA腎症	4	0.2%	13,963,420	4,900,330	18,863,750	13,963,420	4,900,330	18,863,750	1,163,618	408,361	1,571,979
④ 糸球体腎炎 その他	79	5.7%	378,635,500	32,472,230	411,107,730	85,013,283	6,393,438	91,406,721	7,084,440	532,786	7,617,227
⑤ 腎硬化症 本態性高血圧	67	4.8%	330,054,590	20,673,130	350,727,720	71,584,455	4,147,350	75,731,805	5,965,371	345,613	6,310,984
⑥ 腎硬化症 その他	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦ 痛風腎	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧ 不明 ※	527	28.5%	2,780,871,090	107,534,910	2,888,406,000	107,762,171	2,988,617	110,750,787	8,980,181	249,051	9,229,232
透析患者全体	1,676		9,206,285,720	491,649,630	9,697,935,350						
患者一人当たり 医療費平均			5,493,011	293,347	5,786,358						
患者一人当たりひと月当たり 医療費平均			457,751	24,446	482,196						

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。
 現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。
 ※⑧起因が特定できない患者…①～⑦の傷病名組み合わせに該当しない患者。

表107 平成31年度 透析患者の起因(後期高齢者医療)

透析患者の起因	透析患者数 (人)	割合 (%)	医療費(円)			医療費(円) 【一人当たり】			医療費(円) 【一人当たりひと月当たり】		
			透析関連	透析関連 以外	合計	透析関連	透析関連 以外	合計	透析関連	透析関連 以外	合計
① 糖尿病性腎症 1型糖尿病	8	0.6%	53,655,310	829,930	54,485,240	41,598,170	517,683	42,115,853	3,466,514	43,140	3,509,654
② 糖尿病性腎症 2型糖尿病	1,075	60.2%	5,985,920,030	344,762,850	6,330,682,880	117,020,966	7,383,931	124,404,896	9,751,747	615,328	10,367,075
③ 糸球体腎炎 IgA腎症	3	0.2%	11,816,810	654,890	12,471,700	7,597,720	580,090	8,177,810	633,143	48,341	681,484
④ 糸球体腎炎 その他	83	5.7%	450,533,950	36,580,450	487,114,400	82,432,720	6,242,403	88,675,124	6,869,393	520,200	7,389,594
⑤ 腎硬化症 本態性高血圧	82	4.8%	439,048,130	17,816,730	456,864,860	80,592,650	3,586,259	84,178,909	6,716,054	298,855	7,014,909
⑥ 腎硬化症 その他	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦ 痛風腎	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧ 不明 ※	573	28.5%	3,060,093,100	112,638,600	3,172,731,700	111,329,576	4,533,000	115,862,576	9,277,465	377,750	9,655,215
透析患者全体	1,824		10,001,067,330	513,283,450	10,514,350,780						
患者一人当たり 医療費平均			5,483,041	281,405	5,764,447						
患者一人当たりひと月当たり 医療費平均			456,920	23,450	480,371						

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。
 現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。
 ※⑧起因が特定できない患者…①～⑦の傷病名組み合わせに該当しない患者。

②糖尿病性腎症重症化予防におけた指導対象者集団の特定

本項では、レセプト及び健診データを活用し、長崎県の国民健康保険及び後期高齢者医療における糖尿病性腎症重症化予防におけた指導対象者集団を行った。「腎症の起因分析」「2型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定した結果について、示していく。

図65 保健指導対象者特定の全体像

病期	臨床的特徴	治療内容
V 透析療法期	透析療法中。	透析療法、腎移植。
IV 腎不全期	蛋白尿。血清Crが上昇し、腎機能は著明低下する。尿毒症等の自覚症状あり。	食事療法(低蛋白食)、透析療法導入、厳格な降圧治療。
III 顕性腎症期	蛋白尿。腎機能は高度に低下。尿毒症等の自覚症状あり。	厳格な血糖コントロール、食事療法(低蛋白食)、厳格な降圧治療。
II 早期腎症期	微量アルブミン尿、血清Crが正常、時に高値。 ※尿蛋白、血清Cr共に正常だが糖尿病と診断されて10年以上の場合を含む。	血糖コントロール、降圧治療。
I 腎症前期	尿蛋白は正常。血清Crが正常、時に高値。	血糖コントロール。

図66 保健指導対象者特定の全体像

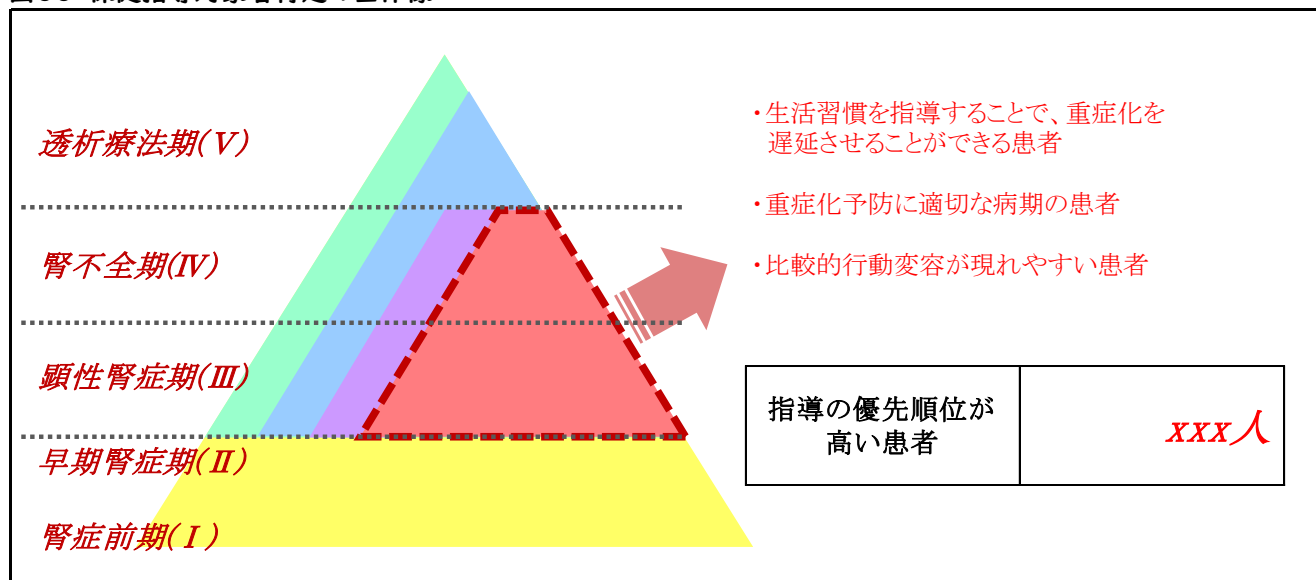


表108 平成27～31年度 保健指導対象者(国民健康保険)

グループ名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
Ⅲ期以降腎症患者	13,073	13,275	13,717	14,325	14,765
糖尿病起因以外の腎臓病患者	5,096	5,128	5,285	5,531	5,694
指導対象として適正でない患者 (1型糖尿病や透析患者等)	4,155	4,082	4,135	4,290	4,429
複雑なケースが含まれる集団	1,384	1,440	1,511	1,629	1,700
指導の優先順位が高い患者	2,438	2,625	2,786	2,875	2,942

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健診データは平成27年4月～令和2年3月健診分(60カ月分)。
 ※がん、難病、精神疾患、認知症、シャント、透析予防指導管理料等を確認できる患者

参考:市町別順位

長崎県の国民健康保険におけるグループ別の市町別対象者数及び順位は、以下のとおり。

表109 平成31年度 市町別保健指導対象者(国民健康保険)

市町	Ⅲ期以降腎症患者			糖尿病起因以外の腎臓病患者			指導対象として適正でない患者(1型糖尿病や透析患者等)			複雑なケースが含まれる集団			指導の優先順位が高い患者		
	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位
長崎市	4,273	4.0%	10	1,752	1.6%	7	1,395	1.3%	9	444	0.4%	14	682	0.6%	18
佐世保市	2,316	3.8%	12	906	1.5%	11	683	1.1%	11	262	0.4%	12	465	0.8%	11
島原市	697	4.8%	5	294	2.0%	3	162	1.1%	12	73	0.5%	10	168	1.2%	5
諫早市	1,159	3.4%	16	431	1.3%	14	355	1.0%	17	139	0.4%	16	234	0.7%	16
大村市	847	4.0%	9	266	1.3%	15	299	1.4%	7	120	0.6%	7	162	0.8%	12
平戸市	587	5.9%	3	223	2.2%	2	167	1.7%	2	60	0.6%	6	137	1.4%	4
松浦市	212	3.4%	17	57	0.9%	20	60	1.0%	19	33	0.5%	9	62	1.0%	6
対馬市	592	5.8%	4	202	2.0%	4	163	1.6%	3	68	0.7%	4	159	1.5%	2
壱岐市	549	6.6%	1	240	2.9%	1	122	1.5%	4	60	0.7%	2	127	1.5%	3
五島市	561	4.3%	6	195	1.5%	9	160	1.2%	10	90	0.7%	3	116	0.9%	8
西海市	326	3.9%	11	124	1.5%	10	91	1.1%	14	34	0.4%	15	77	0.9%	7
雲仙市	538	3.5%	14	215	1.4%	12	159	1.0%	16	50	0.3%	19	114	0.7%	13
南島原市	621	3.5%	13	282	1.6%	8	127	0.7%	21	75	0.4%	13	137	0.8%	9
長与町	388	4.2%	7	155	1.7%	6	126	1.4%	8	36	0.4%	17	71	0.8%	10
時津町	258	3.5%	15	92	1.2%	16	82	1.1%	13	34	0.5%	11	50	0.7%	17
東彼杵町	74	3.1%	19	22	0.9%	19	34	1.4%	6	5	0.2%	21	13	0.5%	20
川棚町	146	4.1%	8	48	1.3%	13	51	1.4%	5	22	0.6%	5	25	0.7%	15
波佐見町	95	2.8%	20	35	1.0%	18	35	1.0%	18	12	0.3%	18	13	0.4%	21
小値賀町	25	2.6%	21	7	0.7%	21	8	0.8%	20	3	0.3%	20	7	0.7%	14
佐々町	115	3.3%	18	39	1.1%	17	36	1.0%	15	19	0.6%	8	21	0.6%	19
新上五島町	386	6.2%	2	109	1.7%	5	114	1.8%	1	61	1.0%	1	102	1.6%	1
県全体	14,765	4.1%		5,694	1.6%		4,429	1.2%		1,700	0.5%		2,942	0.8%	

表110 平成27～31年度 保健指導対象者(後期高齢者医療)

グループ名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
Ⅲ期以降腎症患者	27,210	28,561	29,268	30,194	30,943
糖尿病起因以外の腎臓病患者	13,211	13,812	14,153	14,480	14,816
指導対象として適正でない患者 (1型糖尿病や透析患者等)	8,768	9,284	9,515	9,888	10,099
複雑なケースが含まれる集団	2,674	2,763	2,931	3,150	3,254
指導の優先順位が高い患者	2,557	2,702	2,669	2,676	2,774

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健診データは平成27年4月～令和2年3月健診分(60カ月分)。

※がん、難病、精神疾患、認知症、シャント、透析予防指導管理料等を確認できる患者

参考:市町別順位

長崎県の後期高齢者医療におけるグループ別の市町別対象者数及び順位は、以下のとおり。

表111 平成31年度 市町別保健指導対象者(後期高齢者医療)

市町	Ⅲ期以降腎症患者			糖尿病起因以外の腎臓病患者			指導対象として適正でない患者(1型糖尿病や透析患者等)			複雑なケースが含まれる集団			指導の優先順位が高い患者		
	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位	対象者数(人)	割合	順位
長崎市	9,466	13.5%	7	4,876	7.0%	6	3,114	4.4%	8	918	1.3%	15	558	0.8%	20
佐世保市	5,206	12.4%	14	2,275	5.4%	13	1,831	4.4%	9	562	1.3%	13	538	1.3%	12
島原市	1,340	15.3%	5	658	7.5%	5	350	4.0%	12	150	1.7%	3	182	2.1%	1
諫早市	2,385	11.1%	17	1,130	5.3%	14	777	3.6%	14	271	1.3%	16	207	1.0%	19
大村市	1,435	11.8%	15	574	4.7%	18	549	4.5%	7	188	1.5%	7	124	1.0%	17
平戸市	1,214	17.1%	3	548	7.7%	4	433	6.1%	2	102	1.4%	10	131	1.8%	3
松浦市	436	9.6%	19	205	4.5%	19	144	3.2%	19	42	0.9%	19	45	1.0%	18
対馬市	1,139	19.2%	2	464	7.8%	3	455	7.7%	1	105	1.8%	2	115	1.9%	2
壱岐市	1,090	19.3%	1	659	11.7%	1	263	4.7%	6	84	1.5%	9	84	1.5%	8
五島市	1,075	13.2%	9	508	6.2%	11	332	4.1%	11	133	1.6%	5	102	1.3%	14
西海市	658	10.9%	18	287	4.7%	17	221	3.6%	13	71	1.2%	17	79	1.3%	11
雲仙市	1,079	12.7%	11	572	6.7%	7	288	3.4%	17	112	1.3%	14	107	1.3%	13
南島原市	1,377	13.4%	8	684	6.7%	9	336	3.3%	18	173	1.7%	4	184	1.8%	4
長与町	826	15.0%	6	434	7.9%	2	240	4.4%	10	84	1.5%	8	68	1.2%	15
時津町	481	12.7%	10	236	6.2%	10	131	3.5%	16	60	1.6%	6	54	1.4%	9
東彼杵町	145	9.0%	20	40	2.5%	20	58	3.6%	15	22	1.4%	12	25	1.6%	7
川棚町	313	12.6%	13	119	4.8%	16	116	4.7%	5	35	1.4%	11	43	1.7%	5
波佐見町	294	11.6%	16	171	6.7%	8	75	2.9%	20	21	0.8%	20	27	1.1%	16
小値賀町	41	5.9%	21	16	2.3%	21	20	2.9%	21	4	0.6%	21	1	0.1%	21
佐々町	238	12.6%	12	92	4.9%	15	100	5.3%	4	21	1.1%	18	25	1.3%	10
新上五島町	705	15.8%	4	268	6.0%	12	266	5.9%	3	96	2.1%	1	75	1.7%	6
県全体	30,943	13.3%		14,816	6.3%		10,099	4.3%		3,254	1.4%		2,774	1.2%	

(7)ロコモティブシンドロームに関する分析

①ロコモティブシンドローム関連の現状

ロコモティブシンドロームは日本整形外科学会が平成19年に提唱した概念で、筋肉・骨・関節・軟骨・椎間板といった運動器の障害により、歩行や日常生活に何らかの障害をきたしている状態、または、そうなるリスクが高い状態をいう。和名は「運動器症候群」である。自立度が低下し、要介護状態となる危険性が高い。増え続ける要介護人口の歯止めとして、ロコモティブシンドローム対策の必要性は極めて高い。本項では、レセプトデータを活用し、長崎県の国民健康保険及び後期高齢者医療におけるロコモティブシンドローム関連の疾患の分析結果について、示していく。

表112 原因疾患別医療費状況(国民健康保険)

疾患名	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	医療費(円) ※	割合 (%)	医療費(円) ※	割合 (%)	医療費(円) ※	割合 (%)	医療費(円) ※	割合 (%)	医療費(円) ※	割合 (%)
対象疾患	6,685,287,889		6,384,213,221		6,434,427,193		6,034,019,077		6,170,498,459	
変形性膝関節症	1,371,515,462	20.5%	1,311,761,298	20.5%	1,280,830,755	19.9%	1,152,100,296	19.1%	1,210,073,262	19.6%
変形性股関節症	364,420,795	5.5%	341,170,949	5.3%	385,550,817	6.0%	303,502,516	5.0%	371,605,115	6.0%
変形性脊椎症	1,931,669,449	28.9%	1,785,726,205	28.0%	1,744,934,538	27.1%	1,636,999,334	27.1%	1,624,748,564	26.3%
骨粗鬆症	1,773,838,131	26.5%	1,672,374,610	26.2%	1,700,243,476	26.4%	1,607,756,127	26.6%	1,655,454,597	26.8%
大腿骨頸部骨折	465,945,578	7.0%	482,009,315	7.6%	481,295,728	7.5%	523,939,110	8.7%	506,704,877	8.2%
橈骨遠位端骨折	270,345,917	4.0%	244,654,785	3.8%	282,090,739	4.4%	278,648,615	4.6%	275,298,161	4.5%
上腕骨近位端骨折	87,609,260	1.3%	78,546,472	1.2%	95,698,198	1.5%	98,394,529	1.6%	96,234,404	1.6%
脊椎圧迫骨折	357,227,689	5.3%	399,071,784	6.3%	390,878,769	6.1%	369,298,587	6.1%	369,045,972	6.0%
肋骨骨折	61,707,729	0.9%	66,743,664	1.0%	69,954,504	1.1%	60,690,246	1.0%	57,176,157	0.9%
脆弱性骨折	822,457	0.0%	2,047,218	0.0%	2,691,328	0.0%	2,548,082	0.0%	2,406,450	0.0%
サルコペニア	185,422	0.0%	106,921	0.0%	258,341	0.0%	141,635	0.0%	1,750,900	0.0%
対象疾患以外	120,836,765,241		115,860,594,289		115,201,161,987		113,245,808,933		112,506,864,661	
合計	127,522,053,130		122,244,807,510		121,635,589,180		119,279,828,010		118,677,363,120	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

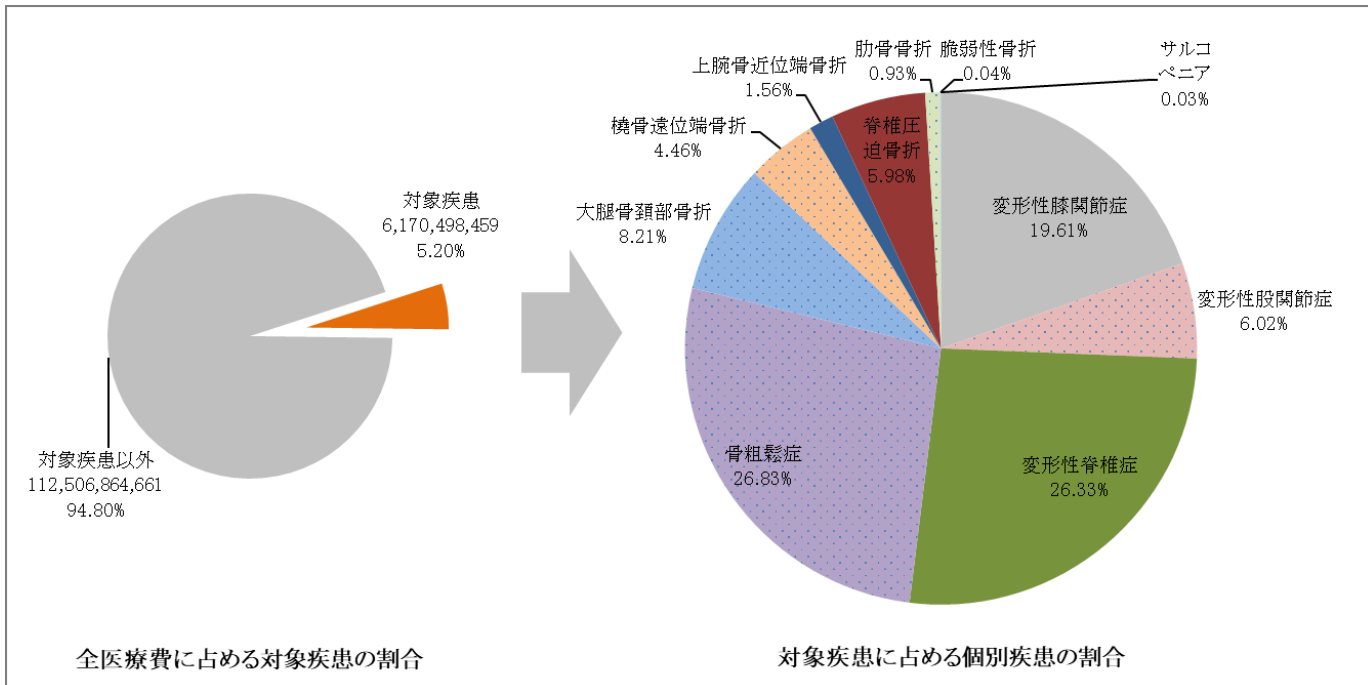
年齢範囲…各年度末時点の年齢を40歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

図67 平成31年度 原因疾患別医療費状況(国民健康保険)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

年齢範囲…年齢基準日時点の年齢を40歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…令和2年3月31日時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

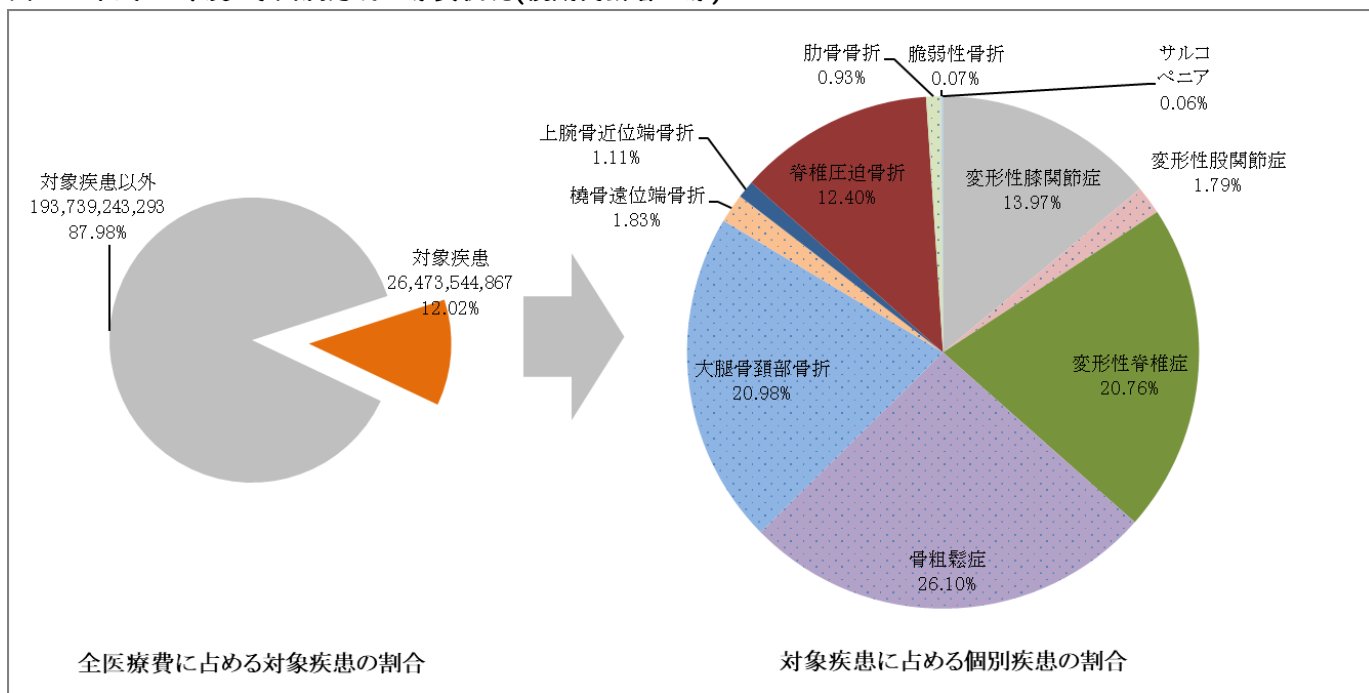
表113 原因疾患別医療費状況(後期高齢者医療)

疾患名	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	医療費(円) ※	割合 (%)	医療費(円) ※	割合 (%)	医療費(円) ※	割合 (%)	医療費(円) ※	割合 (%)	医療費(円) ※	割合 (%)
対象疾患	25,443,498,372		25,366,887,171		26,481,283,489		26,234,449,389		26,473,544,867	
変形性膝関節症	3,908,436,939	15.4%	3,869,051,160	15.3%	3,886,847,711	14.7%	3,680,446,715	14.0%	3,699,674,986	14.0%
変形性股関節症	435,808,155	1.7%	383,546,547	1.5%	425,730,860	1.6%	388,787,566	1.5%	473,331,197	1.8%
変形性脊椎症	5,654,722,555	22.2%	5,525,844,567	21.8%	5,762,210,872	21.8%	5,646,512,778	21.5%	5,496,159,757	20.8%
骨粗鬆症	6,813,982,899	26.8%	6,707,230,459	26.4%	6,865,717,709	25.9%	6,750,036,722	25.7%	6,909,159,246	26.1%
大腿骨頸部骨折	5,097,085,483	20.0%	5,109,196,111	20.1%	5,462,210,629	20.6%	5,523,463,509	21.1%	5,554,422,561	21.0%
橈骨遠位端骨折	377,333,877	1.5%	401,200,487	1.6%	453,023,841	1.7%	458,373,512	1.7%	483,978,611	1.8%
上腕骨近位端骨折	271,926,204	1.1%	270,168,015	1.1%	291,885,594	1.1%	279,222,122	1.1%	293,632,393	1.1%
脊椎圧迫骨折	2,698,288,154	10.6%	2,873,261,481	11.3%	3,076,107,316	11.6%	3,242,025,485	12.4%	3,282,209,504	12.4%
肋骨骨折	172,808,966	0.7%	208,323,315	0.8%	238,224,638	0.9%	239,203,732	0.9%	246,832,846	0.9%
脆弱性骨折	7,905,974	0.0%	11,264,535	0.0%	16,187,514	0.1%	17,666,413	0.1%	19,034,224	0.1%
サルコペニア	5,199,166	0.0%	7,800,494	0.0%	3,136,805	0.0%	8,710,835	0.0%	15,109,542	0.1%
対象疾患以外	183,923,841,318		183,674,531,699		188,541,607,721		189,541,126,981		193,739,243,293	
合計	209,367,339,690		209,041,418,870		215,022,891,210		215,775,576,370		220,212,788,160	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。
 年齢範囲…各年度末時点の年齢を65歳～99歳の範囲で分析対象としている。
 年齢基準日…各年度末時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。
 株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

図68 平成31年度 原因疾患別医療費状況(後期高齢者医療)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
 年齢範囲…年齢基準日時点の年齢を65歳～99歳の範囲で分析対象としている。
 年齢基準日…令和2年3月31日時点。
 ※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。
 株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

表114 年齢階層別医療費状況(国民健康保険)

		合計	40歳～ 44歳	45歳～ 49歳	50歳～ 54歳	55歳～ 59歳	60歳～ 64歳	65歳～ 69歳	70歳～
男女合計	被保険者数(人) ※	273,613	15,949	18,114	18,551	22,423	37,820	71,473	89,283
	医療費(円) ※	6,170,498,459	38,463,586	70,762,079	117,216,646	240,216,822	623,053,292	1,643,222,998	3,437,563,036
	患者数(人) ※	72,633	849	1,367	2,103	3,541	8,376	20,430	35,967
	患者一人当たりの医療費(円)	84,954	45,305	51,765	55,738	67,839	74,386	80,432	95,575
	有病率(%)	26.5%	5.3%	7.5%	11.3%	15.8%	22.1%	28.6%	40.3%
男性	被保険者数(人) ※	128,255	8,579	9,619	9,493	11,117	17,159	33,465	38,823
	医療費(円) ※	1,847,247,538	21,908,453	47,886,794	55,528,941	83,977,896	201,855,994	536,363,012	899,726,448
	患者数(人) ※	25,599	462	670	871	1,450	2,945	7,146	12,055
	患者一人当たりの医療費(円)	72,161	47,421	71,473	63,753	57,916	68,542	75,058	74,635
	有病率(%)	20.0%	5.4%	7.0%	9.2%	13.0%	17.2%	21.4%	31.1%
女性	被保険者数(人) ※	145,358	7,370	8,495	9,058	11,306	20,661	38,008	50,460
	医療費(円) ※	4,323,250,921	16,555,133	22,875,285	61,687,705	156,238,926	421,197,298	1,106,859,986	2,537,836,588
	患者数(人) ※	47,034	387	697	1,232	2,091	5,431	13,284	23,912
	患者一人当たりの医療費(円)	91,918	42,778	32,820	50,071	74,720	77,554	83,323	106,132
	有病率(%)	32.4%	5.3%	8.2%	13.6%	18.5%	26.3%	35.0%	47.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

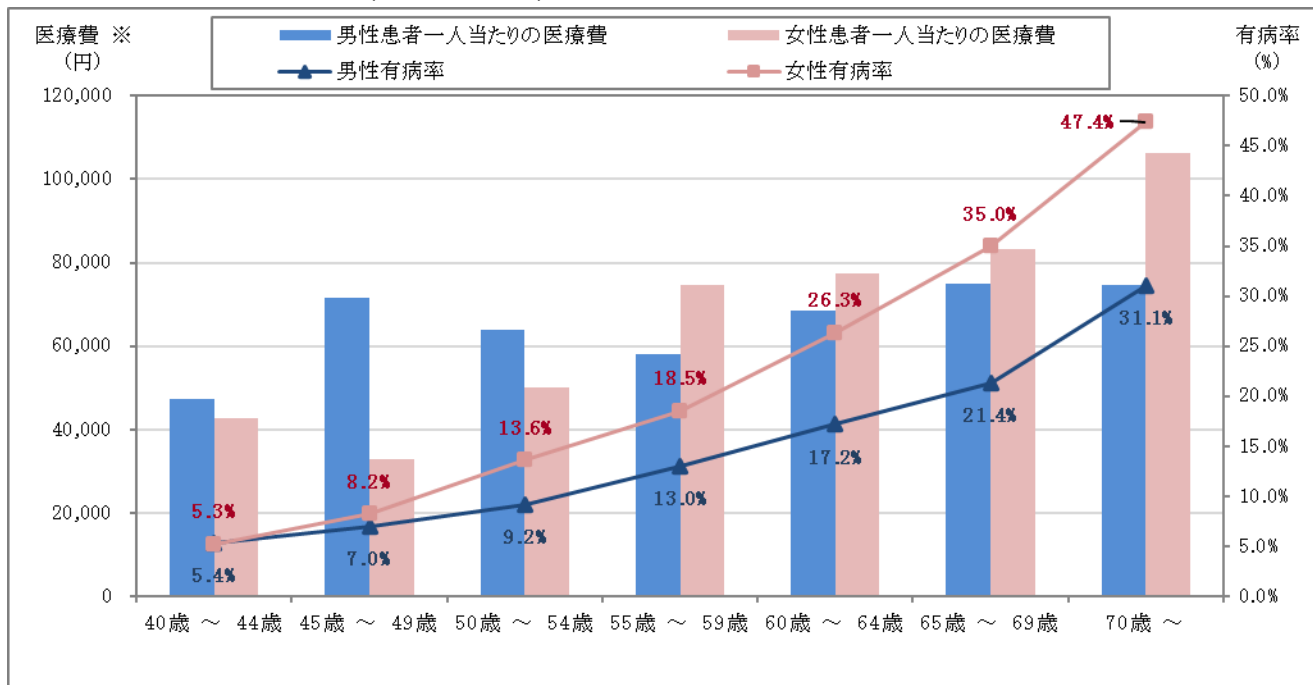
年齢範囲…各年度末時点の年齢を40歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

図69 年齢階層別医療費状況(国民健康保険)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

年齢範囲…年齢基準日時点の年齢を40歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…令和2年3月31日時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

表115 年齢階層別医療費状況(後期高齢者医療)

		合計	65歳～ 69歳	70歳～ 74歳	75歳～ 79歳	80歳～ 84歳	85歳～ 89歳	90歳～ 94歳	95歳～
男女合計	被保険者数(人) ※	233,400	601	957	75,703	65,510	50,878	28,460	11,291
	医療費(円) ※	26,473,544,867	29,004,417	51,979,539	4,925,232,315	6,738,126,322	7,469,792,022	5,162,070,926	2,097,339,326
	患者数(人) ※	144,492	230	450	40,418	41,442	34,835	19,870	7,247
	患者一人当たりの医療費(円)	183,218	126,106	115,510	121,857	162,592	214,434	259,792	289,408
	有病率(%)	61.9%	38.3%	47.0%	53.4%	63.3%	68.5%	69.8%	64.2%
男性	被保険者数(人) ※	86,397	384	561	32,186	26,213	17,618	7,577	1,858
	医療費(円) ※	5,491,769,131	14,424,675	19,416,333	1,233,666,390	1,540,199,027	1,551,513,756	911,191,962	221,356,988
	患者数(人) ※	41,722	122	221	13,034	13,031	9,837	4,426	1,051
	患者一人当たりの医療費(円)	131,628	118,235	87,857	94,650	118,195	157,722	205,873	210,616
	有病率(%)	48.3%	31.8%	39.4%	40.5%	49.7%	55.8%	58.4%	56.6%
女性	被保険者数(人) ※	147,003	217	396	43,517	39,297	33,260	20,883	9,433
	医療費(円) ※	20,981,775,736	14,579,742	32,563,206	3,691,565,925	5,197,927,295	5,918,278,266	4,250,878,964	1,875,982,338
	患者数(人) ※	102,770	108	229	27,384	28,411	24,998	15,444	6,196
	患者一人当たりの医療費(円)	204,162	134,998	142,197	134,807	182,955	236,750	275,245	302,773
	有病率(%)	69.9%	49.8%	57.8%	62.9%	72.3%	75.2%	74.0%	65.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

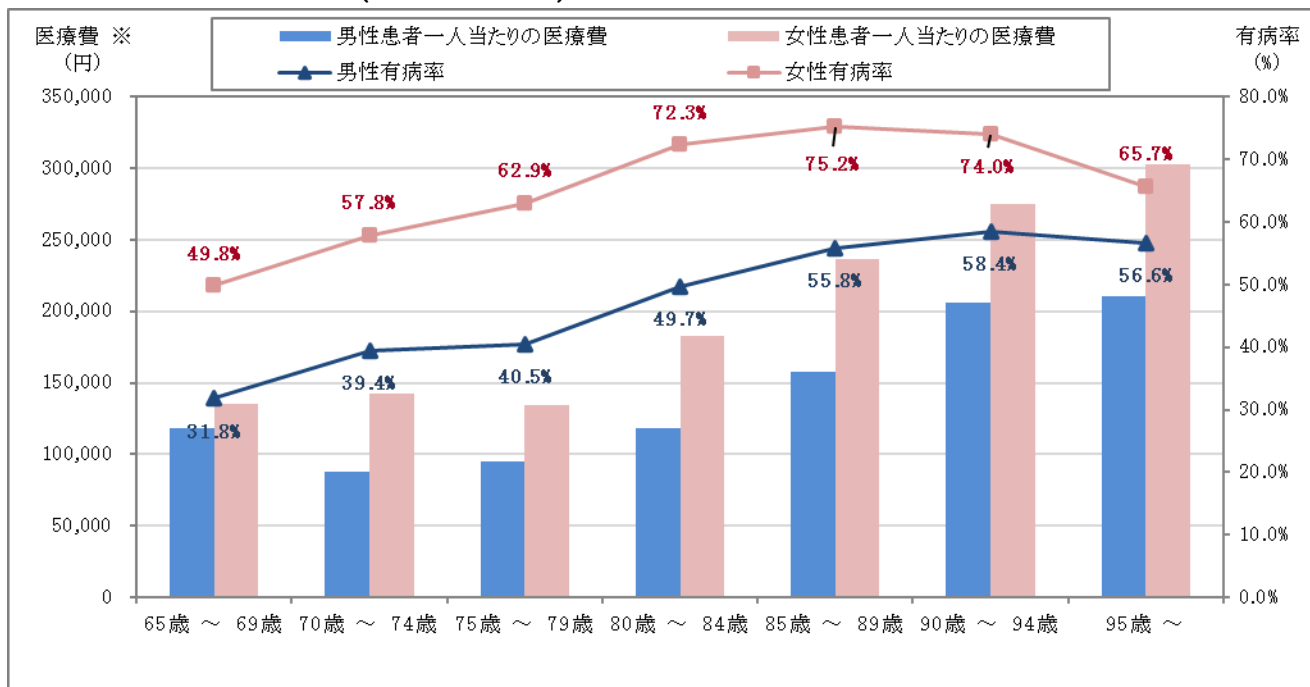
年齢範囲…各年度末時点の年齢を65歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

図70 年齢階層別医療費状況(後期高齢者医療)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

年齢範囲…年齢基準日時点の年齢を65歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…令和2年3月31日時点。

※医療費…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

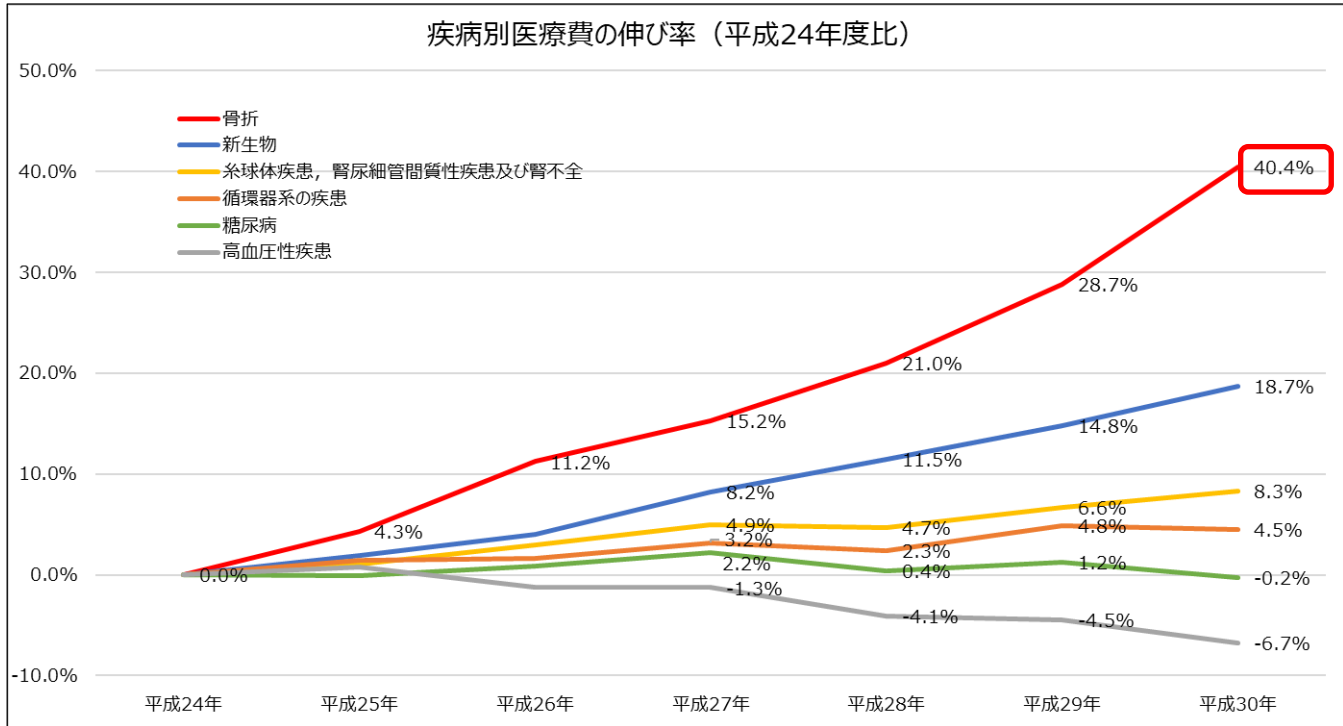
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

(8)骨折予防(骨粗鬆症重症化予防)に関する分析

①骨折の医療費及び骨粗鬆症について

本項では、レセプトデータを活用し、長崎県の国民健康保険及び後期高齢者医療における骨折予防を目的とした骨粗鬆症治療中断者に関し、骨折や骨粗鬆症の背景や広島県呉市の事例紹介等とともに、分析した結果について、示していく。

疾病別医療費の伸び率(平成24年度比)



出典:e-Stat 国民医療費/平成27年度国民医療費 統計表 全年齢医療費より集計

骨折の要因となる疾病:骨粗鬆症は骨がもろくなり骨折しやすくなる病気

骨量(骨密度)が減少してスカスカになり、骨折しやすくなる

健康な骨

骨粗鬆症の骨

出典:「骨粗しょう症」ホームページいいまね.jp

主に加齢や閉経により、骨吸収が骨形成を上回ることによって発症

女性の骨量は閉経後に急激に減少しやすい

出典:鈴木隆雄, 骨量の自然史と骨粗鬆症, 骨折の予防戦略, 日臨床2004; 62 (増2): 225-32より作成

【自覚症状】

背中や腰が曲がる

身長が縮む

背中や腰が痛む

※腰痛や身長低下などの自覚症状が全くないことも多い

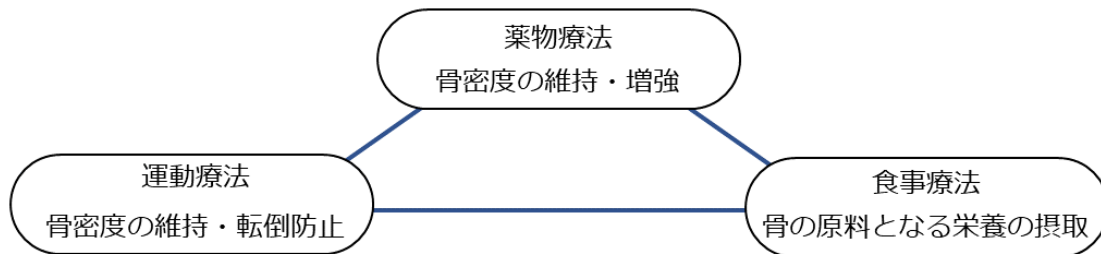
気づかないまま進行

↓

転倒&骨折

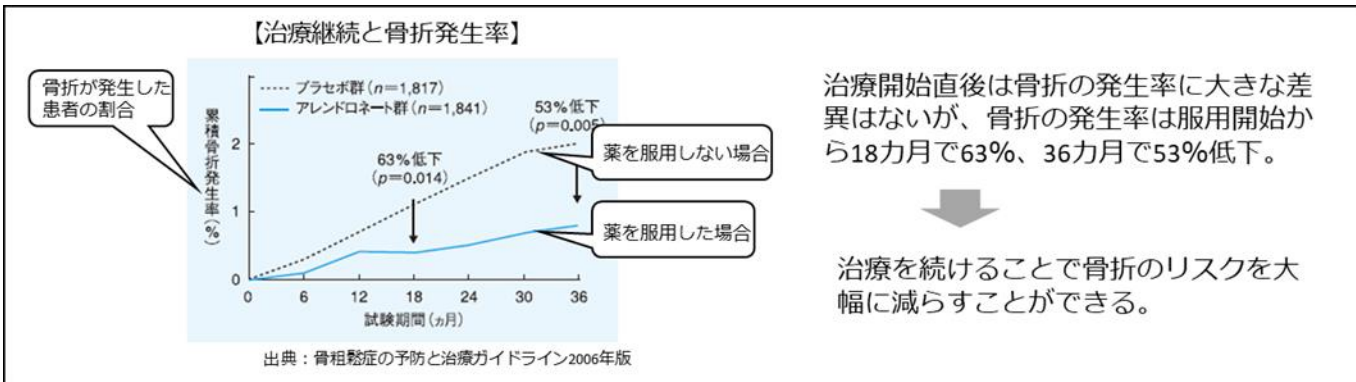
自覚症状がなくても骨折のリスクは高まっており、転倒などのちょっとした衝撃だけで骨折することも

【骨粗鬆症の治療の基本】

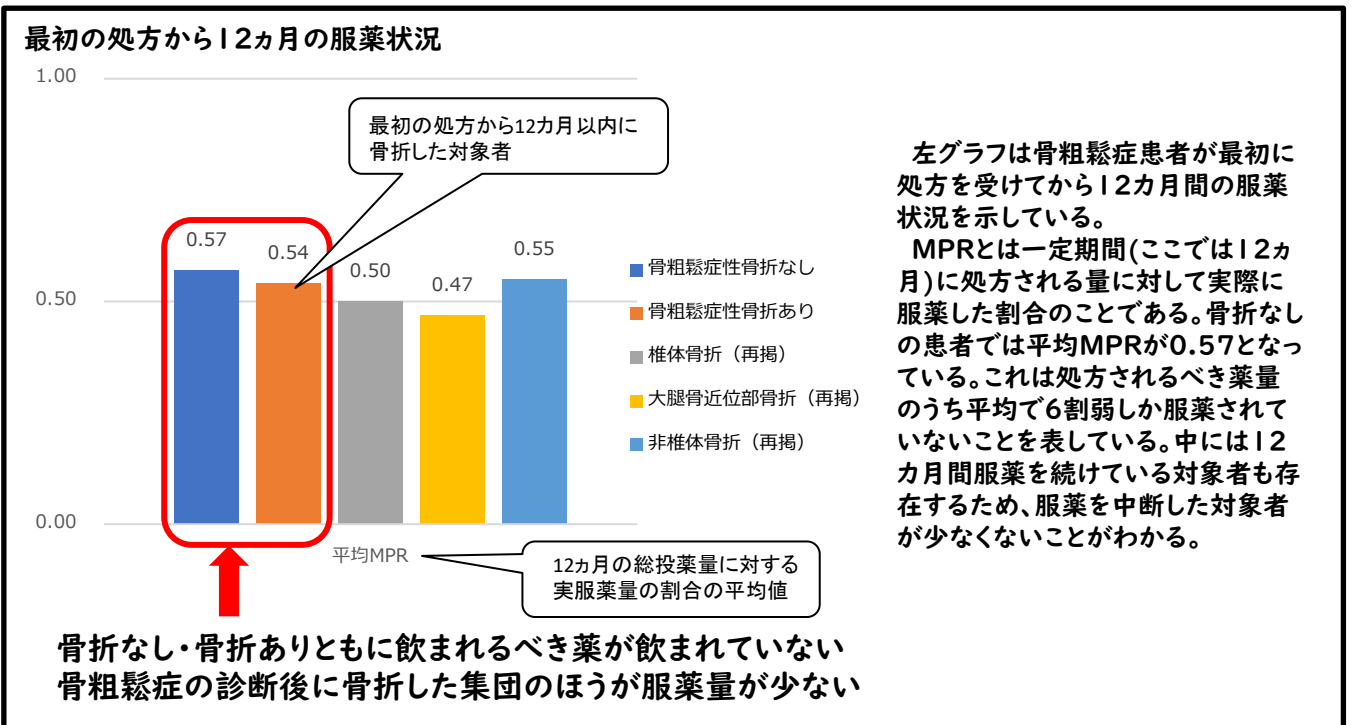


食事や運動で骨を丈夫にし、薬で骨密度を維持・増強して骨折を予防

治療の効果はゆっくりとあらわれる



骨粗鬆症の治療は継続することが大切!



出典：REPORT from 2010ACR (WED1552) 大規模医療保険加入者集団における骨粗鬆症治療薬のアドヒアランスと骨折リスクより作成

骨粗鬆症患者は服薬アドヒアランスが低く、治療継続率が低い

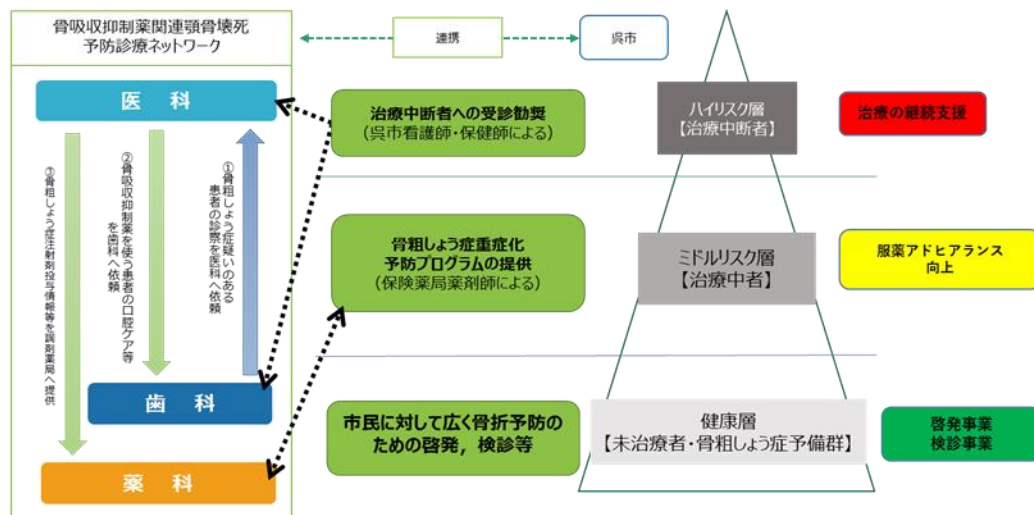
保健事業事例紹介【骨粗鬆症治療中断者対象者抽出：医療機関受療勧奨事業】

広島県呉市等では、骨粗鬆症や骨折を防ぐことで市民のQOL維持・向上と健康寿命の延伸を目的に、骨粗鬆症重症化予防プロジェクトとして、骨粗鬆症の治療中断者対策を実施している。

呉市骨粗しょう症重症化予防プロジェクト 実施スキーム (H29年度より開始)

【実施スキーム】

○呉市地域保健対策協議会（骨粗しょう症地域包括医療体制検討小委員会）と連携



○呉市・民間事業者（データ分析・事業コーディネート等の支援）で覚書を締結

(出所)呉市福祉保健部福祉保健課

9

(呉市HPより抜粋)

骨粗しょう症の治療を受けていたが、治療が中断されていると思われる者に対し、受診勧奨を実施

1 対象者

呉市国民健康保険被保険者又は呉市在住の後期高齢者医療制度被保険者であって、診療報酬明細書から傷病名に骨粗しょう症が確認でき、かつ、骨粗しょう症治療薬の処方が7か月以上ない者のうち、次の条件に該当する者を対象者とする。

① 一次骨折予防対象者（骨粗しょう症重症化予防）

骨折の既往がない者のうち、デノスマブの投与が中断された者でビスホスホネートの投与に切り替えない者又は切り替え後に投与を中断された者

実施方法：ダイレクトメールの送付

② 二次骨折予防対象者（再骨折予防）

大腿骨近位部骨折の既往がある者

実施方法：ダイレクトメールの送付後、電話又は訪問による受診勧奨

2 受診勧奨文書発送時期 平成30年1月末

3 評価時期 平成31年1月（平成30年1月～11月診療分のレセプトを確認）

出典：広島県呉市HPより(株)データホライズンがレイアウト等を一部改編し、作成

【骨粗鬆症治療中断者対象者抽出：医療機関受療勸奨事業】

レセプトデータより骨折の状況や処方された治療薬を加味し、骨粗鬆症の治療中断者を抽出し、受療勸奨事業を実施している。

また、呉市地域保健対策協議会では骨粗鬆症の治療中断対策の実施前から地域医師会・歯科医師会・薬剤師会が連携し、骨吸収抑制薬関連顎骨壊死予防診療ネットワークを運用している。



H29年度骨粗しょう症受診勸奨事業の評価

1. 一次骨折予防（骨粗しょう症重症化予防）

骨折の既往がない者のうち、骨粗しょう症治療薬の投与が中断された者 68名

① 受診勸奨後の受診状況

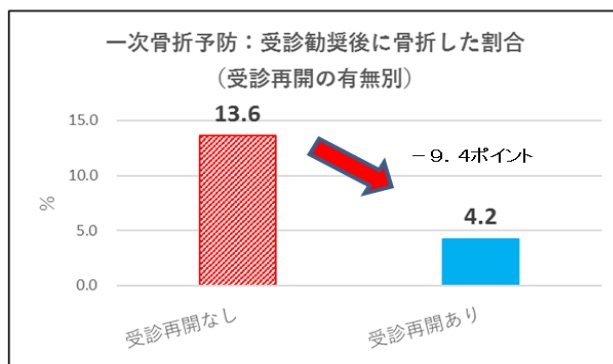
	受診なし	受診あり	合計	受診率
国保	8	5	13	38.5%
後期	36	19	55	34.5%
合計	44	24	68	35.3%

※「受診再開あり」は、受診再開時の検査で圧迫骨折が確認された者を除外

再掲

※受診勸奨文書発送時期 平成30年1月末
 ※評価時期 平成31年1月（平成30年1月～11月診療分のレセプトを確認）

② 受診勸奨後骨折の有無



2. 二次骨折予防対象者（再骨折予防）

大腿骨近位部骨折の既往があり、骨粗しょう症治療薬の投与が中断された者 35名

① 受診勸奨後の受診状況

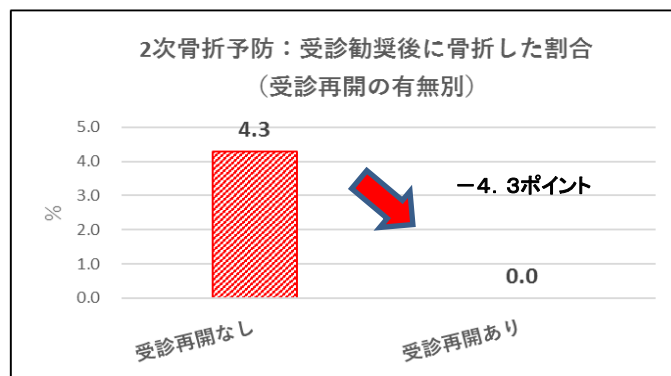
	受診なし	受診あり	合計	受診率
国保	1	6	7	85.7%
後期	22	6	28	21.4%
合計	23	12	35	34.3%

※「受診再開あり」は、受診再開時の検査で圧迫骨折が確認された者を除外

再掲

※受診勸奨文書発送時期 平成30年1月末
 ※評価時期 平成31年1月（平成30年1月～11月診療分のレセプトを確認）

② 受診勸奨後骨折の有無



- 受診勸奨後の受診再開率は、一次骨折予防では35.3%、二次骨折予防では34.3%。
- 受診再開の有無別の骨折発生率では、受診再開した者の方が、骨折の発生率は少ない。一次骨折予防においては9.4ポイント、二次骨折予防では4.3ポイントの差。

出典：広島県呉市HPより(株)データホライズンがレイアウト等を一部改編し、作成

②骨粗鬆症治療中断の現状

本項では、レセプトデータを活用し、長崎県の国民健康保険及び後期高齢者医療における骨折予防に向けた骨粗鬆症治療中断者に関し、以下の抽出条件で対象者を抽出した。なお、これらの対象者数は、実際の受療勧奨事業の中で考慮すべき「がん」「難病」「精神疾患」「認知症」といった「除外対象者」を含んだ数値である。事業の最終的な対象者数は、別途データ納品する「骨粗鬆症治療中断者受診勧奨候補者リスト」にて、除外条件を協議・決定し、事業規模の参考として頂きたい。

【抽出条件】

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(60カ月分)。

年齢範囲…年齢基準日時点の年齢を40歳～99歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…令和2年3月31日時点。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に治療内容を紐づけ、中断を判定し集計。

表116 参考：市町別骨粗鬆症治療中断者発生率

対象者数(人)	骨粗鬆症 治療中断者	被保険者数 (月平均)	発生率
	5,378	323,176	1.7%

表117 骨粗鬆症治療中断者数(後期高齢者医療)

対象者数(人)	骨粗鬆症 治療中断者	被保険者数	発生率
	17,427	219,482	7.9%

表118 参考：市町別骨粗鬆症治療中断者発生率

市町	国民健康保険		後期高齢者医療	
	発生率	順位	発生率	順位
長崎市	1.8%	7	8.0%	7
佐世保市	1.5%	13	8.0%	8
島原市	2.1%	1	9.2%	3
諫早市	1.8%	8	7.8%	10
大村市	1.8%	5	7.0%	17
平戸市	1.2%	19	7.2%	16
松浦市	1.7%	9	7.5%	13
対馬市	1.9%	3	7.9%	9
壱岐市	1.3%	16	7.5%	14
五島市	1.7%	10	7.7%	12
西海市	1.3%	17	6.9%	18
雲仙市	1.6%	11	10.6%	1
南島原市	2.0%	2	8.3%	5
長与町	1.8%	6	8.0%	6
時津町	1.4%	14	6.6%	20
東彼杵町	1.1%	20	8.5%	4
川棚町	1.3%	18	7.8%	11
波佐見町	1.6%	12	9.6%	2
小値賀町	1.8%	4	7.2%	15
佐々町	1.1%	21	5.4%	21
新上五島町	1.3%	15	6.7%	19
県全体	1.7%		7.9%	

続いて、国民健康保険及び後期高齢者医療ごとの対象者を男女別・年齢階層別で集計した。

表119 年齢階層別骨粗鬆症治療中断者数(国民健康保険)

対象者数(人)	男性	女性	男女計	年齢別 構成割合
～39歳	23	35	58	1.1%
40歳～64歳	228	657	885	16.5%
65歳～	608	3,827	4,435	82.5%
合計	859	4,519	5,378	100.0%
割合	16.0%	84.0%	100.0%	

表120 年齢階層別骨粗鬆症治療中断者数(後期高齢者医療)

対象者数(人)	男性	女性	男女計	年齢別 構成割合
65歳～69歳	0	0	0	0.0%
70歳～74歳	2	13	15	0.1%
75歳～79歳	8	54	62	0.4%
80歳～84歳	949	4,629	5,578	32.0%
85歳～89歳	959	4,980	5,939	34.1%
90歳～94歳	493	3,622	4,115	23.6%
95歳～	109	1,609	1,718	9.9%
合計	2,520	14,907	17,427	100.0%
割合	14.5%	85.5%	100.0%	

また、骨粗鬆症等が原因による脆弱性骨折等の既往がある患者では、「骨折の連鎖(2次骨折)」の発生と、それによるADL(日常生活動作)の低下により、寝たきりや介護の要因となることが指摘されている(骨粗鬆症診療ガイドライン)。骨折の連鎖を防止する観点から、受療勧奨事業における優先順位の高い患者群を抽出するため、骨折の既往有無でも集計を行った。

表121 【骨折あり】年齢階層別骨粗鬆症治療中断者数(国民健康保険)

骨折あり 対象者数(人)	男性	女性	男女計	年齢別 構成割合
～39歳	4	3	7	0.5%
40歳～64歳	45	140	185	12.0%
65歳～	214	1,142	1,356	87.6%
合計	263	1,285	1,548	100.0%
割合	17.0%	83.0%	100.0%	

表122 【骨折あり】年齢階層別骨粗鬆症治療中断者数(後期高齢者医療)

骨折あり 対象者数(人)	男性	女性	男女計	年齢別 構成割合
65歳～69歳	0	0	0	0.0%
70歳～74歳	0	6	6	0.1%
75歳～79歳	5	29	34	0.3%
80歳～84歳	481	2,212	2,693	26.6%
85歳～89歳	573	2,950	3,523	34.8%
90歳～94歳	333	2,368	2,701	26.6%
95歳～	76	1,103	1,179	11.6%
合計	1,468	8,668	10,136	100.0%
割合	14.5%	85.5%	100.0%	

表123 【骨折なし】年齢階層別骨粗鬆症治療中断者数(国民健康保険)

骨折なし 対象者数(人)	男性	女性	男女計	年齢別 構成割合
～39歳	19	32	51	1.3%
40歳～64歳	183	517	700	18.3%
65歳～	394	2,685	3,079	80.4%
合計	596	3,234	3,830	100.0%
割合	15.6%	84.4%	100.0%	

表124 【骨折なし】年齢階層別骨粗鬆症治療中断者数(後期高齢者医療)

骨折なし 対象者数(人)	男性	女性	男女計	年齢別 構成割合
65歳～69歳	0	0	0	0.0%
70歳～74歳	2	7	9	0.1%
75歳～79歳	3	25	28	0.4%
80歳～84歳	468	2,417	2,885	39.6%
85歳～89歳	386	2,030	2,416	33.1%
90歳～94歳	160	1,254	1,414	19.4%
95歳～	33	506	539	7.4%
合計	1,052	6,239	7,291	100.0%
割合	14.4%	85.6%	100.0%	

続いて、薬剤別の事業対象者を骨折の有無、男女別に集計した。各市町において、骨粗鬆症の治療中断者の受療勸奨事業を実施する際、対象者条件等について、市内や地域医師会等との協議の参考情報として活用して頂きたい。

表125 骨折有無別男女別薬剤別骨粗鬆症治療中断者数(国民健康保険)

薬剤別		副甲状腺 ホルモン製剤	デノスマブ	BP製剤	SERM	活性型ビタミン D3製剤	その他	合計 (延べ人数)
過去の骨折あり (全体)	対象者数(人)	106	72	820	243	912	339	2,492
	薬剤別構成比	4.3%	2.9%	32.9%	9.8%	36.6%	13.6%	100.0%
過去の骨折なし (全体)	対象者数(人)	64	101	1,715	619	2,125	727	5,351
	薬剤別構成比	1.2%	1.9%	32.1%	11.6%	39.7%	13.6%	100.0%
過去の骨折あり (男女比)	男性	25	9	121	0	159	61	375
	薬剤別構成比	1.0%	0.4%	4.9%	0.0%	6.4%	2.4%	15.0%
	女性	81	63	699	243	753	278	2,117
	薬剤別構成比	3.3%	2.5%	28.0%	9.8%	30.2%	11.2%	85.0%
過去の骨折なし (男女比)	男性	9	14	241	1	369	66	700
	薬剤別構成比	0.2%	0.3%	4.5%	0.0%	6.9%	1.2%	13.1%
	女性	55	87	1,474	618	1,756	661	4,651
	薬剤別構成比	1.0%	1.6%	27.5%	11.5%	32.8%	12.4%	86.9%

表126 骨折有無別男女別薬剤別骨粗鬆症治療中断者数(後期高齢者医療)

薬剤別		副甲状腺 ホルモン製剤	デノスマブ	BP製剤	SERM	活性型ビタミン D3製剤	その他	合計 (延べ人数)
過去の骨折あり (全体)	対象者数(人)	1,157	958	5,698	1,184	5,999	2,639	17,635
	薬剤別構成比	6.6%	5.4%	32.3%	6.7%	34.0%	15.0%	100.0%
過去の骨折なし (全体)	対象者数(人)	269	420	3,909	983	4,302	1,145	11,028
	薬剤別構成比	2.4%	3.8%	35.4%	8.9%	39.0%	10.4%	100.0%
過去の骨折あり (男女比)	男性	184	106	734	3	818	451	2,296
	薬剤別構成比	1.0%	0.6%	4.2%	0.0%	4.6%	2.6%	13.0%
	女性	973	852	4,964	1,181	5,181	2,188	15,339
	薬剤別構成比	5.5%	4.8%	28.1%	6.7%	29.4%	12.4%	87.0%
過去の骨折なし (男女比)	男性	38	48	514	3	623	185	1,411
	薬剤別構成比	0.3%	0.4%	4.7%	0.0%	5.6%	1.7%	12.8%
	女性	231	372	3,395	980	3,679	960	9,617
	薬剤別構成比	2.1%	3.4%	30.8%	8.9%	33.4%	8.7%	87.2%

続いて、介護度別の事業対象者を骨折の有無、男女別に集計した。本集計も各市町において、骨粗鬆症の治療中断者の受療勧奨事業を実施する際、対象者条件等について、庁内や地域医師会等との協議の参考情報として活用して頂きたい。

表127 骨折有無別男女別介護度別骨粗鬆症治療中断者数(国民健康保険)

介護度別		介護度なし	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
過去の骨折あり (全体)	対象者数(人)	1,330	37	25	48	37	26	28	17	1,548
	介護度別 構成比	85.9%	2.4%	1.6%	3.1%	2.4%	1.7%	1.8%	1.1%	100.0%
過去の骨折なし (全体)	対象者数(人)	3,626	39	39	45	30	17	20	14	3,830
	介護度別 構成比	94.7%	1.0%	1.0%	1.2%	0.8%	0.4%	0.5%	0.4%	100.0%
過去の骨折あり (男女比)	男性	210	9	5	10	11	10	6	2	263
	介護度別 構成比	13.6%	0.6%	0.3%	0.6%	0.7%	0.6%	0.4%	0.1%	17.0%
	女性	1,120	28	20	38	26	16	22	15	1,285
	介護度別 構成比	72.4%	1.8%	1.3%	2.5%	1.7%	1.0%	1.4%	1.0%	83.0%
過去の骨折なし (男女比)	男性	527	3	13	19	14	5	9	6	596
	介護度別 構成比	13.8%	0.1%	0.3%	0.5%	0.4%	0.1%	0.2%	0.2%	15.6%
	女性	3,099	36	26	26	16	12	11	8	3,234
	介護度別 構成比	80.9%	0.9%	0.7%	0.7%	0.4%	0.3%	0.3%	0.2%	84.4%

表128 骨折有無別男女別介護度別骨粗鬆症治療中断者数(後期高齢者医療)

介護度別		介護度なし	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
過去の骨折あり (全体)	対象者数(人)	2,148	571	784	1,600	1,316	1,376	1,514	827	10,136
	介護度別 構成比	21.2%	5.6%	7.7%	15.8%	13.0%	13.6%	14.9%	8.2%	100.0%
過去の骨折なし (全体)	対象者数(人)	3,190	541	554	957	573	497	543	436	7,291
	介護度別 構成比	43.8%	7.4%	7.6%	13.1%	7.9%	6.8%	7.4%	6.0%	100.0%
過去の骨折あり (男女比)	男性	465	85	127	224	177	167	158	65	1,468
	介護度別 構成比	4.6%	0.8%	1.3%	2.2%	1.7%	1.6%	1.6%	0.6%	14.5%
	女性	1,683	486	657	1,376	1,139	1,209	1,356	762	8,668
	介護度別 構成比	16.6%	4.8%	6.5%	13.6%	11.2%	11.9%	13.4%	7.5%	85.5%
過去の骨折なし (男女比)	男性	552	62	89	129	72	67	43	38	1,052
	介護度別 構成比	7.6%	0.9%	1.2%	1.8%	1.0%	0.9%	0.6%	0.5%	14.4%
	女性	2,638	479	465	828	501	430	500	398	6,239
	介護度別 構成比	36.2%	6.6%	6.4%	11.4%	6.9%	5.9%	6.9%	5.5%	85.6%

(9) 歯科関連分析

① 歯科受診の現状

本項では、レセプトデータを活用し、長崎県内の市町の国民健康保険及び後期高齢者医療における歯科に関する分析を行った。なお、歯科レセプトには歯数の記載がないため、(株)データホライゾンの「残存歯数推計技術(※特許出願準備中)」を用いて、残存歯数を推計した。

【抽出条件】

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤、歯科の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

年齢確認日…令和2年3月31日時点。

年齢範囲…基本的に全年齢を対象としているが、介護関連の集計に関しては、年齢基準日時点の年齢を40歳以上の範囲で分析対象としている。

歯周疾患…中分類の「I102 歯肉炎及び歯周疾患」とする。歯科レセプトがある患者のうち、中分類の「I102 歯肉炎及び歯周疾患」がある患者を集計する。

その他…関節リウマチ、骨粗鬆症

有所見者割合…歯科受診者のうち健診検査値が記録されている人で、保健指導判定値を超えている人の割合。

表129 長崎県市町別
歯科受診率と歯数
(国民健康保険)

	高齢化率	歯科受診率	20本以上
長崎市	32.5%	48.6%	71.9%
佐世保市	31.4%	44.7%	66.1%
島原市	35.3%	43.7%	62.5%
諫早市	30.2%	45.5%	64.6%
大村市	25.1%	48.1%	67.8%
平戸市	40.8%	38.3%	52.6%
松浦市	36.8%	38.7%	57.2%
対馬市	37.5%	36.4%	47.0%
壱岐市	37.9%	37.0%	60.9%
五島市	40.4%	37.3%	49.1%
西海市	38.2%	40.5%	57.7%
雲仙市	35.1%	41.0%	54.0%
南島原市	40.0%	43.5%	51.9%
長与町	26.7%	51.9%	73.9%
時津町	26.2%	44.4%	71.0%
東彼杵町	37.5%	50.2%	69.2%
川棚町	32.9%	46.1%	67.4%
波佐見町	31.9%	44.4%	63.9%
小値賀町	49.4%	38.6%	55.4%
佐々町	28.0%	43.9%	73.0%
新上五島町	41.6%	40.0%	56.3%
長崎県	32.5%	44.9%	65.2%

図71 長崎県市町別歯科受診率と歯数(国民健康保険)

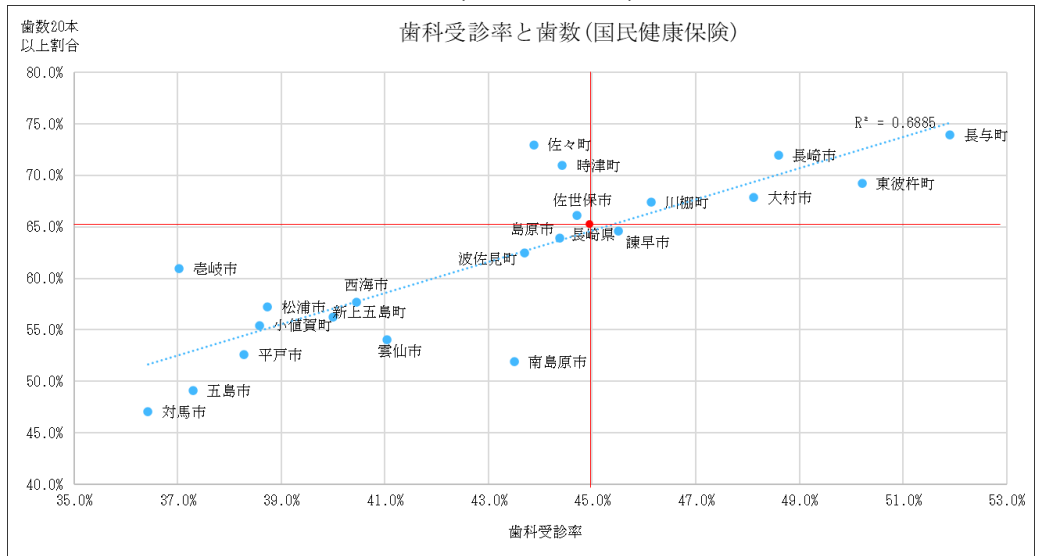
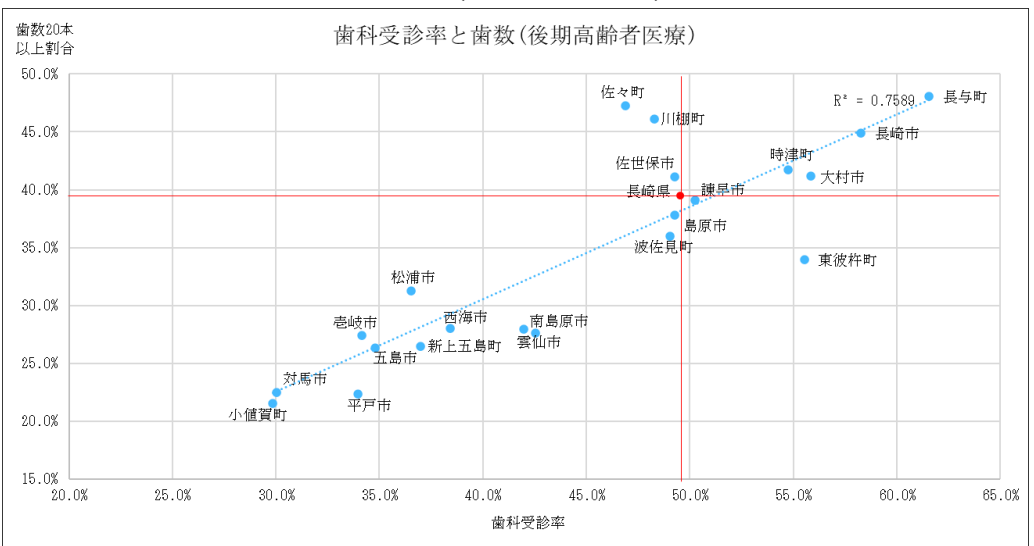


表130 長崎県市町別
歯科受診率と歯数
(後期高齢者医療)

	高齢化率	歯科受診率	20本以上
長崎市	32.5%	58.2%	44.9%
佐世保市	31.4%	49.3%	41.1%
島原市	35.3%	49.0%	36.0%
諫早市	30.2%	50.2%	39.1%
大村市	25.1%	55.8%	41.2%
平戸市	40.8%	34.0%	22.3%
松浦市	36.8%	36.5%	31.2%
対馬市	37.5%	30.0%	22.5%
壱岐市	37.9%	34.1%	27.4%
五島市	40.4%	34.8%	26.3%
西海市	38.2%	38.4%	28.0%
雲仙市	35.1%	42.0%	27.9%
南島原市	40.0%	42.5%	27.6%
長与町	26.7%	61.6%	48.0%
時津町	26.2%	54.7%	41.7%
東彼杵町	37.5%	55.5%	33.9%
川棚町	32.9%	48.3%	46.1%
波佐見町	31.9%	49.3%	37.8%
小値賀町	49.4%	29.9%	21.5%
佐々町	28.0%	46.9%	47.2%
新上五島町	41.6%	37.0%	26.5%
長崎県	32.5%	49.6%	39.5%

図72 長崎県市町別歯科受診率と歯数(後期高齢者医療)



②推計残存歯数と医科一人当たり医療費

本項では、レセプトデータを活用し、長崎県内の市町の国民健康保険及び後期高齢者医療における推計残存歯数と医科一人当たり医療費に関する分析を行った。

図73 長崎県推計残存歯数と医科一人当たり医療費
(国民健康保険)

残存歯数	医科一人当たり医療費 (円)		
	合計	入院	入院外
0本	823,893	2,087,513	354,495
1本	422,187	1,631,749	220,555
2本	403,908	1,473,087	209,148
3本	437,435	1,487,204	235,695
4本	455,677	1,415,157	235,981
5本	504,058	1,726,810	237,154
6本	494,684	1,618,254	253,758
7本	545,748	1,433,029	306,846
8本	549,230	1,478,265	301,278
9本	534,725	1,817,555	266,901
10本	588,419	1,697,712	312,228
11本	575,445	1,562,957	301,534
12本	576,674	1,649,282	312,343
13本	571,349	1,606,952	317,317
14本	572,729	1,503,108	292,680
15本	564,547	1,500,131	311,951
16本	559,657	1,557,488	298,422
17本	558,706	1,520,210	291,033
18本	522,870	1,445,262	295,255
19本	561,495	1,503,474	316,921
20本	445,401	1,372,811	254,266
21本	508,268	1,464,040	288,434
22本	529,547	1,532,853	295,828
23本	489,623	1,480,268	282,157
24本	400,958	1,394,453	234,439
25本	469,356	1,355,611	287,484
26本	436,301	1,458,884	252,182
27本	431,579	1,428,654	255,384
28本	356,074	1,395,693	208,310
29本	380,622	1,399,519	225,571
30本	335,938	1,340,085	189,073
31本	351,854	1,358,688	202,163
32本	346,176	1,228,614	203,114
33本以上	105,554	309,263	73,000
合計	459,425	1,497,639	255,898

図74 長崎県推計残存歯数と医科一人当たり医療費
(後期高齢者医療)

残存歯数	医科一人当たり医療費 (円)		
	合計	入院	入院外
0本	1,174,636	1,952,004	452,430
1本	972,459	1,774,917	436,193
2本	996,846	1,855,039	445,170
3本	998,938	1,862,396	462,066
4本	1,028,340	1,787,765	474,581
5本	957,328	1,622,080	466,175
6本	1,031,811	1,835,294	485,094
7本	1,007,751	1,735,996	468,587
8本	984,389	1,777,391	451,452
9本	967,276	1,711,199	464,823
10本	958,344	1,750,619	459,831
11本	953,473	1,699,981	457,183
12本	1,020,272	1,889,014	480,173
13本	982,332	1,714,524	463,274
14本	946,275	1,681,148	474,023
15本	915,460	1,619,253	470,922
16本	941,744	1,737,370	454,771
17本	945,186	1,712,546	499,468
18本	855,505	1,562,423	465,622
19本	873,237	1,594,095	464,741
20本	847,713	1,572,074	463,931
21本	878,097	1,574,905	471,276
22本	863,338	1,501,298	471,156
23本	880,192	1,539,004	488,092
24本	860,432	1,498,077	478,406
25本	821,002	1,467,780	468,080
26本	832,208	1,501,995	477,688
27本	818,368	1,524,683	457,370
28本	897,727	1,631,708	475,371
29本	800,892	1,369,892	473,464
30本	875,732	1,547,814	461,752
31本	857,254	1,459,430	507,278
32本	868,938	1,511,061	492,913
33本以上	0	0	0
合計	946,454	1,699,923	466,010

長崎県における推計残存歯数と医科一人当たり医療費における年齢階層別の状況は以下のとおり。

図75 長崎県推計残存歯数と医科一人当たり医療費②
(国民健康保険)

39歳以下			
残存歯数	医科一人当たり医療費 (円)		
	入院	入院外	合計
0～9本	592,333	76,226	111,877
10～19本	791,062	92,060	136,146
20本以上	1,124,310	100,592	179,772

40歳～64歳			
残存歯数	医科一人当たり医療費 (円)		
	入院	入院外	合計
0～9本	1,887,662	246,693	514,492
10～19本	2,048,516	305,450	669,587
20本以上	1,695,541	233,081	421,930

65歳以上			
残存歯数	医科一人当たり医療費 (円)		
	入院	入院外	合計
0～9本	1,735,443	327,167	660,451
10～19本	1,438,474	321,003	570,211
20本以上	1,340,525	301,413	501,294

図76 長崎県推計残存歯数と医科一人当たり医療費②
(後期高齢者医療)

65歳～74歳			
残存歯数	医科一人当たり医療費 (円)		
	入院	入院外	合計
0～9本	2,513,037	1,191,098	2,069,087
10～19本	2,435,888	1,070,189	1,843,226
20本以上	2,322,761	1,057,198	1,731,467

75歳～84歳			
残存歯数	医科一人当たり医療費 (円)		
	入院	入院外	合計
0～9本	1,773,237	455,379	935,535
10～19本	1,587,363	449,593	833,517
20本以上	1,453,900	454,081	785,332

85歳以上			
残存歯数	歯科一人当たり医療費 (円)		
	入院	入院外	合計
0～9本	1,902,305	450,697	1,194,820
10～19本	1,839,840	500,845	1,139,060
20本以上	1,690,939	518,324	1,068,301

③推計残存歯数と生活習慣病罹患状況

本項では、レセプトデータを活用し、長崎県内の市町の国民健康保険及び後期高齢者医療における推計残存歯数と生活習慣病罹患状況に関する分析を行った。

表131 市町別推計残存歯数割合 (国民健康保険)

	0～9本	10～19本	20本以上
長崎市	14.1%	13.9%	71.9%
佐世保市	20.1%	13.8%	66.1%
島原市	25.1%	12.4%	62.5%
諫早市	21.6%	13.8%	64.6%
大村市	20.1%	12.1%	67.8%
平戸市	31.5%	15.9%	52.6%
松浦市	26.5%	16.3%	57.2%
対馬市	36.0%	17.0%	47.0%
壱岐市	21.1%	18.0%	60.9%
五島市	36.5%	14.4%	49.1%
西海市	25.8%	16.5%	57.7%
雲仙市	32.1%	13.8%	54.0%
南島原市	36.9%	11.2%	51.9%
長与町	12.0%	14.1%	73.9%
時津町	15.0%	14.0%	71.0%
東彼杵町	15.8%	15.0%	69.2%
川棚町	16.5%	16.2%	67.4%
波佐見町	22.4%	13.7%	63.9%
小値賀町	21.7%	22.8%	55.4%
佐々町	14.4%	12.6%	73.0%
新上五島町	22.7%	21.0%	56.3%
全体	20.7%	14.0%	65.2%

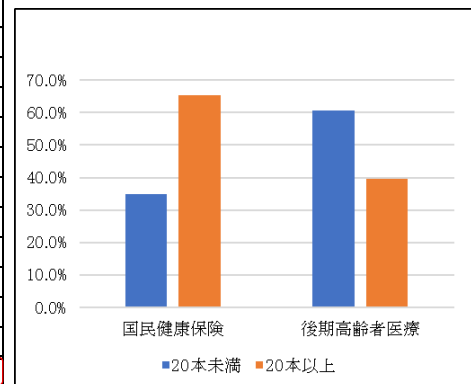
表132 市町別推計残存歯数割合 (後期高齢者医療)

	0～9本	10～19本	20本以上
長崎市	29.4%	25.7%	44.9%
佐世保市	35.2%	23.7%	41.1%
島原市	41.1%	23.0%	36.0%
諫早市	36.8%	24.1%	39.1%
大村市	36.1%	22.7%	41.2%
平戸市	57.7%	19.9%	22.3%
松浦市	47.8%	21.0%	31.2%
対馬市	57.7%	19.8%	22.5%
壱岐市	46.8%	25.8%	27.4%
五島市	52.0%	21.7%	26.3%
西海市	47.3%	24.6%	28.0%
雲仙市	50.0%	22.1%	27.9%
南島原市	53.9%	18.5%	27.6%
長与町	24.3%	27.7%	48.0%
時津町	31.4%	26.9%	41.7%
東彼杵町	38.7%	27.4%	33.9%
川棚町	30.8%	23.0%	46.1%
波佐見町	35.8%	26.4%	37.8%
小値賀町	54.5%	23.9%	21.5%
佐々町	29.7%	23.1%	47.2%
新上五島町	46.5%	27.0%	26.5%
全体	36.3%	24.2%	39.5%

表133 参考 推計残存歯数割合

残存歯数	国民健康保険	後期高齢者医療
20本未満	34.8%	60.5%
20本以上	65.2%	39.5%
合計	100.0%	100.0%

図77 参考 推計残存歯数割合



国民健康保険では、歯科受診者における推計残存歯数「20本以上」に該当する割合が高く、後期高齢者医療では、反対に推計残存歯数「20本未満」の割合が高くなっていった。

表134 推計残存歯数別生活習慣病有病者割合(国民健康保険)

残存歯数	生活習慣病有病率(%)						
	全体	糖尿病	高血圧	虚血性心疾患等	脳血管疾患	関節リウマチ	骨粗鬆症
0～9本	50.9%	27.5%	36.6%	11.8%	11.0%	3.8%	9.7%
10～19本	65.6%	34.2%	47.8%	15.0%	13.7%	5.0%	15.8%
20本以上	49.3%	24.7%	32.6%	10.5%	9.5%	4.0%	11.4%

表135 推計残存歯数別生活習慣病有病者割合(後期高齢者医療)

残存歯数	生活習慣病有病率(%)						
	全体	糖尿病	高血圧	虚血性心疾患等	脳血管疾患	関節リウマチ	骨粗鬆症
0～9本	90.0%	46.1%	74.5%	33.2%	32.7%	6.6%	37.4%
10～19本	89.8%	47.7%	73.8%	32.3%	31.2%	6.8%	38.8%
20本以上	88.9%	47.5%	70.0%	30.9%	29.2%	6.4%	36.5%

※注意

歯科レセプトに治療した歯だけの情報しかない場合、残存本数が少なく推計されている可能性がある。

また、表134・135については、生活習慣病有病者数を残存歯数別人数で除して算出している。

図78 残存歯数別生活習慣病有病率割合(国民健康保険)

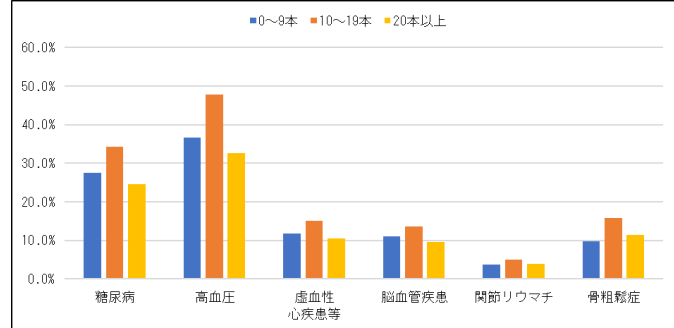
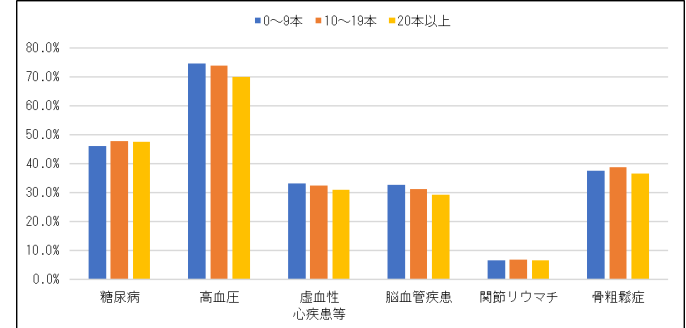


図79 残存歯数別生活習慣病有病率割合(後期高齢者医療)



国民健康保険及び後期高齢者医療において、推計残存歯数「20本以上」の方が、多くの疾患において有病率が低い傾向がみられた。

④推計残存歯数と誤嚥性肺炎有病率及び介護度の状況

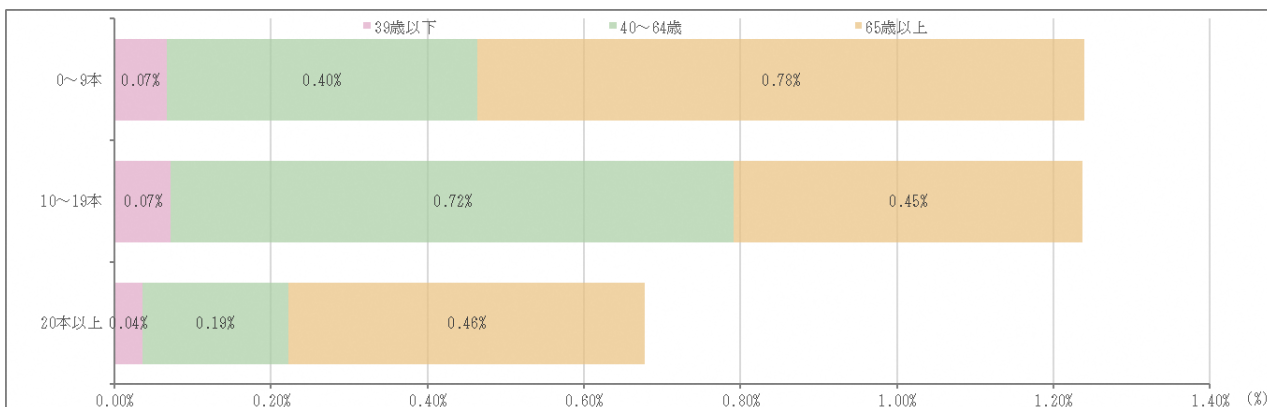
本項では、レセプトデータを活用し、長崎県内の市町の国民健康保険及び後期高齢者医療における推計残存歯数と誤嚥性肺炎有病率及び介護度の状況に関する分析を行った。

国民健康保険

表136 長崎県推計残存歯数割合と誤嚥性肺炎有病率割合(国民健康保険)

残存歯数	誤嚥性肺炎 発症患者割合(%)			
	全体	39歳以下	40～64歳	65歳以上
0～9本	0.53%	0.07%	0.40%	0.78%
10～19本	0.47%	0.07%	0.72%	0.45%
20本以上	0.29%	0.04%	0.19%	0.46%

図80 長崎県推計残存歯数割合と誤嚥性肺炎有病率割合(国民健康保険)

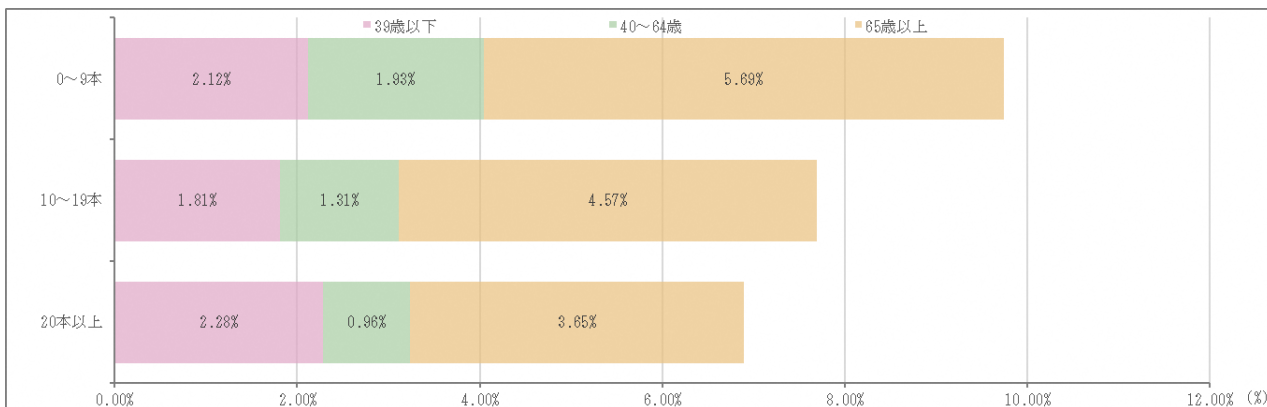


後期高齢者医療

表137 市町別推計残存歯数割合と誤嚥性肺炎有病率(後期高齢者医療)

残存歯数	誤嚥性肺炎 発症患者割合(%)			
	全体	39歳以下	40～64歳	65歳以上
0～9本	3.59%	2.12%	1.93%	5.69%
10～19本	2.34%	1.81%	1.31%	4.57%
20本以上	1.53%	2.28%	0.96%	3.65%

図81 市町別推計残存歯数割合と誤嚥性肺炎有病率(後期高齢者医療)



⑤推計残存歯数と介護度の状況

本項では、レセプトデータを活用し、長崎県内の市町の国民健康保険及び後期高齢者医療における推計残存歯数と介護度の状況に関する調査を行った。

表138 長崎県 推計残存歯数割合と介護度の状況(国民健康保険)

残存歯数	歯科受診者割合	患者割合								
		支援無し	介護認定者割合							
			合計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
20本未満	35.55%	34.13%	1.42%	0.26%	0.22%	0.33%	0.20%	0.15%	0.15%	0.11%
20本以上	64.45%	63.10%	1.36%	0.30%	0.25%	0.28%	0.19%	0.13%	0.10%	0.12%
合計	100.00%	97.23%	2.77%	0.55%	0.47%	0.60%	0.39%	0.28%	0.25%	0.23%

表139 長崎県 推計残存歯数割合と介護度の状況(後期高齢者医療)

残存歯数	歯科受診者割合	患者割合								
		支援無し	介護認定者割合							
			合計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
20本未満	60.53%	36.32%	24.21%	3.83%	3.85%	5.07%	3.39%	3.04%	3.07%	1.97%
20本以上	39.47%	30.12%	9.35%	2.07%	1.81%	2.02%	1.14%	0.89%	0.78%	0.65%
合計	100.00%	66.44%	33.56%	5.90%	5.66%	7.09%	4.54%	3.92%	3.84%	2.62%

※注意

表138・139については、残存歯数別の介護度別認定者数を全歯科受診者数で除して算出している。

図82 推計残存歯数割合と介護度の状況(国民健康保険)

図83 推計残存歯数割合と介護度の状況(後期高齢者医療)

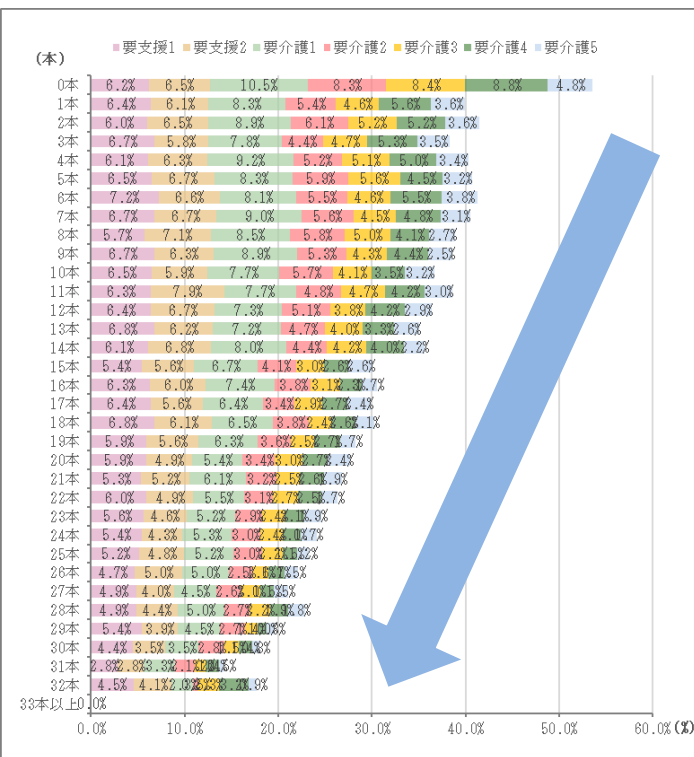
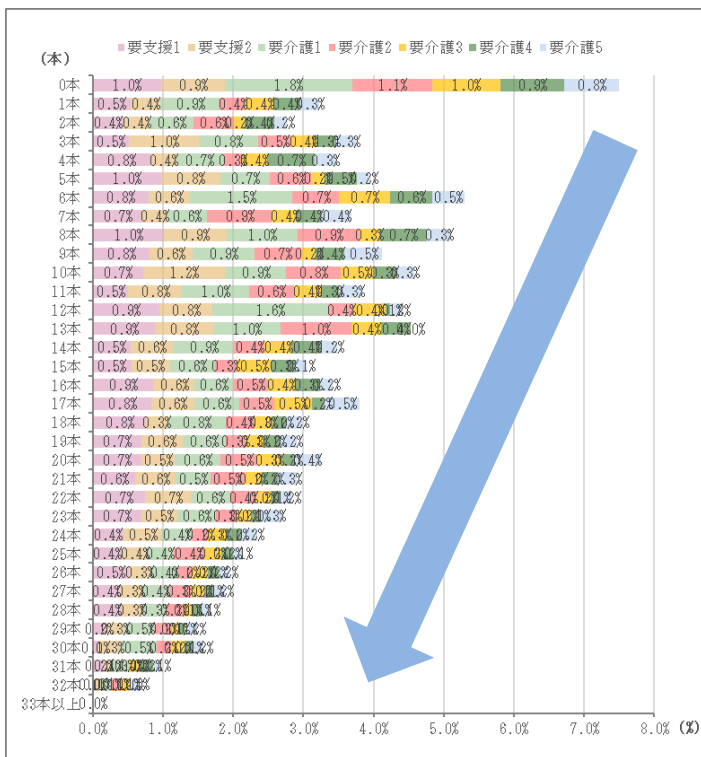


表140 長崎県 推計残存歯数割合と介護度の状況②(国民健康保険)

残存歯数	患者割合(%)						
	介護認定者						
	全体						
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0～9本	0.7%	0.6%	1.0%	0.6%	0.4%	0.5%	0.4%
10～19本	0.7%	0.6%	0.8%	0.5%	0.4%	0.3%	0.2%
0～19本	0.7%	0.6%	0.9%	0.6%	0.4%	0.4%	0.3%
20本以上	0.5%	0.4%	0.4%	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%

図84 長崎県 推計残存歯数割合と介護度の状況②(国民健康保険)

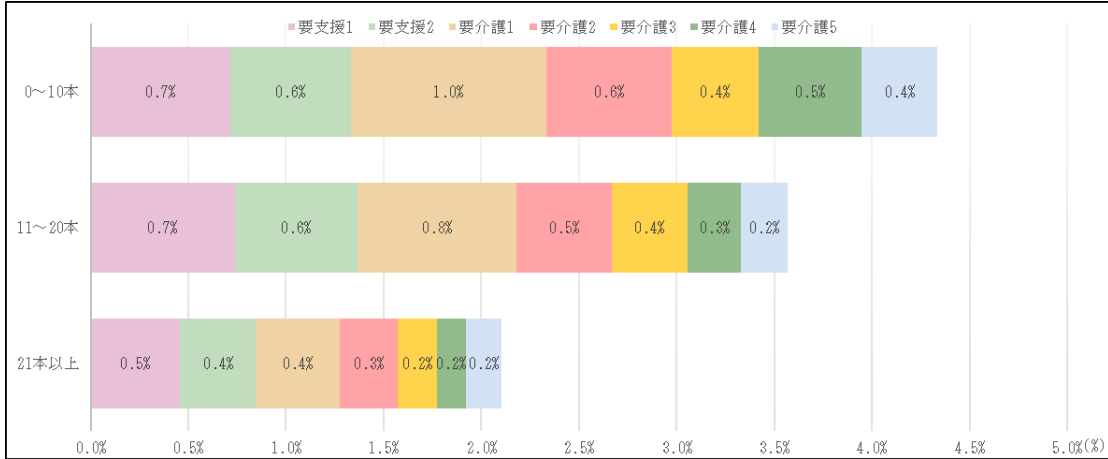
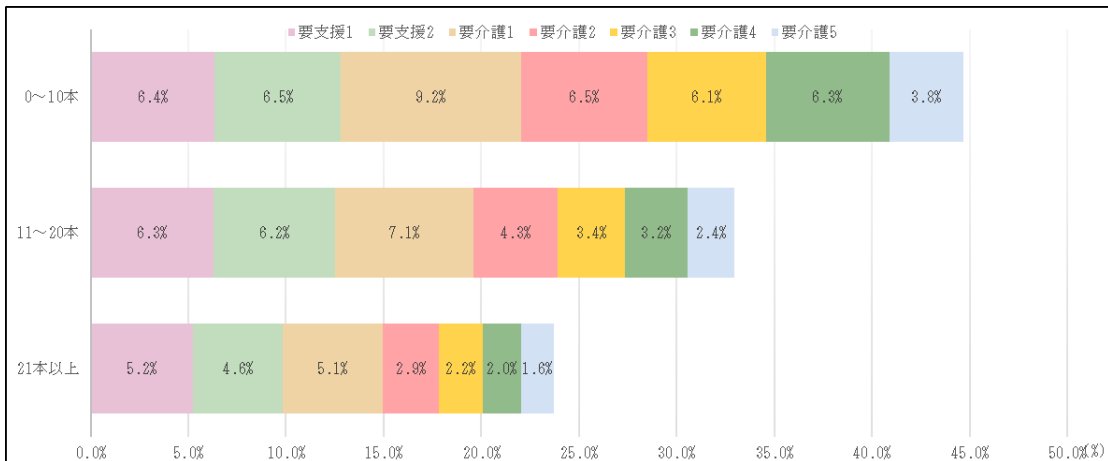


表141 長崎県 推計残存歯数割合と介護度の状況②(後期高齢者医療)

残存歯数	患者割合(%)						
	介護認定者						
	全体						
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0～9本	6.4%	6.5%	9.2%	6.5%	6.1%	6.3%	3.8%
10～19本	6.3%	6.2%	7.1%	4.3%	3.4%	3.2%	2.4%
0～19本	6.3%	6.4%	8.4%	5.6%	5.0%	5.1%	3.3%
20本以上	5.2%	4.6%	5.1%	2.9%	2.2%	2.0%	1.6%

図85 長崎県 推計残存歯数割合と介護度の状況②(後期高齢者医療)



※注意

表140・141については、残存歯数別の介護度別認定者数を残存歯数別歯科受診者数で除して算出している。

(10)介護関連分析

①介護度別・疾病別統計

本項では、レセプト及び介護データを活用し、長崎県の国民健康保険及び後期高齢者医療における介護度別の「医療費」「患者数」「患者一人当たり医療費」で分析した疾患分類について示していく。

表142 介護度別医療費上位5疾病(国民健康保険)

	1位	2位	3位	4位	5位
全体	腎不全	その他の悪性新生物<腫瘍>	その他の神経系の疾患	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	糖尿病
非該当	腎不全	その他の悪性新生物<腫瘍>	その他の神経系の疾患	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	高血圧性疾患
要支援1	その他の悪性新生物<腫瘍>	その他の神経系の疾患	関節症	腎不全	その他の心疾患
要支援2	腎不全	その他の悪性新生物<腫瘍>	骨折	その他の心疾患	その他の神経系の疾患
要介護1	腎不全	その他の悪性新生物<腫瘍>	その他の神経系の疾患	骨折	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
要介護2	腎不全	その他の悪性新生物<腫瘍>	その他の神経系の疾患	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	その他の消化器系の疾患
要介護3	その他の悪性新生物<腫瘍>	腎不全	脳梗塞	その他の神経系の疾患	脳内出血
要介護4	腎不全	その他の悪性新生物<腫瘍>	脳梗塞	その他の神経系の疾患	パーキンソン病
要介護5	その他の神経系の疾患	脳梗塞	その他の呼吸器系の疾患	脳内出血	その他の悪性新生物<腫瘍>

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

年齢範囲…年齢基準日時点の年齢を40歳以上の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…令和2年3月31日時点。

表143 介護度別医療費上位5疾病(後期高齢者医療)

	1位	2位	3位	4位	5位
全体	その他の心疾患	骨折	その他の消化器系の疾患	腎不全	脳梗塞
非該当	その他の心疾患	高血圧性疾患	その他の悪性新生物<腫瘍>	その他の消化器系の疾患	その他の眼及び付属器の疾患
要支援1	その他の心疾患	骨折	関節症	骨の密度及び構造の障害	高血圧性疾患
要支援2	骨折	腎不全	その他の心疾患	骨の密度及び構造の障害	その他の消化器系の疾患
要介護1	骨折	その他の心疾患	アルツハイマー病	腎不全	その他の消化器系の疾患
要介護2	骨折	その他の心疾患	腎不全	アルツハイマー病	その他の消化器系の疾患
要介護3	骨折	その他の心疾患	脳梗塞	アルツハイマー病	その他の消化器系の疾患
要介護4	脳梗塞	骨折	その他の心疾患	アルツハイマー病	その他の呼吸器系の疾患
要介護5	脳梗塞	その他の呼吸器系の疾患	その他の心疾患	アルツハイマー病	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

年齢範囲…年齢基準日時点の年齢を65歳以上の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…令和2年3月31日時点。

表144 介護度別患者数上位5疾病(国民健康保険)

	1位	2位	3位	4位	5位
全体	高血圧性疾患	その他の消化器系の疾患	胃炎及び十二指腸炎	糖尿病	脂質異常症
非該当	高血圧性疾患	その他の消化器系の疾患	胃炎及び十二指腸炎	糖尿病	脂質異常症
要支援1	その他の消化器系の疾患	高血圧性疾患	その他の神経系の疾患	糖尿病	胃炎及び十二指腸炎
要支援2	その他の消化器系の疾患	高血圧性疾患	その他の神経系の疾患	糖尿病	胃炎及び十二指腸炎
要介護1	その他の消化器系の疾患	高血圧性疾患	その他の神経系の疾患	糖尿病	<small>注: 糖尿病及び高尿酸血症、高尿酸血症で他に分類されないもの</small>
要介護2	その他の消化器系の疾患	高血圧性疾患	その他の神経系の疾患	<small>注: 糖尿病及び高尿酸血症、高尿酸血症で他に分類されないもの</small>	糖尿病
要介護3	その他の消化器系の疾患	高血圧性疾患	その他の神経系の疾患	<small>注: 糖尿病及び高尿酸血症、高尿酸血症で他に分類されないもの</small>	糖尿病
要介護4	その他の消化器系の疾患	<small>注: 糖尿病及び高尿酸血症、高尿酸血症で他に分類されないもの</small>	その他の神経系の疾患	高血圧性疾患	その他の心疾患
要介護5	その他の消化器系の疾患	<small>注: 糖尿病及び高尿酸血症、高尿酸血症で他に分類されないもの</small>	その他の神経系の疾患	その他の呼吸器系の疾患	その他の心疾患

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

年齢範囲…年齢基準日時点の年齢を40歳以上の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…令和2年3月31日時点。

表145 介護度別患者数上位5疾病(後期高齢者医療)

	1位	2位	3位	4位	5位
全体	高血圧性疾患	その他の消化器系の疾患	その他の心疾患	胃炎及び十二指腸炎	<small>注: 糖尿病及び高尿酸血症、高尿酸血症で他に分類されないもの</small>
非該当	高血圧性疾患	その他の消化器系の疾患	屈折及び調節の障害	胃炎及び十二指腸炎	その他の眼及び付属器の疾患
要支援1	高血圧性疾患	その他の消化器系の疾患	その他の心疾患	胃炎及び十二指腸炎	屈折及び調節の障害
要支援2	高血圧性疾患	その他の消化器系の疾患	その他の心疾患	胃炎及び十二指腸炎	その他の神経系の疾患
要介護1	高血圧性疾患	その他の消化器系の疾患	その他の心疾患	その他の神経系の疾患	<small>注: 糖尿病及び高尿酸血症、高尿酸血症で他に分類されないもの</small>
要介護2	その他の消化器系の疾患	高血圧性疾患	その他の心疾患	<small>注: 糖尿病及び高尿酸血症、高尿酸血症で他に分類されないもの</small>	その他の神経系の疾患
要介護3	その他の消化器系の疾患	高血圧性疾患	その他の心疾患	<small>注: 糖尿病及び高尿酸血症、高尿酸血症で他に分類されないもの</small>	その他の神経系の疾患
要介護4	その他の消化器系の疾患	高血圧性疾患	その他の心疾患	<small>注: 糖尿病及び高尿酸血症、高尿酸血症で他に分類されないもの</small>	その他の神経系の疾患
要介護5	その他の消化器系の疾患	その他の心疾患	高血圧性疾患	<small>注: 糖尿病及び高尿酸血症、高尿酸血症で他に分類されないもの</small>	その他の呼吸器系の疾患

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

年齢範囲…年齢基準日時点の年齢を65歳以上の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…令和2年3月31日時点。

表146 介護度別患者一人当たり医療費上位5疾病(国民健康保険)

	1位	2位	3位	4位	5位
全体	腎不全	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	白血病	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群
非該当	腎不全	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	白血病	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
要支援1	乳房の悪性新生物<腫瘍>	腎不全	くも膜下出血	その他の悪性新生物<腫瘍>	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>
要支援2	腎不全	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	パーキンソン病	乳房の悪性新生物<腫瘍>	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>
要介護1	腎不全	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	乳房の悪性新生物<腫瘍>	白血病	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>
要介護2	腎不全	白血病	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	その他の悪性新生物<腫瘍>	悪性リンパ腫
要介護3	腎不全	白血病	悪性リンパ腫	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	その他の悪性新生物<腫瘍>
要介護4	腎不全	くも膜下出血	その他の悪性新生物<腫瘍>	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>
要介護5	白血病	腎不全	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	自律神経系の障害	脳内出血

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

年齢範囲…年齢基準日時点の年齢を40歳以上の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…令和2年3月31日時点。

表147 介護度別患者一人当たり医療費上位5疾病(後期高齢者医療)

	1位	2位	3位	4位	5位
全体	知的障害<精神遅滞>	腎不全	パーキンソン病	悪性リンパ腫	くも膜下出血
非該当	知的障害<精神遅滞>	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	腎不全	パーキンソン病
要支援1	知的障害<精神遅滞>	白血病	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	悪性リンパ腫	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
要支援2	腎不全	くも膜下出血	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	パーキンソン病	骨折
要介護1	悪性リンパ腫	白血病	腎不全	知的障害<精神遅滞>	骨折
要介護2	悪性リンパ腫	白血病	腎不全	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	骨折
要介護3	くも膜下出血	骨折	パーキンソン病	腎不全	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>
要介護4	くも膜下出血	悪性リンパ腫	腎不全	パーキンソン病	脳内出血
要介護5	脳内出血	くも膜下出血	悪性リンパ腫	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳梗塞

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

年齢範囲…年齢基準日時点の年齢を65歳以上の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…令和2年3月31日時点。